海老名市教育委員会

（令和元年 11月 定例会議事日程）

日時　　令和元年11月22日(金)
　　午後2時00分
場所　　えびなこどもセンター　201会議室

教育長報告

日程第 1　報告第 26 号　令和元年度海老名市教育委員会非常勤特別職の委嘱について

日程第 2　議案第 30 号　海老名市食の創造館の運営方法の変更について

日程第 3　議案第 31 号　令和元年度全国学力・学習状況調査公表内容について

日程第 4　議案第 32 号　令和元年度海老名市一般会計補正予算（第５号）のうち教育に係る部分に関する意見の申し出について（非公開事件）

海老名市教育委員会

令和元年度　１１月定例会

◇教育長報告

1　主な事業報告

１０月	２５日（金）	教育委員会１０月定例会
	２６日（土）	海老名中学校区青健連オアシスポスター表彰式
		食育ポスター表彰式
		豊かな心を育む集い
	２７日（日）	かながわレクリエーション大会
		人権作文・ポスターコンテスト表彰式
		市民文化祭郷土芸能部門・歴史絵手紙表彰式
	２８日（月）	予算編成部内ヒアリング
	２９日（火）	県都市教育長会議
	３０日（水）	教育課程編成研究会
		予算編成部内ヒアリング
		週部会
	３１日（木）	市長定例記者会見
		部活動推進協議会
		予算編成部内ヒアリング
１１月	１日（金）	小学校連合運動会
		市制４８周年式典
	２日（土）	海老名文化スポーツ賞贈呈式
		安全安心フェスティバル表彰式
	４日（月）	市内保育園・学童保育クラブ４０周年式典
	５日（火）	初任者研修拠点校指導員連絡会
		全国学力・学習状況調査結果説明会リハーサル
	６日（水）	週部会
		海小研教育講演会
	７日（木）	学校予算調整会議
		１１月校長会議

８日（金）　初任者授業参観（大谷中学校）
連合運動会実行委員会
学校・地域ネットワークづくり運営委員会
９日（土）　教育セミナー
１１日（月）　初任者授業参観（今泉小学校）
県市町村教育長会連合会幹事会・総会
１２日（火）　１１月定例会部内打合せ
１３日（水）　議員全員協議会
臨時最高経営会議
１１月教頭会議
週部会
１４日（木）　県教連教育研究発表大会
学校保健研究協議会
税についての作文コンクール表彰式
１５日（金）　県中体連会長訪問
臨時県央教育長会議
授業改善実践推進委員会
１６日（土）　家庭と地域の教育を考えるつどい
単Ｐ会長会
１７日（日）　えびな市民まつり
１８日（月）　初任者授業参観（海老名小学校）
教育課題研究会
広報えびな題字選定
１９日（火）　杉本小学校朝会
最高経営会議
全国学力・学習状況調査結果説明会
２０日（水）　１１月臨時議会（初議会）
登別市交流中学生結団式
２１日（木）　小学校支援級合同宿泊学習
柏ケ谷小学校音楽会
整形外科医学校訪問（大谷中学校）
２２日（金）　初任者授業参観（今泉小学校）
教育委員会１１月定例会

2　「授業」について

学校教育の中で、教職員が子どもとかかわる時間が一番に長く、保証されているのが授業時間です。

「教師は授業で勝負する」

これは、教育界で受け継がれている名言です。

１１月に入って、私は、時間がある時は、初任者の授業参観に行くようにしています。これから、３０年以上、子どもたちとかかわって日々、授業をするだろう初任者に励ましの言葉をかけたいというのが私の思いです。

授業力は、さまざまな指導法、指導技術を身につけて、それを実践し積み重ねることにより高められるものですが、私としては、常に、授業に臨む姿勢・心構えを学んでほしいと思うのです。

子どもは２００日も目の前にいる教職員の姿を手本にします。一年もすると教職員のクセがうつったりもするのです。ですので、字がきれいな子になってほしいのなら、板書の字をていねいにきれいに書くことが必要になります。進んで学習する子になってほしいのなら、教職員がよりよい授業にするために、自ら進んで学ぶ姿を見せなければなりません。

反面教師という言葉もありますが、子ども、特に、小学生にはそれは通用しません。常に、子どもとともに学び、子どもとともに成長するという姿勢が大切なのです。

さて、視点が変わりますが、今でもそう勘違いされている傾向が中学校にはあり、懸念するところですが、生徒指導や部活動の指導に力を発揮する教職員が、力のある教職員と判断されることが多くあります。それはそれで、指導力の高さを認めるところですが、これは大きな間違いです。まして、生徒指導や部活動が忙しくて授業の教材研究、準備ができないということは、本末転倒です。

また、未だ、まるで人気塾講師のように、まくし立てて一方的に知識を垂れ流すのがよい授業と勘違いされているところがあり、残念に思うところです。塾講師の知識量、語り口調、熱意などに参考にする点もありますが、それは教職員に求められるものとは異なるものです。

それでは、学校教育において、教職員が実践する授業はどうあるべきなのか、私の考えを述べてみたいと思います。

まずは、大前提として、目の前のすべての子どもたちを対象にして、公平に学習の機会を与える、学習権を保障するということです。

教材研究は、そのためにあると私は考えています。

学級を担任すると、当たり前のことなのですが、ひとりひとりの子どもの学力・特性が違います。その子どもひとりひとりと教材のもつ教育的価値をどのように出合わせれば、学習活動が効果的に進められるかを分析するために、教材の内容を細かく分析して教材化するのが、教材研究なのです。

私は、授業を参観するときに、全員の子どもの顔が見える場所に立ちます。それは、自分が授業するときにひとりひとりの顔を見て、その反応を見て授業をしていたことと、ひとりひとりの顔を見ると、授業の評価が明白だからです。すべての子どもに学習活動が保障されているか、そのための教材研究が的確に行われたが、容易に判断できるからです。

また、学校での授業は集団で学習することに、大きな価値があります。もちろん、授業時間４５分間の中には、個別で考えたり、作業したり、学習をふり返る時間が保障されるべきですが、多様な子どもの考えが話し合い等でまとめられて、ひとつの集団の価値として作り上げるための活動が展開されることが重要だと考えます。

その場面での教職員の役割は、子どもの意見をつなげたり、広げたり、まとめたりするコーディネーター的なものとなります。

他にも授業には、さまざまな要素がありますが、これまで述べたような授業を目にすることは、めったになく、だからこそ、教職員は、よりよい授業をめざして、授業改善を繰り返して、自らの授業力を高めなければなりません。

来年度から、新たな学習指導要領が小学校での全面実施となり、次年度は中学校での実施となります。「主体的・対話的で深い学び」が子どもの学びの進化のキーワードとなります。

教職員には、さらなる授業改善の歩みが求められるところです。

私としては、よりよい授業を追求する教職員を応援するとともに、働き方改革を含め、そのための環境を整えることが教育行政の大きな使命だと考えるところです。

来週は、３名の初任者の授業参観が予定されています。

授業が楽しみです。

以上です。

報告第２６号

令和元年度海老名市教育委員会非常勤特別職の委嘱について

令和元年度海老名市教育委員会非常勤特別職の委嘱について、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則（昭和49年教委規則第２号）第３条第１項の規定により臨時に代理し発令したので、同条第２項の規定により報告する。

令和元年１１月２２日提出

海老名市教育委員会
教育長　伊 藤 文 康

報告理由
新たに非常勤特別職を委嘱したため

令和元年11月22日
定例教育委員会資料
教育支援課

非常勤特別職（教育支援センター相談員）の委嘱について

1 教育支援センター相談員について

青少年の健全育成、非行防止及び保護支援等のために必要な相談等を行う。

2 委嘱期間について

令和元年11月１日から令和２年３月31日まで

3 提案理由

新規委嘱

4 委嘱する者

氏　　名	委嘱等内容	備　　考
田中（たなか）　緑（みどり）	新規	教育支援センター相談員

5 名簿

別紙のとおり

平成31年度（令和元年度）　教育支援センター相談員名簿

	氏　　名	ふりがな	職　名	当初委嘱年度	委嘱期間
1	岡崎（おかざき）　拓哉（たくや）	おかざき　たくや	相談員	平成28年度	H30.4.1～R2.3.31
2	甲斐（かい）　俊樹（としき）	かい　としき	相談員	平成22年度	H30.4.1～R2.3.31
3	斉藤（さいとう）　優子（ゆうこ）	さいとう　ゆうこ	相談員	平成28年度	H30.4.1～R2.3.31
4	太田口（おおたぐち）　佐知子（さちこ）	おおたぐち　さちこ	相談員	平成28年度	H30.4.1～R2.3.31
5	黒瀬（くろせ）　基（はじめ）	くろせ　はじめ	相談員	平成30年度	H30.4.1～R2.3.31
6	大下（おおしも）　いずみ	おおしも　いずみ	相談員	平成30年度	H30.4.1～R2.3.31
7	乗越（のりこし）　美智代（みちよ）	のりこし　みちよ	相談員	平成30年度	H30.4.1～R2.3.31
8	中川（なかがわ）　てい	なかがわ　てい	相談員	平成31年度	H31.4.1～R2.3.31
9	田中（たなか）　緑（みどり）	たなか　みどり	相談員	令和元年度	R1.11.1～R2.3.31

議案第３０号

海老名市食の創造館の運営方法の変更について

別紙のとおり、海老名市食の創造館の運営方法の変更について、議決を求める。

令和元年１１月２２日提出

海老名市教育委員会
教育長　伊 藤 文 康

提案理由
海老名市食の創造館の運営方法を変更したいため

令和元年 11 月 22 日（金）
定例教育委員会
就学支援課 健康給食係

海老名市食の創造館の運営方法の変更について

海老名市食の創造館の管理については、令和元年６月開催の臨時教育委員会及び同月最高経営会議において、指定管理者の継続を決定いただき、令和元年７月 19 日から８月 23 日まで、公募によるプロポーザル方式にて募集を行ったが、申込がなかった。

そのため再度検討を行ったところ、今後の学校給食への体制を確保する必要があることなどから、以下のとおり管理運営方法を変更することとしたい。

１　管理運営方法

市直営による管理（調理業務等の業務委託）

２　管理運営方法の変更理由

（１）　現在、海老名市学校給食検討委員会において、中学校給食実施の方向性など、多角的な検討を進めていることから、５年間にわたる指定管理者制度による管理運営でなく、今後の小中学校給食の調理業務全体を見据え、弾力的に中学校給食が実施できるような体制を確保したい。

（２）　指定管理者制度により、施設の管理運営全般を委ねるメリットも認められるが、学校給食の提供において最も優先される「安全・安心な給食の提供」に向け、各業務の受託事業者がそれぞれの専門性をさらに強く発揮することを期待したい。

３　市直営による管理運営期間

令和２年８月１日～令和４年７月 31 日まで（２年間）とするが、今後の中学校給食の実施方法や開始時期等を勘案し、最終決定する。

４　今後のスケジュール

11 月 22 日　定例教育委員会
12 月 16 日　政策会議
12 月 25 日　最高経営会議

５　その他

本件については、令和２年８月１日から管理運営方法を変更するものであり、その後の海老名市食の創造館への指定管理者制度の導入を否定するものではない。

議案第３１号

令和元年度全国学力・学習状況調査公表内容について

別紙のとおり、令和元年度全国学力・学習状況調査公表内容について、議決を求める。

令和元年１１月２２日提出

海老名市教育委員会
教育長　伊 藤 文 康

提案理由
令和元年度全国学力・学習状況調査公表内容を決定したいため

令和元年 11 月 22 日
教育委員会定例会資料
教育支援課指導係

平成 31 年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査公表内容について

◆公表の目的

１．ひとりひとりの児童・生徒が、自分自身を改善する。

２．学校が指導の改善に生かす。

３．海老名市教育委員会が教育施策の改善に生かす。

４．保護者・市民に公表し、学習習慣や生活習慣の改善に向けて協力を得る。

◆公表内容

＜海老名市の結果＞

平均正答率や分布、質問紙の結果を、全国・県との比較で、数値や文章で表記する。

① ダイジェスト版および結果概要

② 学力調査結果

小学校国語、小学校算数、中学校国語、中学校数学、中学校英語

③ 児童生徒質問紙調査結果

④ ご家庭で協力していただきたいこと

⑤ 学力向上のための「８つの教育施策」について

＜各校の結果＞

・全校同じ構成で公表するが、様式・内容については学校裁量とする。

・平均正答率は記載せず、文章で表記する。

① 各教科の調査結果

② 児童生徒質問紙の結果

③ ご家庭で取り組んでいただきたいこと

議案第３２号

令和元年度海老名市一般会計補正予算（第５号）のうち教育に係る部分に関する意見の申し出について（非公開事件）

別紙のとおり、令和元年度海老名市一般会計補正予算（第５号）のうち教育に係る部分に関する意見の申し出について、議決を求める。

令和元年１１月２２日提出

海老名市教育委員会
教育長　伊 藤 文 康

提案理由
令和元年度海老名市一般会計補正予算（第５号）のうち教育に係る部分に関する意見の申し出があり、決定したいため

平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査
海老名市の結果

ラグビーワールドカップ 2019™
市内小中学校からロシア代表チームへ贈呈した応援フラッグ

- ○　はじめに
- ○　平成３１年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果の分析による海老名市の児童生徒の状況について（ダイジェスト版）
- ○　海老名市の結果概要
- ○　学力調査結果
- ○　児童生徒質問紙調査結果
- ○　ご家庭で協力していただきたいこと
- ○　学力向上のための「８つの教育施策」について

令和元年１２月
海老名市教育委員会

は　じ　め　に

海老名市教育委員会では、平成２６年度より全国学力・学習状況調査における市の結果と海老名市立小中学校全１９校（小学校１３校、中学校６校）の結果を公表しています。

つきましては、次のとおり平成３１年度（令和元年度）の調査の結果を公表します。

なお、今年度から教科に関する調査において、知識（A問題）と活用（B問題）を一体的に問う問題形式で実施されたことにより、本市の結果公表様式を変更いたしました。

公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

また、公表をすることによって、保護者や市民の皆様に、市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

◆公表の目的

〇ひとりひとりの児童・生徒が、自分自身を改善する。
〇学校が指導の改善に生かす。
〇海老名市教育委員会が教育施策の改善に生かす。
〇保護者・市民に公表し、学習習慣や生活習慣の改善に向けて協力を得る。

◆公表の内容

＜市全体の結果＞

〇平均正答率や分布、質問紙の結果を、全国・県との比較で、数値や文章で表記する。
〇「ダイジェスト版」「結果概要」を記載する。
〇分析とともに今後の具体的な取組を記載する。
〇地域や家庭と協力して取り組むことを記載する。

＜各校の結果＞

〇全校が同じ構成で公表するが、様式・内容については学校裁量とする。
〇平均正答率は記載せず、文章で表記する。
〇分析とともに「今後の具体的な指導改善のポイント」を記載する。
〇家庭との協力について記載する。

◆公表の方法

＜市全体の結果＞

〇市のＨＰにて公表する。

＜各校の結果＞

〇小学校６年生、中学校３年生の家庭には冊子を配付する。
〇市のＨＰにて公表する。

令和元年１２月　海老名市教育委員会

平成 31 年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査結果の分析による海老名市の児童生徒の状況について(ダイジェスト版)

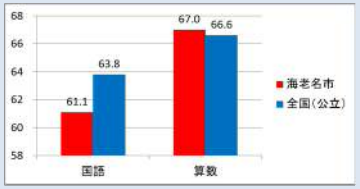
平成 31 年4月 18 日実施
調査対象
小学校第6学年・中学校第3学年

1　学力調査結果の概要

小学校　算数は全国と比べてやや上回っています

	国語	算数
海老名市	61.1	67.0
全国(公立)	63.8	66.6

平均正答率(%)

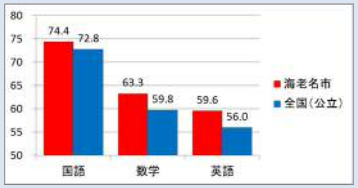


平均正答率のグラフ(%)

中学校　すべての教科で全国と比べて上回っています

	国語	数学	英語
海老名市	74.4	63.3	59.6
全国(公立)	72.8	59.8	56.0

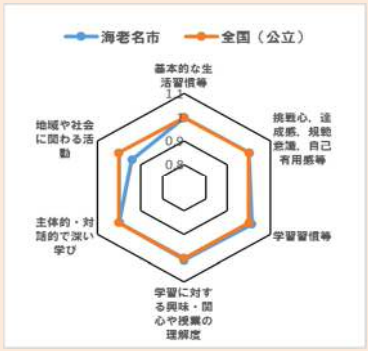
平均正答率(%)



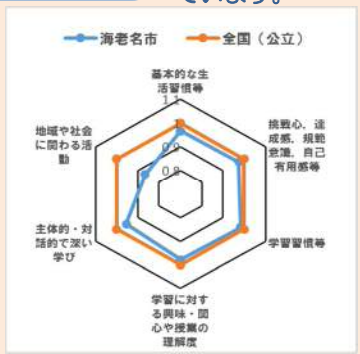
平均正答率のグラフ(%)

2　児童生徒質問紙調査結果の概要

小学校　学習意欲や学習習慣は良好です



中学校　学習習慣が身についています。



児童・生徒質問紙より　(全国平均を「1」としたときの比較)

◇学習に対する興味・関心が高いです。
◇主体的・対話的で深い学びに向けた学習活動に取り組んでいます。
◆地域・社会への関心については課題があります。
◇授業以外で勉強する習慣が身についています。
◆地域や社会への関心を高める必要があります。
◆主体的・対話的で深い学びに向けた学習活動に取り組むことに課題があります。

3　ご家庭で協力していただきたいこと

☆規則正しい生活習慣を身につけましょう

子どもたちが健やかに成長していくには、適度な運動、バランスのとれた食事、十分な休養・睡眠が大切です。「早寝・早起き・朝ごはん」をスローガンに取り組んでください。

☆家庭学習に毎日計画的に取り組みましょう

毎日こつこつと、少しずつでも継続することが大きな力になります。家庭学習に取り組む習慣が身につくように声をかけてください。

☆授業参観や学校の行事に参加しましょう

各教科の授業で子どもたちが主体的・対話的に学びあう姿や行事で生き生きと活動する姿をぜひご覧ください。

☆地域の方々と顔が見える「つながり」をつくっていきましょう

海老名市ではコミュニティ・スクールを導入し、「地域で育てる子どもたち」を目指しています。地域に関心を持ち、地域の行事等にご家族で積極的に参加してみてはいかがですか。

4　海老名市の教育施策（学力向上のために）

1. 授業改善に取り組んでいます
2. ICT 活用教育を推進しています
3. ALT(外国人指導助手)を配置しています
4. 教員の研修、研究を推進しています
5. 少人数学級、少人数指導のための教員を配置しています
6. 補助指導員・学習支援ボランティアを配置しています
7. 「学校応援団」による学校支援を進めています
8. コミュニティ・スクール、小中一貫教育を推進しています

海老名市の結果概要

平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査

教科に関する調査の結果

※平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率（全設問のうち何％の設問に正答したか）を平均したものです。

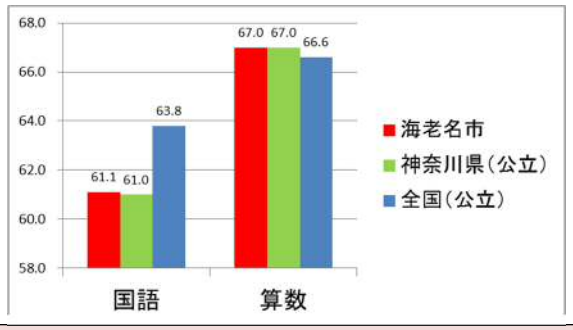
小学校

算数は全国と比べてやや上回っています

平均正答率（％）

	国語	算数
海老名市	61.1	67.0
神奈川県（公立）	61.0	67.0
全国（公立）	63.8	66.6

平均正答率のグラフ（％）



★国語は全国を２ポイント以上下回っています。

中学校

すべての教科で全国と比べて上回っています

平均正答率（％）

	国語	数学	英語
海老名市	74.4	63.3	59.6
神奈川県（公立）	73.0	59.0	59.0
全国（公立）	72.8	59.8	56.0

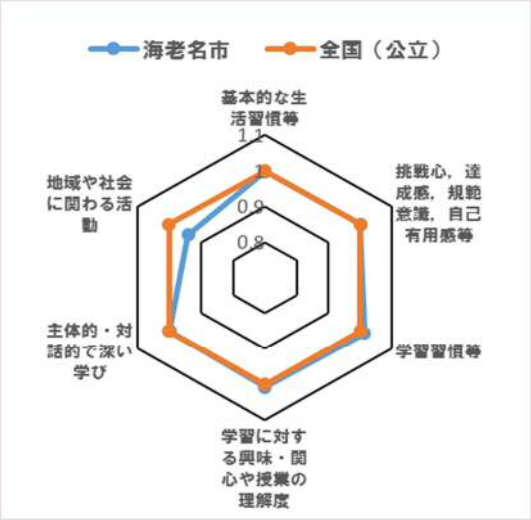
平均正答率のグラフ（％）

☆数学と英語では全国を３ポイント以上上回っています。

児童生徒に対する質問紙調査の結果

小学校

学習意欲や学習習慣は良好です



児童質問紙より
（全国平均を「１」としたときの比較）

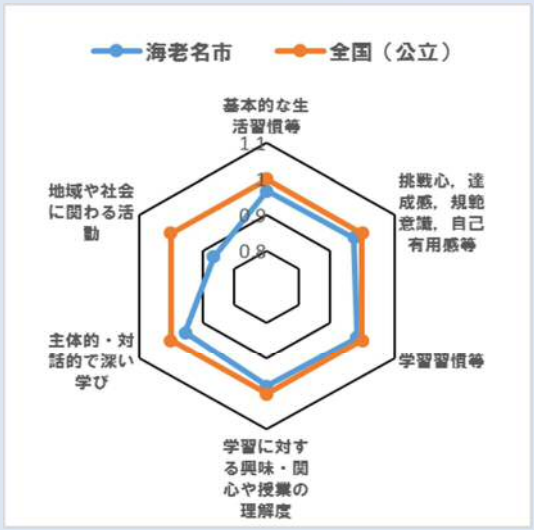
◇学習に対する興味・関心が高く、授業内容の理解に努めています。

◇学校の授業では主体的・対話的で深い学びに向けた学習活動に取り組んでいます。

◆地域・社会への関心や行事参加等について、学校と地域が相互に連携していくことに課題があります。

中学校

学習習慣が身についています



生徒質問紙より
（全国平均を「１」としたときの比較）

◇学校の授業以外で勉強する習慣が身についています。

◆小中一貫教育やコミュニティ・スクールなどの取組に関連させ、地域や社会の関心を高め、積極的に地域の行事等への参加をすすめていく必要があります。

◆学校の授業では主体的・対話的で深い学びに向けた学習活動に取り組むことに課題があります。

学力調査結果

小学校国語

小学校算数

中学校国語

中学校数学

中学校英語

小学校 国語

平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査

調査問題の内容

学習指導要領に示されている各領域に基づき、インタビューで質問を工夫する問題、自分の考えの理由をまとめて文章を書く問題、自分の考えを明確にしながら文章を読む問題、同音異義語の漢字を正しく使う問題などが出題されています。

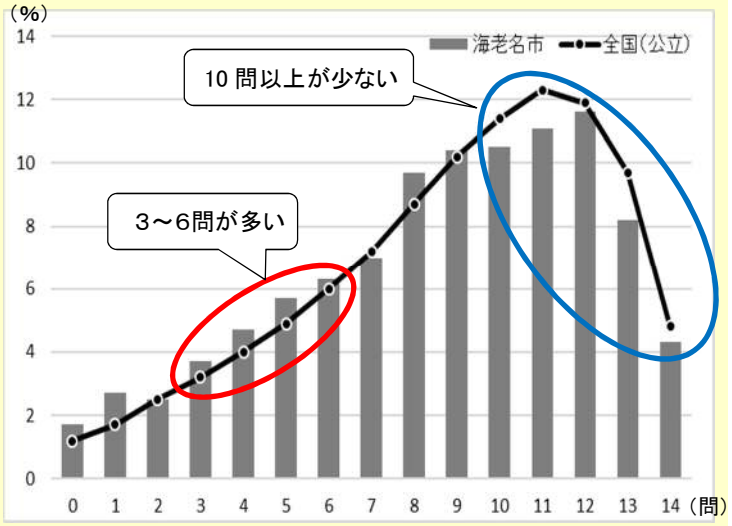
全体の結果

	海老名市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との比較
平均正答率	61.1%	61.0%	63.8%	−2.7
平均正答数	8.6 問 /14 問	8.5 問/14 問	9.0 問 /14 問	−0.4

平均正答率…平均正答数を問題数で割った値の百分率。

正答数分布グラフ

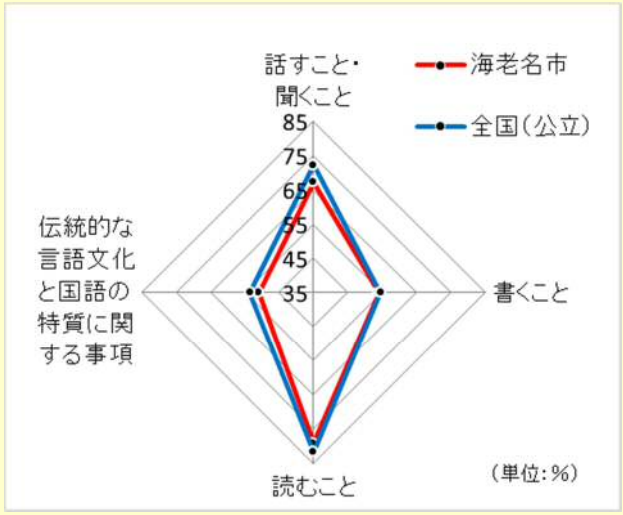
（横軸：正答数，縦軸：割合）



＊ 正答率 50%以下(0～7 問)の児童の割合は 34.3%です。【全国は 30.7%】
＊ 正答率 80%以上(12～14 問)の児童の割合は 24.1%です。【全国は 26.4%】
＊ 中央値は9問です。【全国は 10 問】

中央値…正答数を大きさの順に並べた時に真ん中に位置する値。

学習指導要領の領域等の平均正答率



全ての領域において、
全国と比較して下回っています。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			海老名市	全国（公立）	全国との比較	海老名市	全国（公立）	全国との比較
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3問	67.3	72.3	−5.0	13.6	10.6	2.9
	書くこと	3問	54.0	54.5	−0.5	4.5	4.4	0.1
	読むこと	3問	79.1	81.7	−2.6	6.5	5.2	1.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	5問	51.0	53.5	−2.5	11.7	12.7	−1.0
問題形式	選択式	7問	72.1	75.1	−3.0	9.4	8.9	0.5
	短答式	4問	47.3	48.7	−1.4	10.0	12.9	−2.8
	記述式	3問	54.1	57.6	−3.5	10.0	10.0	0.0

海老名市の結果についての分析

○平均正答率、平均正答数、中央値を見ると、全国と比べて正答率が低い児童がやや多いです。

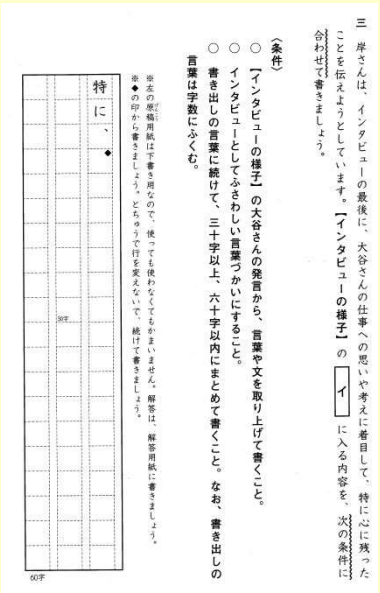
○平均正答率が全国を上回った問題は、14 問中3問でした。また、平均正答率が 80%以上の問題は、14 問中2問（全国は3問）です。

○問題形式から見ると、「記述式」の問題は全3問とも全国の平均正答率を下回っています。

○無解答率が全国よりも高かった問題は 14 問中 12 問でした。特に、問題の終盤に高くなる傾向がみられます。

全国の正答率と差が見られた問題の例

小学校国語のすべての問題は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。



三　岸さんは、インタビューの最後に、大谷さんの仕事への思いや考えに着目して、特に心に残ったことを伝えようとしています。【インタビューの様子】の［イ］に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉
○【インタビューの様子】の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げて書くこと。
○インタビューとしてふさわしい言葉づかいにすること。
○書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

特に、◆

60字

岸さん

お話を聞いて、大谷さんの仕事への思いや考えが分かりました。特に、

イ

またぜひお話を聞かせてください。今日は本当にありがとうございました。

3　地域で活躍する人を紹介する（畳職人へのインタビュー）

趣旨　話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることができる

正答は省略

◇この問題の正答率

海老名市	60.3%
全国（公立）	68.2%
（全国との比較	-7.9）

考　察

○字数や条件等の指定がある記述式の問題に課題があり、指導の工夫が求められます。

○調べたことをもとに、自分の考えを明確にしながら書くことに課題があり、わかりやすくまとめて書く力を高める必要があります。

○同音異義語である漢字を、意味の違いを考えて、正しく使うことに課題がみられます。

指導の改善にむけて

◆書くことの力を高めるために

○目的を明確にして学習に取り組み、わかった事実と自分の考えを区別し、わかりやすく書くことができるように指導します。

◆学んだことを活用できるために

○国語科で学んだことを、他教科や生活の中で活かす場面を意図的につくり、児童が繰り返して活用できるように指導します。

小学校　算数

平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査

調査問題の内容

学習指導要領に示されている各領域に基づき、被除数と除数にかける数や割る数を選び、600÷15 を計算しやすい式にして計算する問題や、残り7ポール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24 分以内にレジに着くことができるかどうかを判断する問題、長方形を直線で切ってできた図形の中から台形を選ぶ問題などが出題されています。

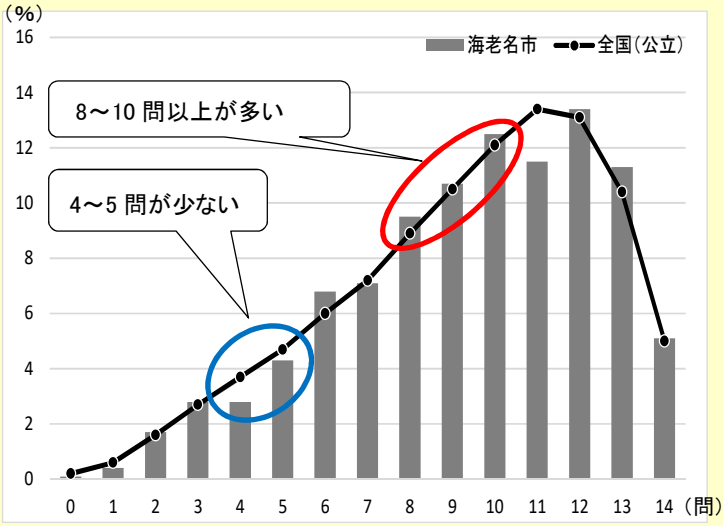
全体の結果

	海老名市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との比較
平均正答率	67.0%	67.0%	66.6%	0.4
平均正答数	9.4 問 /14 問	9.4 問/14 問	9.3 問 /14 問	0.1

平均正答率…平均正答数を問題数で割った値の百分率。

正答数分布グラフ

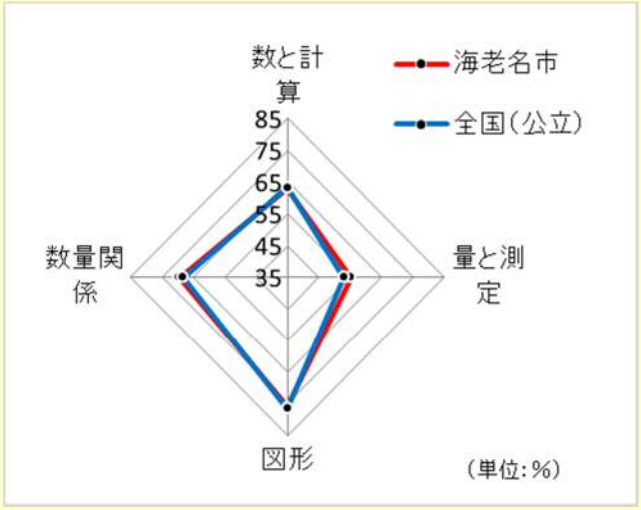
（横軸：正答数，縦軸：割合）



＊ 正答率 50%以下(0～7 問)の児童の割合は 27.7%です。【全国は 28.3%】
＊ 正答率 80%以上(12～14 問)の児童の割合は 29.8%です。【全国は 28.5%】
＊ 中央値は 10 問です。【全国は 10 問】

中央値…正答数を大きさの順に並べた時に真ん中に位置する値。

学習指導要領の領域等の平均正答率



「数量関係」、「量の測定」の2つの領域は、全国と比較して上回っています。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			海老名市	全国（公立）	全国との比較	海老名市	全国（公立）	全国との比較
学習指導要領の領域等	数と計算	7問	63.0	63.2	−0.2	3.4	3.2	0.2
	量と測定	3問	55.2	52.9	2.3	3.7	4.1	−0.3
	図形	2問	76.1	76.7	−0.6	0.4	0.4	0.1
	数量関係	7問	69.4	68.3	1.1	1.8	1.7	0.1
問題形式	選択式	5問	75.8	75.7	0.1	1.2	1.0	0.2
	短答式	5問	72.7	72.8	−0.1	2.0	1.9	0.1
	記述式	4問	49.2	47.4	1.8	5.5	5.8	−0.3

海老名市の結果についての分析

○平均正答率、平均正答数、中央値を見ると、全国と比べて大きな差は見られません。

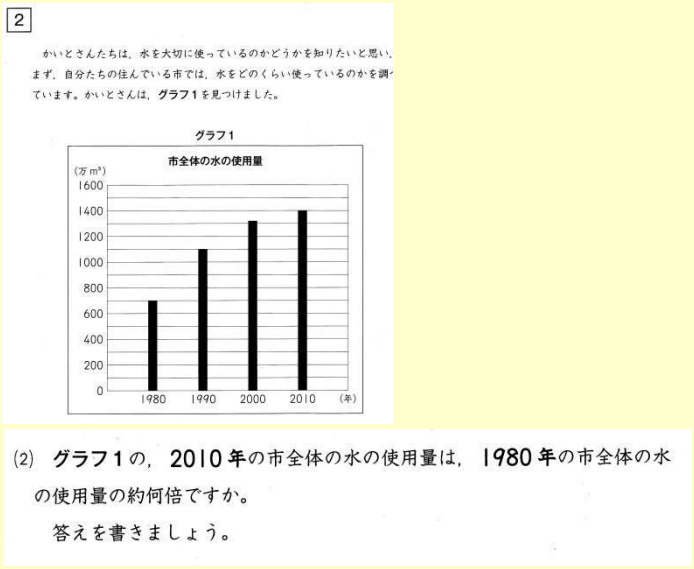
○平均正答率が全国を上回った問題は、14 問中7問です。また、平均正答率が 80%以上の問題は、14 問中5問（全国は4問）です。

○問題形式から見ると、「記述式」の問題は4問中3問で全国の平均正答率を上回っています。

○無解答率が全国よりも高かった問題は 14 問中7問です。

全国の正答率と差が見られた問題の例

小学校算数のすべての問題は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。


2

かいとさんたちは，水を大切に使っているのかどうかを知りたいと思い，まず，自分たちの住んでいる市では，水をどのくらい使っているのかを調べています。かいとさんは，グラフ1を見つけました。

グラフ1

(2) グラフ1の，2010年の市全体の水の使用量は，1980年の市全体の水の使用量の約何倍ですか。

答えを書きましょう。

2 (2) 2010 年の市全体の水の使用量が 1980 年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取って書く

趣旨　2010 年の市全体の水の使用量が 1980 年の市全体の水の使用量の約何倍か読み取ることができる

正答　約２倍

◇この問題の正答率

海老名市	83.4%
全国（公立）	78.6%
（全国との比較	＋4.8）

考　察

○資料の特徴や傾向を読み取る際に、目的に応じて差を求めたり、何倍かを求めたりしながら、資料の中の数量の大きさの関係を読み取る力が身についています。

○加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることや、計算の順序のきまりを理解して計算することに課題があり、指導の工夫が求められます。

指導の改善にむけて

◆計算について理解を深めるために

○計算の順序のきまりについて理解を深めることができるように、具体的な場面と関連づけた授業づくりに努めます。

○計算に関して成り立つ性質を見いだすことができるように、適用する数の範囲を広げていきながらほかの数値の場合でも成り立つかどうか確かめるように指導します。

◆課題に興味をもって最後までじっくり取り組むことができるようにするために

○児童が興味をもって課題に取り組むことができるように、日常生活や生活経験と関連づけて指導します。

中学校 国語

平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査

調査問題の内容

学習指導要領に示されている各領域に基づき、話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書く問題や広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える問題、語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する問題などが出題されています。

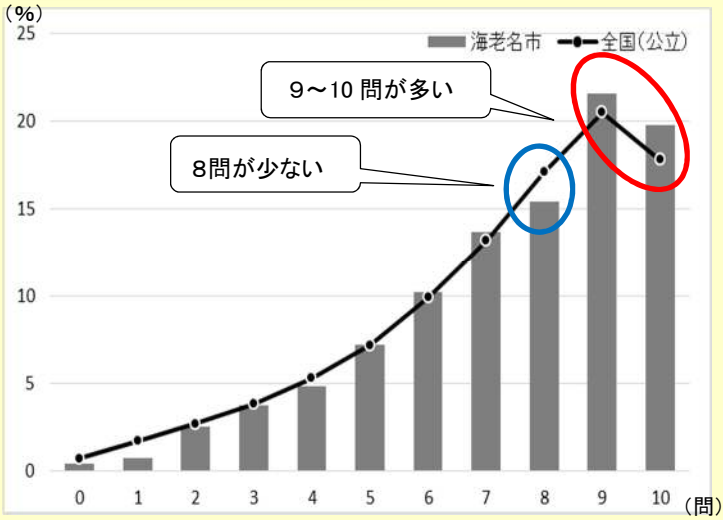
全体の結果

	海老名市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との比較
平均正答率	74.4%	73.0%	72.8%	1.6
平均正答数	7.4/10 問	7.3/10 問	7.3 問 /10 問	0.1

平均正答率…平均正答数を問題数で割った値の百分率。

正答数分布グラフ

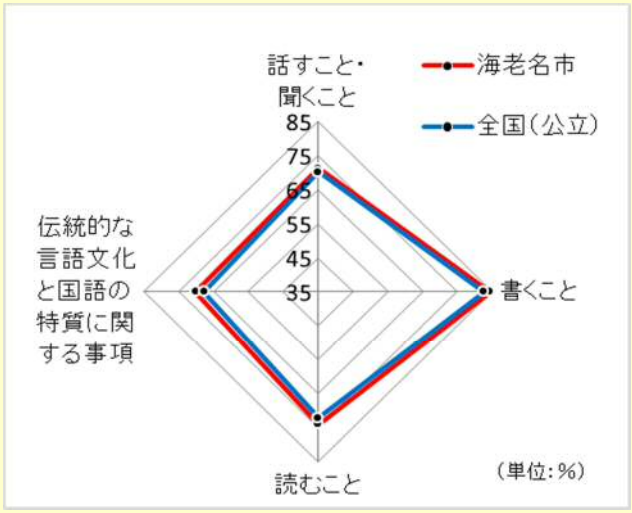
（横軸：正答数、縦軸：割合）



＊ 正答率 50%以下(0～5 問)の生徒の割合は 19.3%です。【全国は 21.4%】
＊ 正答率 80%以上(8～10 問)の生徒の割合は 56.8%です。【全国は 55.4%】
＊ 中央値は8問です。【全国は8問】

中央値…正答数を大きさの順に並べた時に真ん中に位置する値。

学習指導要領の領域等の平均正答率



全ての領域において、
全国と比較して上回っています。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			海老名市	全国（公立）	全国との比較	海老名市	全国（公立）	全国との比較
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3問	71.3	70.2	1.1	2.1	3.1	−1.0
	書くこと	2問	84.2	82.6	1.6	3.0	4.2	−1.2
	読むこと	3問	74.1	72.2	1.9	0.6	0.6	0.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	2問	70.2	67.7	2.5	2.1	3.4	−1.4
問題形式	選択式	6問	75.3	73.6	1.7	0.2	0.4	−0.2
	短答式	1問	60.1	56.8	3.3	3.4	5.6	−2.2
	記述式	3問	77.7	76.5	1.2	4.6	6.2	−1.6

海老名市の結果についての分析

〇平均正答率、平均正答数、中央値を見ると、全国と比べてやや上回っています。

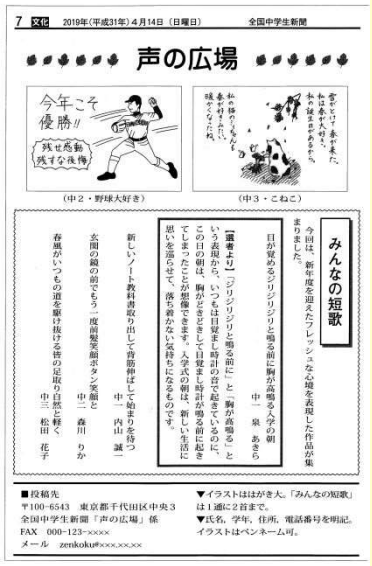
〇平均正答率が全国を上回った問題は、10 問中 10 問です。また、平均正答率が 80%以上の問題は、10 問中4問（全国は3問）です。

〇問題形式から見ると、平均正答率が 80%以上の4問のうち、3問が「選択式」の問題です。

〇無解答率が全国よりも高かった問題は 10 問中1問です。特に、記述式の無解答率が低い傾向がみられます。

全国の正答率と差が見られた問題の例

中学校国語のすべての問題は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。


7 文化 2019年（平成31年）4月14日（日曜日） 全国中学生新聞

声の広場

今年こそ優勝!!

残せ感動 残すな後悔

（中2・野球大好き）

（中3・こねこ）

みんなの短歌

今回は、新年度を迎えたフレッシュな心境を表現した作品が集まりました。

目が覚めるジリジリジリと鳴る前に胸が高鳴る入学の朝
中一 泉 あきら

【選者より】「ジリジリジリと鳴る前に」と「胸が高鳴る」という表現から、いつもは目覚まし時計の音で起きているのに、この日の朝は、胸がどきどきして目覚まし時計が鳴る前に起きてしまったことが想像できます。入学式の朝は、新しい生活に思いを巡らせて、落ち着かない気持ちになるものです。

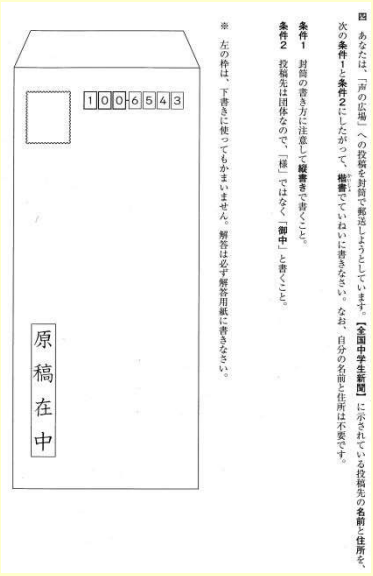
新しいノート教科書取り出して背筋伸ばして始まりを待つ
中一 内山 誠一

玄関の鏡の前でもう一度前髪笑顔ボタン笑顔と
中二 森川 りか

春風がいつもの道を駆け抜ける皆の足取り自然と軽く
中三 松田 花子

■投稿先
〒100-6543 東京都千代田区中央3
全国中学生新聞「声の広場」係
FAX 000-123-××××
メール zenkoku@×××.××.××

▼イラストははがき大。「みんなの短歌」は1通に2首まで。
▼氏名、学年、住所、電話番号を明記。イラストはペンネーム可。


100-6543

原稿在中

四 あなたは、「声の広場」への投稿を封筒で郵送しようとしています。【全国中学生新聞】に示されている投稿先の名前と住所を、次の条件1と条件2にしたがって、楷書（かいしょ）でていねいに書きなさい。なお、自分の名前と住所は不要です。

条件1 封筒の書き方に注意して縦書きで書くこと。

条件2 投稿先は団体なので、「様」ではなく「御中」と書くこと。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

1 情報を読む（新聞）

趣旨 封筒の書き方を理解して書くことができる

正答は省略

◇この問題の正答率

海老名市	60.1%
全国（公立）	56.8%
（全国との比較	＋3.3）

考　察

〇文学的な文章や説明的な文章などを扱うときに、感想を書いたり、他者と交流したりすることを通して、自分の考えを深めることについて成果がみられます。

〇教科書に出てくる文だけに限らず、記録文や通信文など様々な文の形式や内容に触れる機会を設けるような指導の工夫が求められます。

指導の改善にむけて

◆必要な情報を整理するために

〇文章の構成や展開、表現の仕方について分析するだけでなく、そのような表現をした書き手の目的や意図を読み取ったり、その効果について考えたりすることができるように指導します。

◆話し合いの話題や方向を捉えるために

〇話し合いをおこなうとき、話し合いの話題や過程を確認することができるように、記録の仕方を工夫しながら指導します。

中学校 数学

平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査

調査問題の内容

学習指導要領に示されている各領域に基づき、a と b が正の整数のとき、四則計算の結果が正の整数になるとは限らないものを選ぶ問題や、証明で用いられている三角形の合同条件を書く問題、冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する問題などが出題されています。

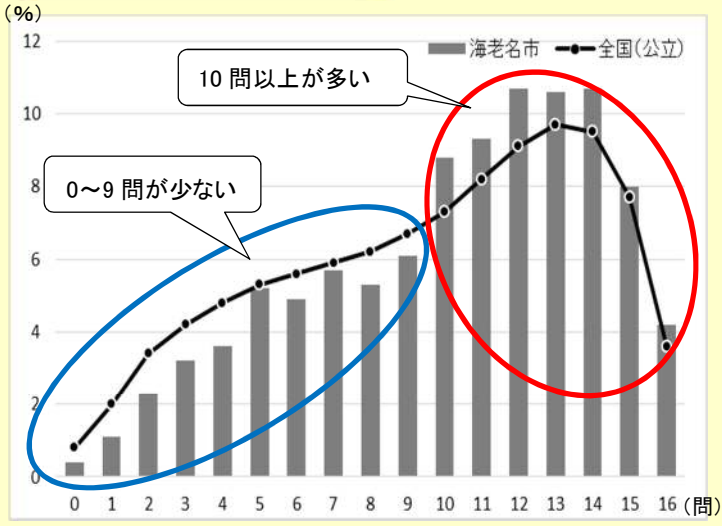
全体の結果

	海老名市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との比較
平均正答率	63.3%	59.0%	59.8%	3.5
平均正答数	10.1 問 /16 問	9.5 問/16 問	9.6 問 /16 問	0.5

平均正答率…平均正答数を問題数で割った値の百分率。

正答数分布グラフ

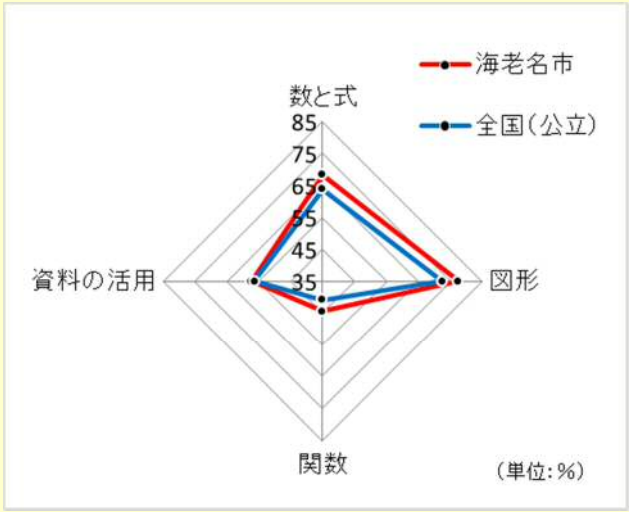
（横軸：正答数，縦軸：割合）



＊ 正答率 50%以下(0～8問)の生徒の割合は 31.7%です。【全国は 38.2%】
＊ 正答率 80%以上(13～16 問)の生徒の割合は 33.5%です。【全国は 30.5%】
＊ 中央値は 11 問です。【全国は 10 問】

中央値…正答数を大きさの順に並べた時に真ん中に位置する値。

学習指導要領の領域等の平均正答率



全ての領域において、
全国と比較して上回っています。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数	平均正答率(%) 海老名市	全国（公立）	全国との比較	平均無解答率(%) 海老名市	全国（公立）	全国との比較
学習指導要領の領域等	数と式	5問	68.3	63.8	4.5	4.4	6.9	−2.5
	図形	4問	77.5	72.4	5.1	4.5	6.0	−1.5
	関数	3問	44.5	40.8	3.7	6.7	7.4	−0.7
	資料の活用	4問	57.2	56.3	0.9	6.9	9.1	−2.2
問題形式	選択式	5問	61.5	60.3	1.2	0.4	0.8	−0.3
	短答式	7問	71.6	66.6	5.0	4.4	6.4	−2.0
	記述式	4問	51.2	47.1	4.1	13.6	17.1	−3.5

海老名市の結果についての分析

○平均正答率、平均正答数、中央値を見ると、全国と比べて正答率が高い生徒が多いです。

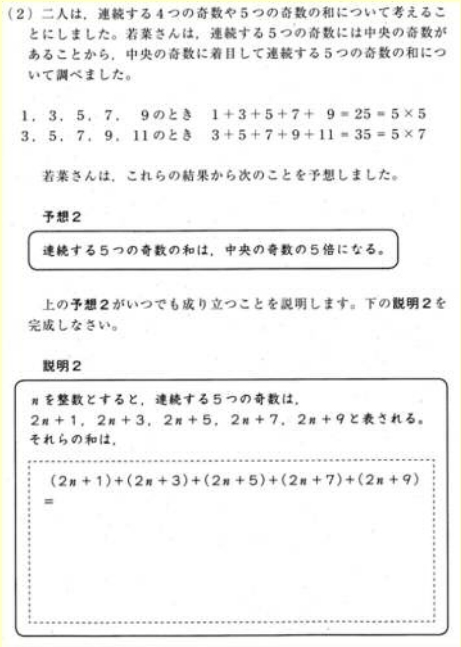
○平均正答率が全国を上回った問題は、16 問中 13 問です。また、平均正答率が 80%以上の問題は、16 問中3問（全国は1問）です。

○領域別から見ると、平均正答率が全国を下回った3問のうち、2問が「資料の活用」の領域です。

○無解答率が全国よりも高かった問題は 16 問中2問です。

全国の正答率と差が見られた問題の例

中学校数学のすべての問題は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。



（2）二人は，連続する４つの奇数や５つの奇数の和について考えることにしました。若葉さんは，連続する５つの奇数には中央の奇数があることから，中央の奇数に着目して連続する５つの奇数の和について調べました。

1，3，5，7，　9のとき　1＋3＋5＋7＋　9＝25＝5×5
3，5，7，9，11のとき　3＋5＋7＋9＋11＝35＝5×7

若葉さんは，これらの結果から次のことを予想しました。

予想２

連続する５つの奇数の和は，中央の奇数の５倍になる。

上の予想２がいつでも成り立つことを説明します。下の説明２を完成しなさい。

説明２

n を整数とすると，連続する５つの奇数は，
$2n+1$，$2n+3$，$2n+5$，$2n+7$，$2n+9$ と表される。
それらの和は，

$(2n+1)+(2n+3)+(2n+5)+(2n+7)+(2n+9)$
＝

9 (2) 連続する５つの奇数の和が中央の奇数の５倍なることの説明を完成する

趣旨　事柄が成り立つ理由を説明することができる

正答は省略

◇この問題の正答率

海老名市	68.8%
全国（公立）	59.7%
（全国との比較	＋9.1）

考　察

○どの領域においても、短答式、記述式の正答率が高く、文章問題を理解し数学的に処理する力が身についています。

○グラフを読み取る力や、連立方程式の解とグラフの交点の関係についての理解に課題があります。グラフから必要な情報を読み取り、活用する力を高める必要があります。

指導の改善にむけて

◆資料の活用の理解を深めるために

○具体的な日常場面と関連づけながら資料の活用の学習をすすめたり、学習した内容を振り返る場面を多く設定したりして定着を図ります。

◆関数の理解を深めるために

○グラフを用いることによって一目で分かる、式を用いると正確な値を求めることできるなど、それぞれを使って問題解決するよさを実感できる学習場面を設けます。

中学校 英語

平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査

調査問題の内容

学習指導要領に示されている各領域に基づき、概要や要点を英語で聞き取る問題や自分が考えたことや感じたことを、その理由を交えて英語で書くことできるよう必要な情報を読み取る問題、文のつながりなどに注意して英語で書く問題、英語で問答したり意見を述べたりする問題などが出題されています。

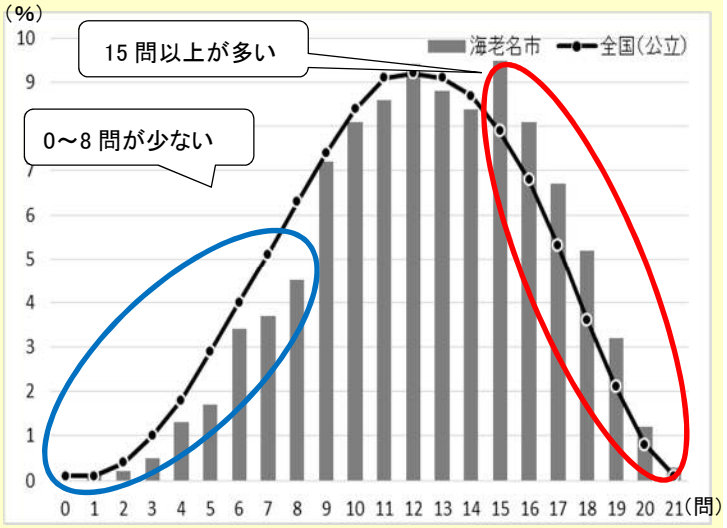
全体の結果

	海老名市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との比較
平均正答率	59.6%	59.0%	56.0%	3.6
平均正答数	12.5 問 /21 問	12.3 問/21 問	11.8 問 /21 問	0.7

平均正答率…平均正答数を問題数で割った値の百分率。

正答数分布グラフ

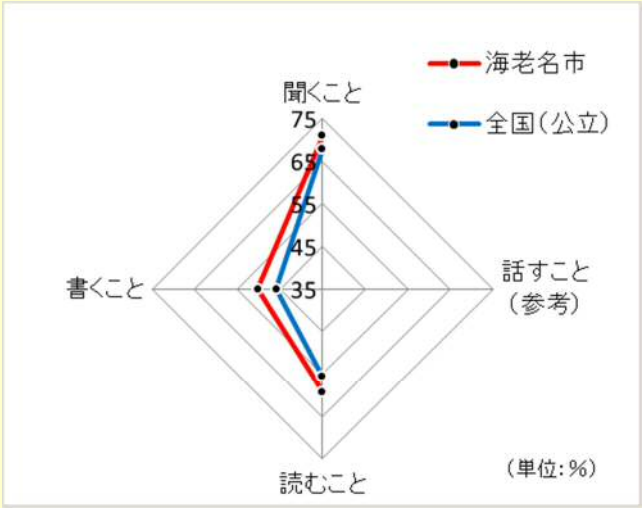
（横軸：正答数，縦軸：割合）



＊ 正答率 50%以下(0～10 問)の生徒の割合は 30.7%です。【全国は 37.5%】
＊ 正答率 80%以上(17～21 問)の生徒の割合は 16.6%です。【全国は 11.9%】
＊ 中央値は 13 問です。【全国は 12 問】

中央値…正答数を大きさの順に並べた時に真ん中に位置する値。

学習指導要領の領域等の平均正答率



全ての領域において、
全国と比較して上回っています。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			海老名市	全国（公立）	全国との比較	海老名市	全国（公立）	全国との比較
学習指導要領の領域等	聞くこと	7問	70.9	67.9	3.0	6.1	6.2	−0.1
	話すこと(参考)	5問						
	読むこと	6問	59.3	55.6	3.7	4.6	5.0	−0.4
	書くこと	8問	50.1	45.8	4.3	5.9	6.5	−0.6
問題形式	選択式	13問	75.3	71.4	3.9	0.3	0.3	0.0
	短答式	5問	49.5	45.2	4.3	7.6	8.6	−1.1
	記述式	3問	8.8	6.8	2.0	25.1	26.2	−1.0

海老名市の結果についての分析

○平均正答率、平均正答数、中央値を見ると、全国と比べて正答率が高い生徒が多いです。

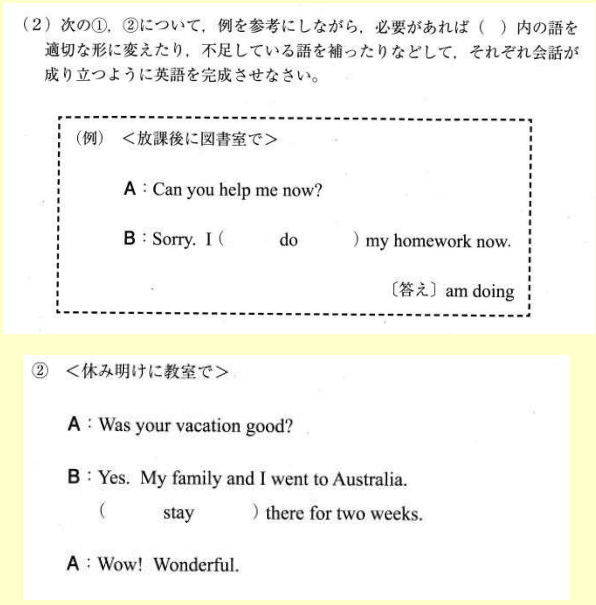
○平均正答率が全国を上回った問題は、21 問中 19 問です。また、平均正答率が 80%以上の問題は、21 問中4問（全国は3問）です。

○問題形式を見ると、「記述式」の問題は全3問とも全国の平均正答率を上回っていますが、平均正答率は 15%以下です。

○無解答率が全国よりも高かった問題は 21 問中6問です。

全国の正答率と差が見られた問題の例

中学校英語のすべての問題は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。



（2）次の①，②について，例を参考にしながら，必要があれば（　）内の語を適切な形に変えたり，不足している語を補ったりなどして，それぞれ会話が成り立つように英語を完成させなさい。

（例）＜放課後に図書室で＞

A：Can you help me now?

B：Sorry. I（　do　）my homework now.

〔答え〕am doing

② ＜休み明けに教室で＞

A：Was your vacation good?

B：Yes. My family and I went to Australia.

（　stay　）there for two weeks.

A：Wow! Wonderful.

9(2)　与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く。

趣旨　一般動詞の１人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる

正答例　We stayed

◇この問題の正答率

海老名市	39.2%
全国（公立）	28.9%
（全国との比較	＋10.3）

考　察

○「聞く」「読む」「書く」の技能を、日常的にバランスよく学習していることが結果に表れています。

○「聞いた内容に対する自分の考えを記述する」「これまで学習してきた内容を活用して対話する」など、技能統合的な課題に取り組んでいくことが求められます。

指導の改善にむけて

◆様々な形式の英文を正しく書く

○「I」「You」以外の主語や無生物が主語（This や It など）になる英文を書く機会を設け、様々な形式の英文を書く活動に取り組みます。

○相手に正しく伝わる文章になっているかを、生徒同士の交流を通して、修正を加えながら正確さを高める活動に取り組みます。

◆技能統合的な課題に取り組む

○「場面・状況をイメージしてから、聞く目的を持って聞く」「聞いてから、話し手が求めていることについて『話す』『書く』などして応じる」などいくつかの技能を活用して解決するような課題に取り組みます。

児童生徒質問紙調査結果

◆児童生徒質問紙　各教科の正答率とのクロス集計

① 生活習慣（朝食）について
② 学習習慣（家庭学習）について
③ 規範意識（きまりや規則）について
④ 「主体的・対話的で深い学び」について

◆児童生徒質問紙の結果から

◇生活習慣について
◇学習習慣について
◇規範意識・自己有用感について
◇地域とのつながりについて
◇ＩＣＴの活用について
◇教科学習について

◆ご家庭で協力していただきたいこと

児童生徒質問紙①各教科の正答率とのクロス集計

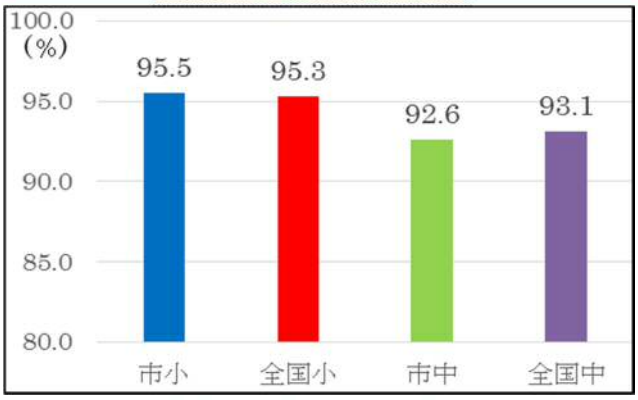
平成31年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査

生活習慣（朝食）について

毎日の朝食から生活習慣について考える。

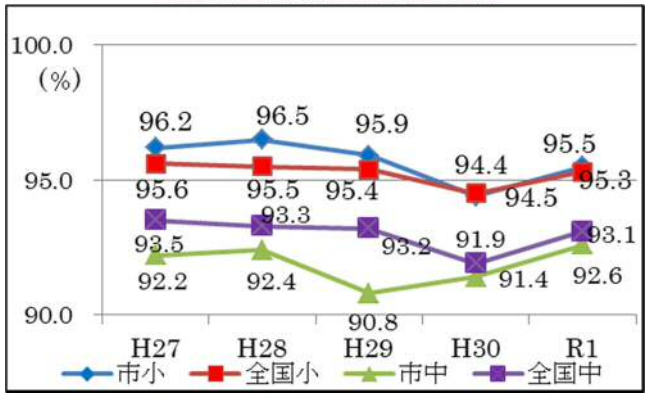
質問 朝食を毎日食べていますか。

今年度の結果



小学校，中学校ともに，全国平均と同程度の高い割合を示しています。その一方で朝食を食べていない児童生徒が学級に1～2人いる割合になっています。

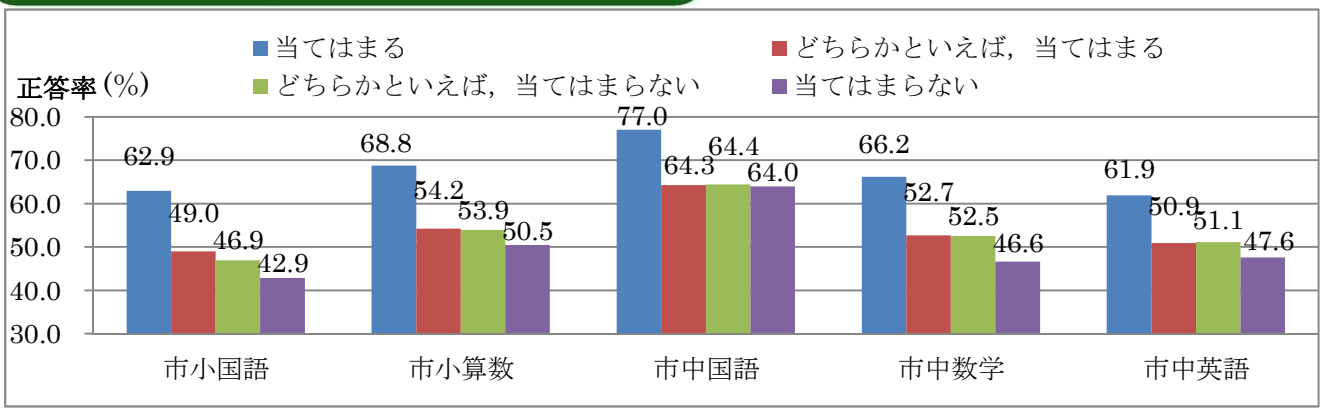
５年間の比較



小学校，中学校ともに，４年前より大きな変化はみられません。

※グラフは，「当てはまる」「どちらかといえば，当てはまる」の回答率を合計した数値で示しています。

各教科の正答率とのクロス集計



この質問に対しては，より肯定的な回答を示す児童生徒の各教科の正答率が高いという結果が出ています。

これからの取組について

全国の平均値や過去５年間の経過を比較しても，大きな変化はみられませんが，「学級に数人は朝食を食べていない児童生徒がいる」という認識を持って，今後も健康観察等を注意深く行っていきます。

児童生徒質問紙②各教科の正答率とのクロス集計

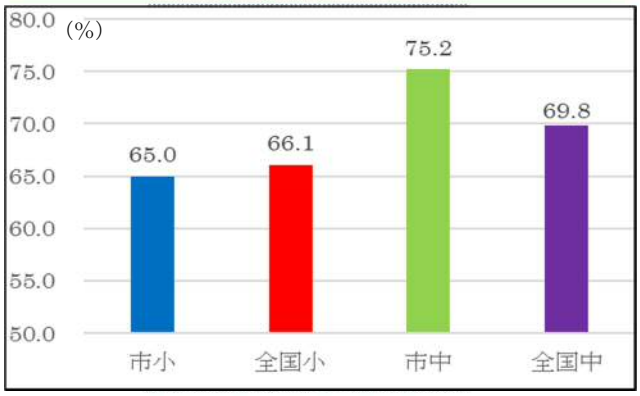
平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査

学習習慣（家庭学習）について

学校の授業時間以外の学習から，学習習慣について考える。

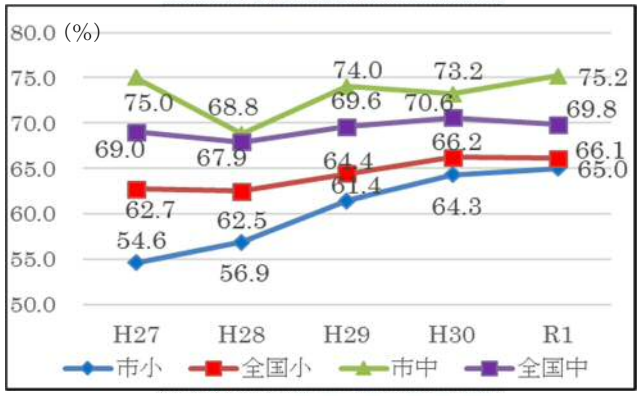
質問 学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），１日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか。
（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含みます。）

今年度の結果



小学校は全国平均と同程度，中学校は全国平均よりも大幅に上回っています。

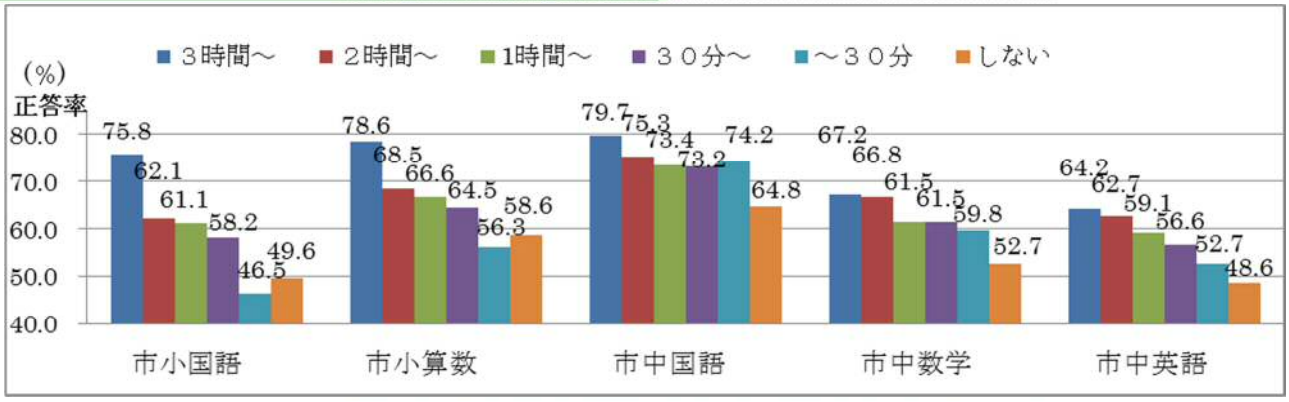
５年間の比較



小学校は，４年前よりも大きく増加してきています。中学校は，大きな変化はありませんが，５年間とも全国平均を上回っています。

※グラフは，「1 時間以上勉強している」の回答率を合計した数値で示しています。

各教科の正答率とのクロス集計



この質問に対しては，より肯定的な回答を示す児童生徒の各教科の正答率が高いという結果が出ています。

これからの取組について

学習内容の習熟・定着をより確かなものにするため，家庭学習としての課題の出し方を工夫します。毎日継続して学習を続けることにより，自ら進んで学ぶ習慣が身につくよう，励ましていきます。

児童生徒質問紙③各教科の正答率とのクロス集計

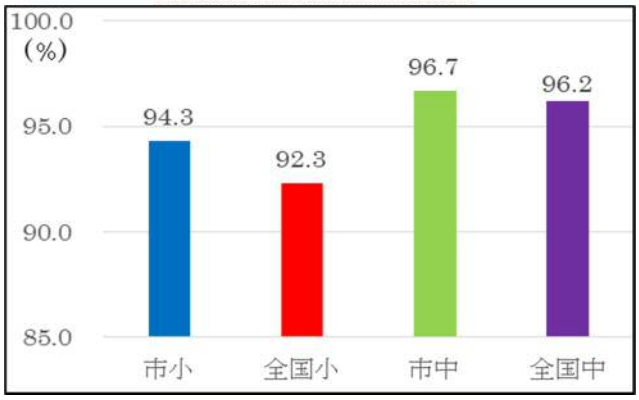
平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査

規範意識（きまりや規則）について

学校のきまりや規則を遵守することから，規範意識について考える。

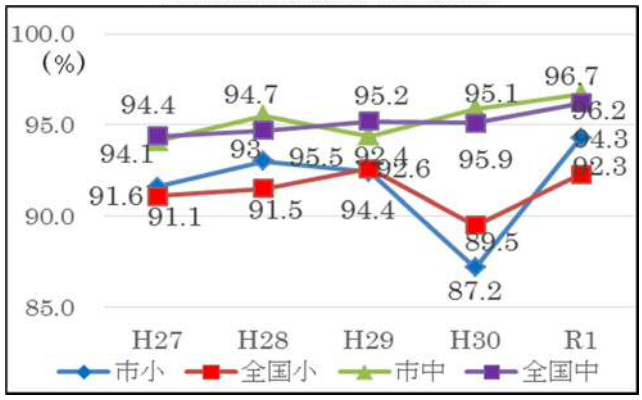
質問 学校のきまりを守っていますか。（小学校） 学校の規則を守っていますか。（中学校）

今年度の結果



小学校，中学校ともに，全国平均を上回り，高い割合を示しています。

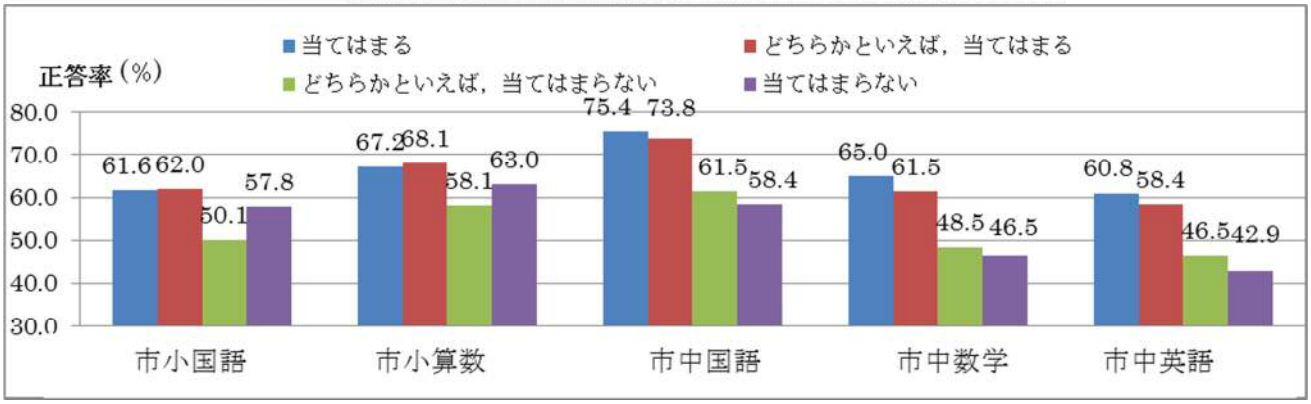
５年間の比較



小学校，中学校ともに，４年前より増加傾向にあります。

※グラフは，「当てはまる」「どちらかといえば，当てはまる」の回答率を合計した数値で示しています。

各教科の正答率とのクロス集計



この質問に対しては，特に中学校において，より肯定的な回答を示す児童生徒の各教科の正答率が高いという結果が出ています。

これからの取組について

学校の教育活動全体を通して，「きまり」や「きまりを守ること」の意義について理解を深める指導を行っていきます。また，日々の学校生活の中で，その意義を実感できるような活動を充実させ，主体的に「きまり」を守ることができるように指導していきます。

児童生徒質問紙④ 各教科の正答率とのクロス集計

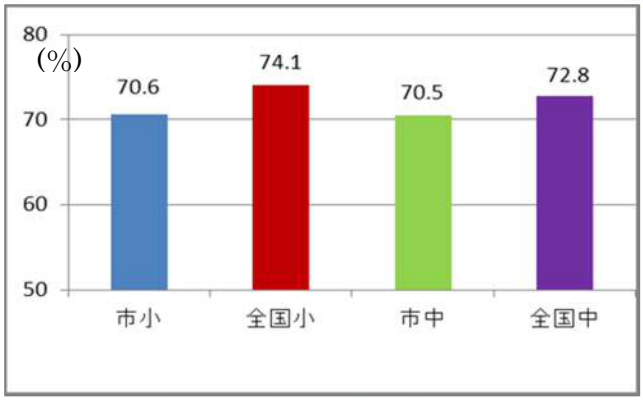
平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査

「主体的・対話的で深い学び」について

授業での言語活動（話し合い活動）から，「主体的・対話的で深い学び」について考える。

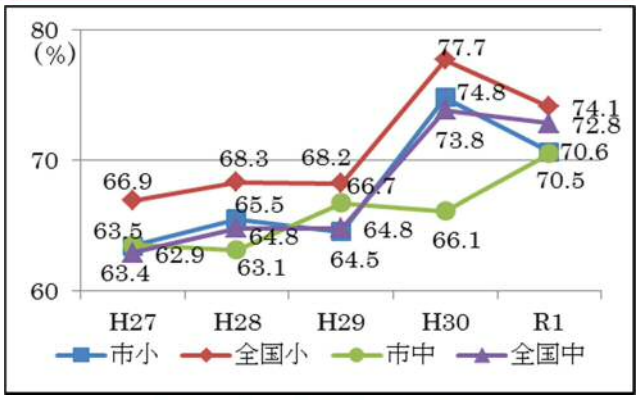
質問 学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりすることができていると思いますか。

今年度の結果



小学校，中学校ともに，全国平均を下回っていますが，7 割以上の児童生徒ができていると回答しています。

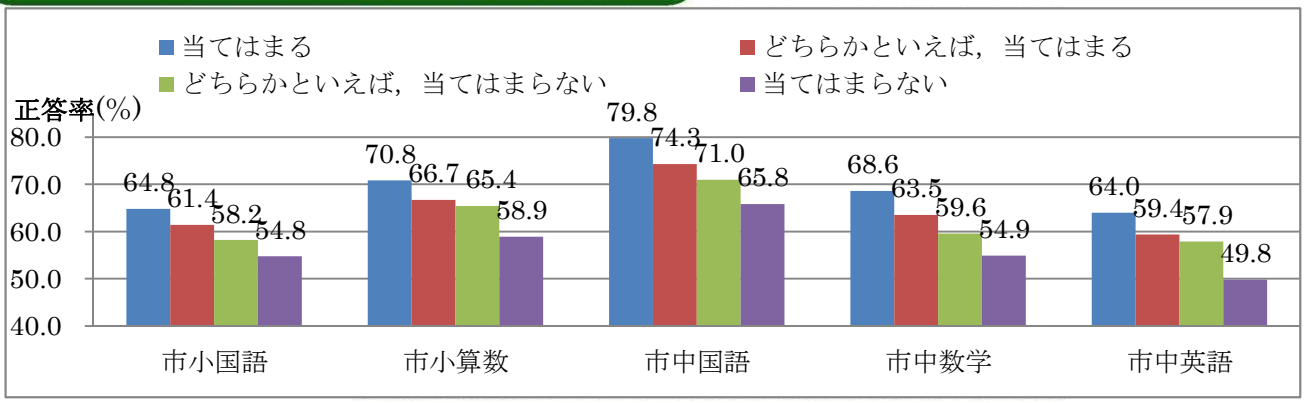
５年間の比較



小学校，中学校ともに，4年前より増加傾向にあります。

※グラフは，「当てはまる」「どちらかといえば，当てはまる」の回答率を合計した数値で示しています。

各教科の正答率とのクロス集計



この質問に対しては，より肯定的な回答を示す児童生徒の各教科の正答率が高いという結果が出ています。

これからの取組について

授業のねらいに即して2人組やグループ，学級全体で話し合う活動を積極的に取り入れることで，自分の考えを広げ深める「対話的な学び」をより一層充実させるように，授業改善に取り組んでいきます。

児童生徒質問紙の結果から

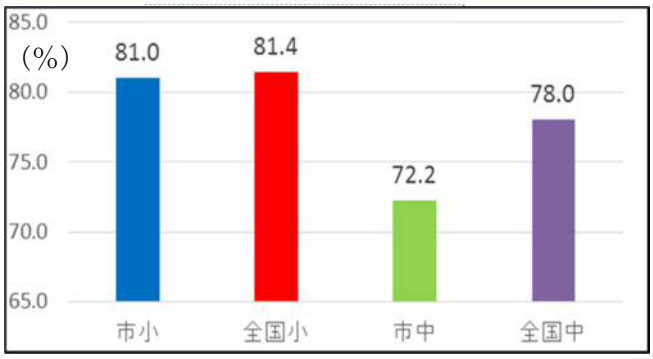
平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査

生活習慣について

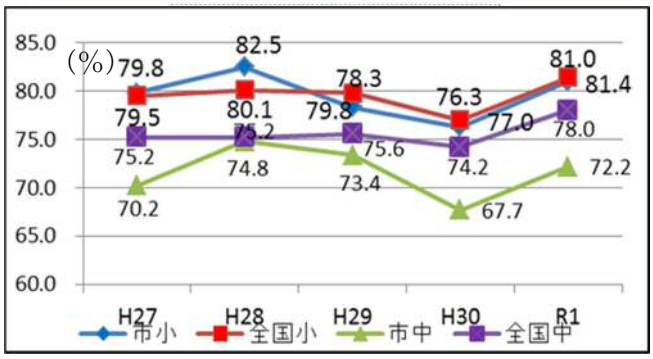
起床時刻，就寝時刻から生活習慣について考える。

質問 毎日，同じくらいの時刻に寝ていますか。（している・どちらかといえば，しているの割合）

今年度の結果

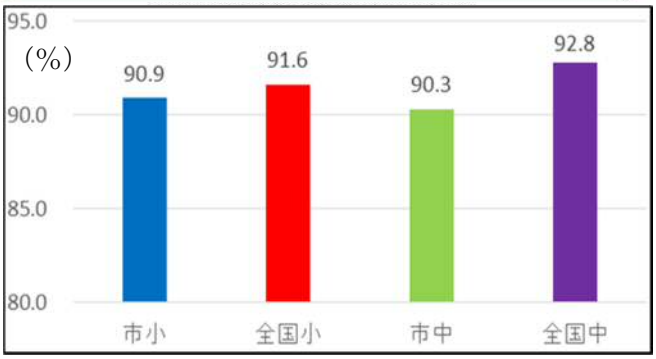


５年間の比較

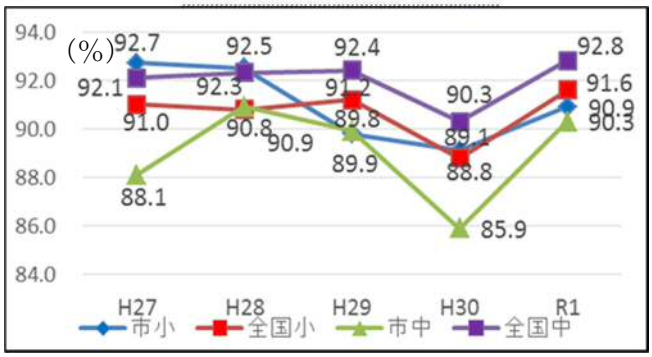


質問 毎日，同じくらいの時刻に起きていますか。（している・どちらかといえば，しているの割合）

今年度の結果



５年間の比較

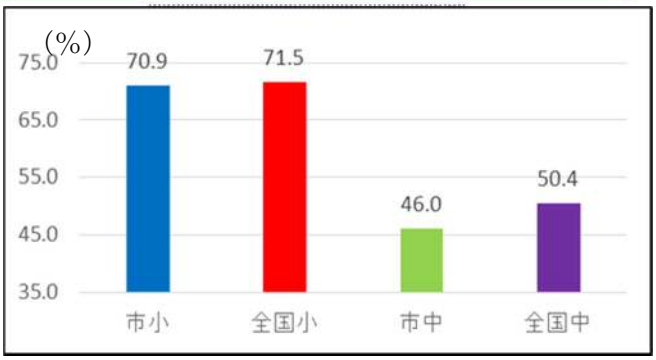


学習習慣について

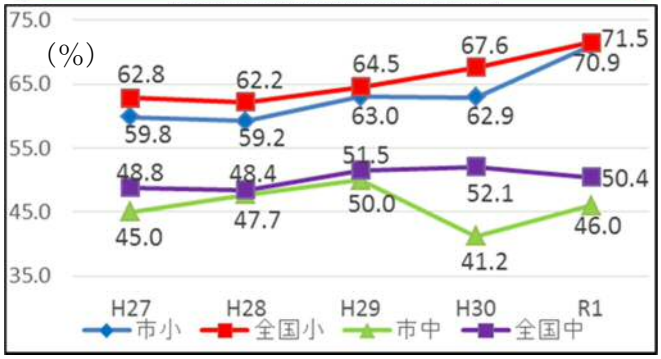
学習習慣について考える。

質問 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。（している・どちらかといえば，しているの割合）

今年度の結果



５年間の比較

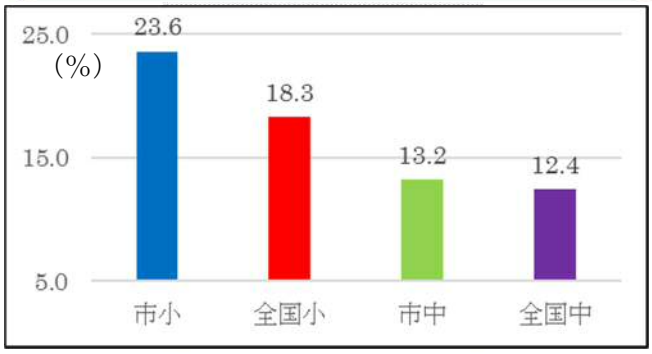


児童生徒質問紙の結果から

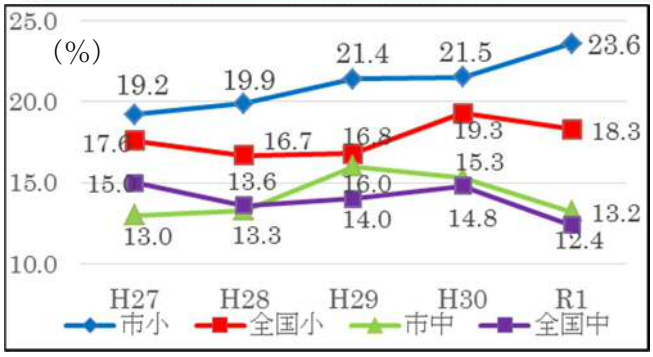
平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査

質問 学校の授業時間以外に，普段，1 日当たりどれくらいの時間，読書しますか。（1 時間以上の割合）

今年度の結果



５年間の比較

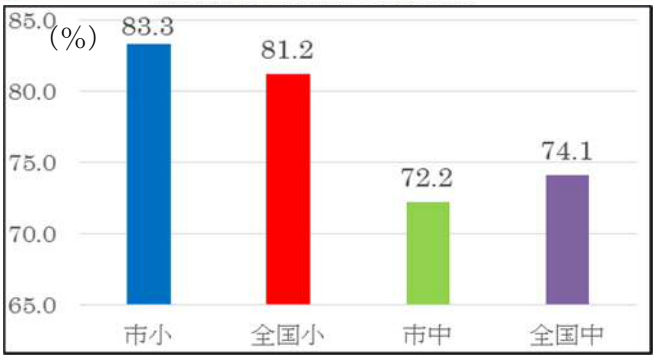


規範意識・自己有用感について

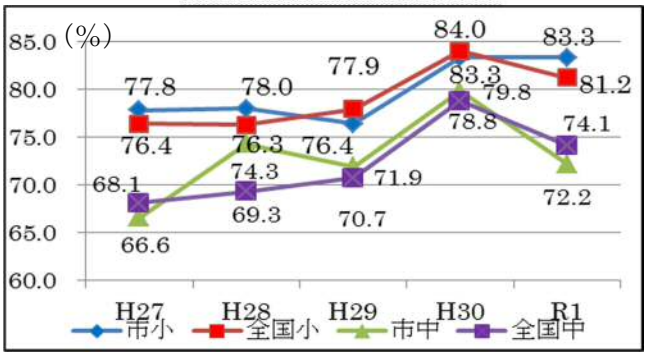
自分のよさやいじめに対する考え方等から，規範意識・自己有用感について考える。

質問 自分には，よいところがあると思いますか。（当てはまる・どちらかといえば，当てはまるの割合）

今年度の結果

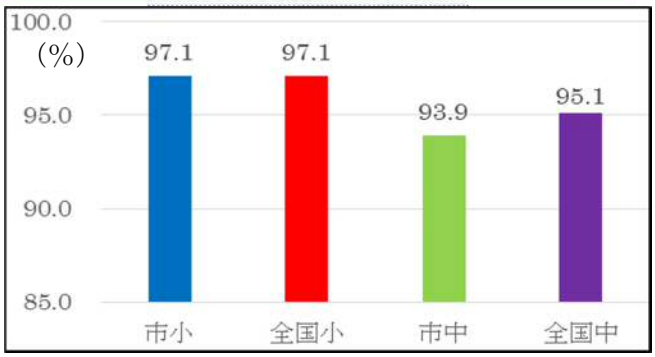


５年間の比較

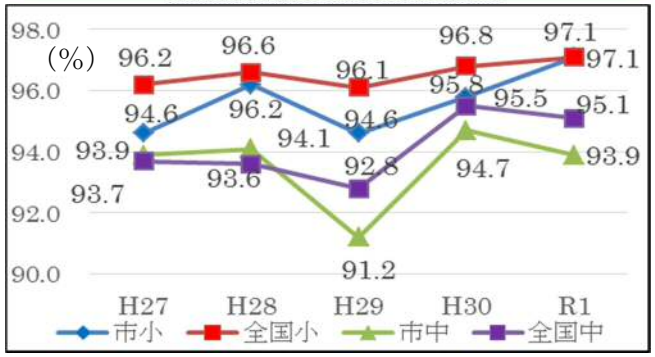


質問 いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか。（当てはまる・どちらかといえば，当てはまるの割合）

今年度の結果



５年間の比較



児童生徒質問紙の結果から

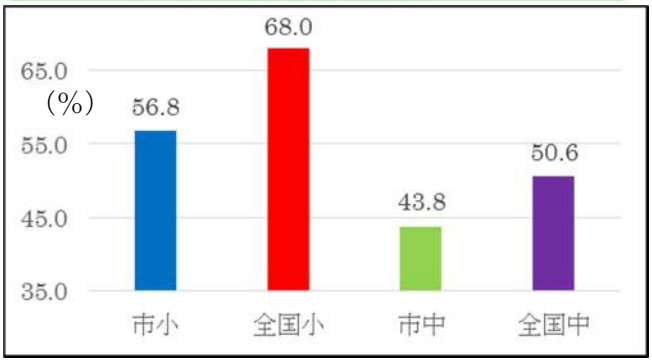
平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査

地域とのつながりについて

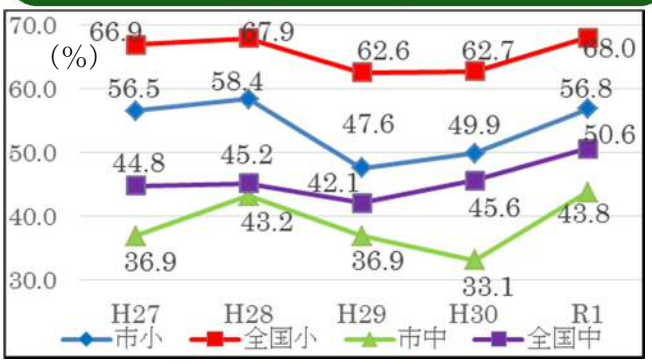
地域や地域の人たちとのつながりについて考える。

質問 今住んでいる地域の行事に参加していますか。（当てはまる・どちらかといえば，当てはまるの割合）

今年度の結果

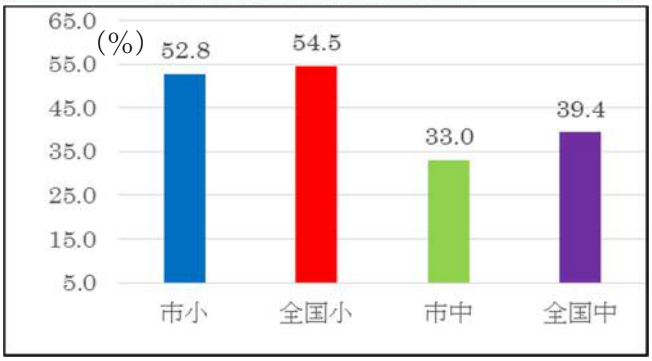


５年間の比較

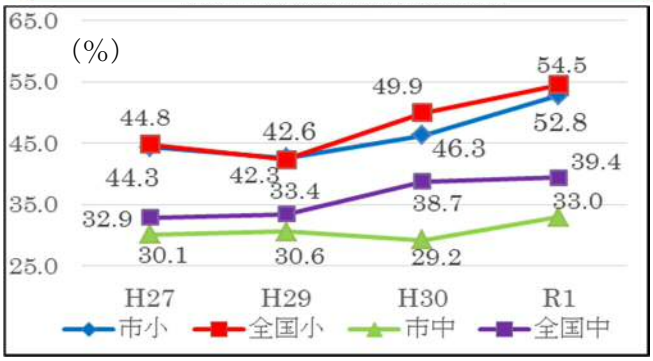


質問 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。（当てはまる・どちらかといえば，当てはまるの割合）

今年度の結果



５年間の比較（H28 のみ該当質問なし）

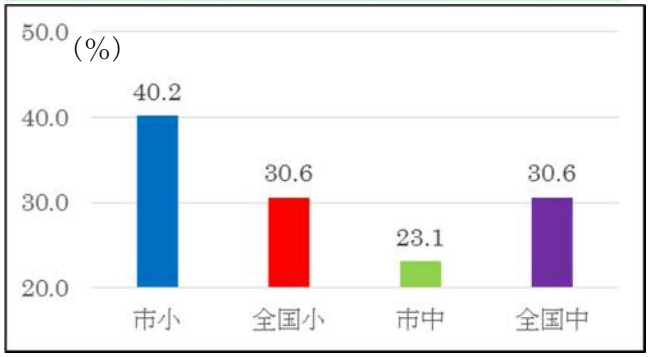


ICT の活用について

PC やタブレットなどの ICT 機器を活用した学習について考える。

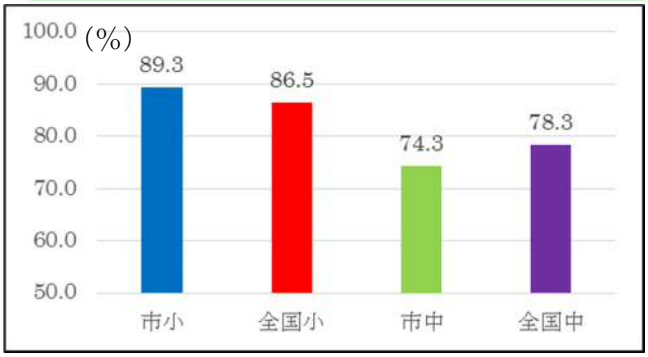
質問 授業でコンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか。（週１回以上・ほぼ毎日と答えた割合）

今年度の結果（今年度からの質問項目）



質問 授業でもっとコンピュータなどの ICT を活用したいと思いますか。（当てはまる・どちらかといえば，当てはまるの割合）

今年度の結果（今年度からの質問項目）



児童生徒質問紙の結果から

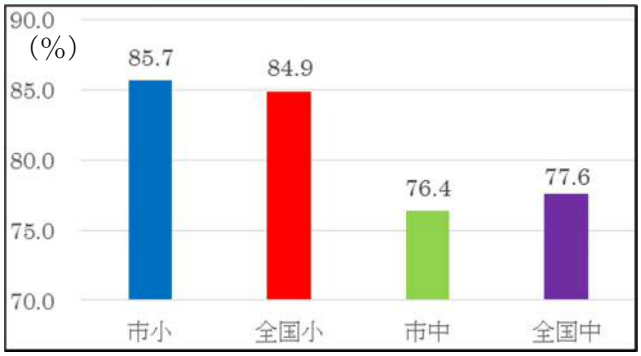
平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査

教科学習について

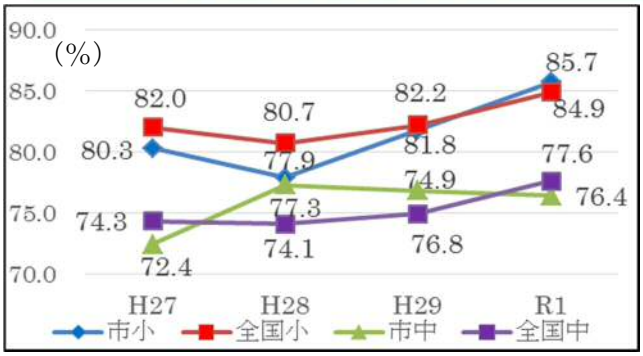
各教科の授業について学習の理解について考える。

質問 国語の授業の内容はよく分かりますか。（当てはまる・どちらかといえば，当てはまるの割合）

今年度の結果

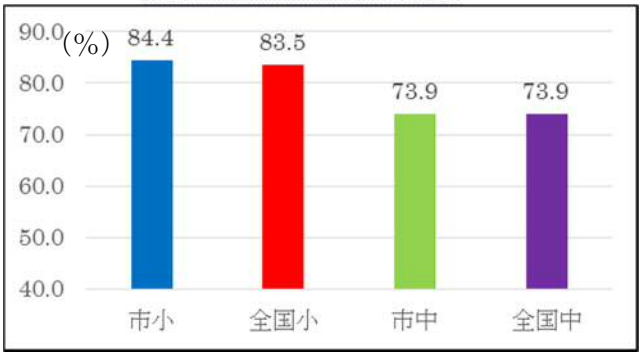


５年間の比較（H30 のみ該当質問なし）

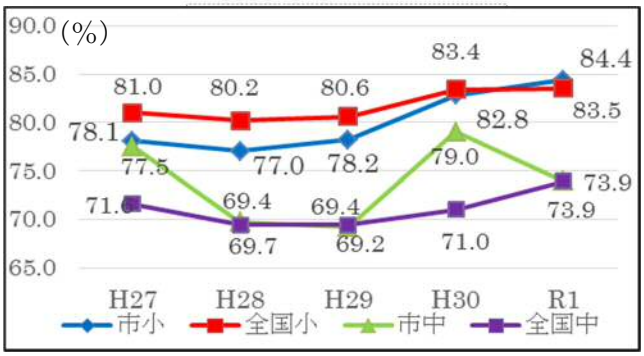


質問 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。（当てはまる・どちらかといえば，当てはまるの割合）

今年度の結果

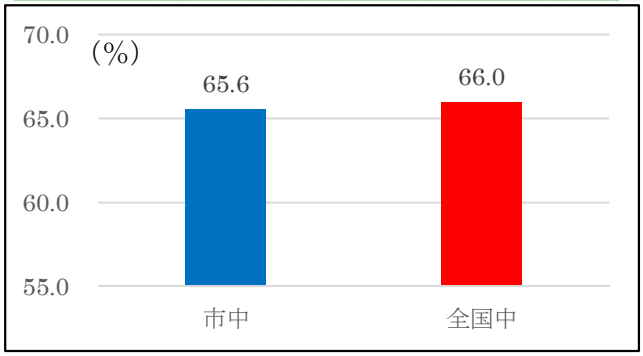


５年間の比較



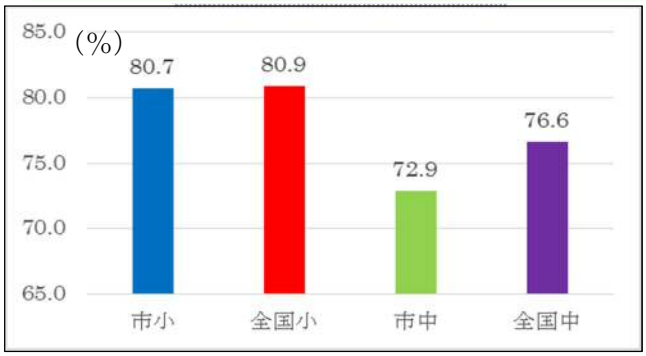
質問 英語の授業はよく分かりますか。
（当てはまる・どちらかといえば，当てはまるの割合）※中学校のみ

今年度の結果（今年度からの質問項目）



質問 道徳の時間では，自分の考えを深めたり，学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか。
（当てはまる・どちらかといえば，当てはまるの割合）

今年度の結果（今年度からの質問項目）



ご家庭で協力していただきたいこと

平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査

規則正しい生活を身につけましょう

子どもたちが健やかに成長していくには，適度な運動，バランスのとれた食事，十分な休養・睡眠が大切です。「早寝・早起き・朝ごはん」をスローガンに取り組んでください。

家庭学習に毎日計画的に取り組みましょう

毎日こつこつと，少しずつでも継続することが大きな力になります。家庭学習に取り組む習慣が身につくように声をかけてください。

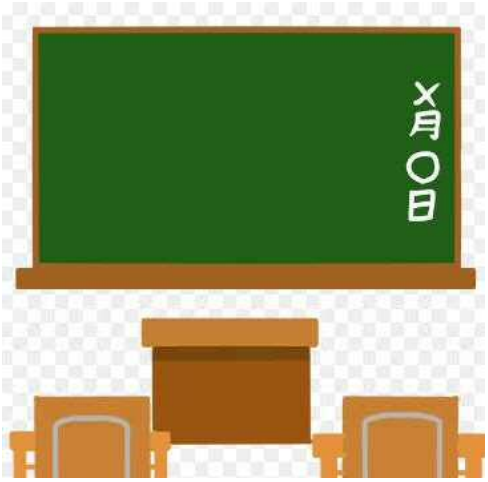
授業参観や学校の行事に参加しましょう

各教科の授業で子どもたちが主体的・対話的に学びあう姿や行事で生き生きと活動する姿をぜひご覧ください。

地域の方々と顔が見える「つながり」をつくっていきましょう

海老名市ではコミュニティ・スクールを導入し，「地域で育てる子どもたち」を目指しています。地域に関心を持ち，地域の行事等にご家族で積極的に参加してみてはいかがですか。

学力向上のための「8つの教育施策」について



令和元年 12 月

海老名市教育委員会

1 授業改善に取り組んでいます

平成 30 年度より、重点施策として「授業改善」を掲げ
全教員で「よりよい授業づくり」に取り組んでいます。

新学習指導要領の全面実施にむけて、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行っています。

令和元年度は、文部科学省視学委員を小学校３校、中学校１校に招き、授業改善にむけた実践的な取組を実施しています。

令和元年度予算
48万円

2 ＩＣＴ活用教育を推進しています

わかりやすく楽しい授業を展開するために、ＩＣＴ機器
を活用した教育を進めています。

各学校に、学習用パソコン、大型テレビ、教室天井吊下げプロジェクタなどのＩＣＴ機器を整備し、活用しています。

令和元年度は、小学校にタブレット型パソコンを増台し、全小学校２年生と全小中学校の特別支援級の教室に電子黒板機能付きプロジェクタを設置しました。

令和元年度予算
2億2，926万9千円

3 ＡＬＴ（外国人指導助手）を配置しています

小学校の外国語活動や中学校の英語科におけるコミュニケーション活動を充実させるため、ALT（外国人指導助手）を配置しています。

令和元年度は、新学習指導要領全面実施に先駆けて、小学校３・４年生で年間 35 時間、５・６年生で年間 70 時間の外国語活動を実施し、13 名のＡＬＴを市内小中学校 19 校に配置しています。

さらに、１つの学校に 13 名のＡＬＴを同日に配置し、１日を通じて英語に親しむ『English day』にも取り組んでいます。

令和元年度予算
6，936万円

4 教員の研修・研究を推進しています

教員の指導力を高めるために、指導法講座などの研修会を開催しています。また、各学校での校内研究会をサポートしています。

毎年、小学校２校、中学校１校を研究校に指定し、研究の成果を次の年に「ひびきあう教育研究発表大会」で報告しています。

令和元年度の研究校は、柏ケ谷小学校、上星小学校、海老名中学校です。

令和元年度予算
2，775万円

5 少人数学級、少人数指導のための教員を配置しています

ひとりひとりの子どもの学力に応じたきめ細かな指導を目的として、市費で非常勤教員を配置して、35 人以下の学級や少人数での学習指導を行っています。

他市に先駆けて、平成 17 年度からスタートし、令和元年度は市費で小学校４名、中学校２名の非常勤教員を配置しています。

令和元年度予算
1，735万4千円

6 補助指導員、学習支援ボランティアを配置しています

個別の学習支援が必要な子どものために、市費で教員資格を持つ指導員を配置しています。
また、学習支援ボランティアを募集し、授業での学習支援や「まなびっ子クラブ」を行っています。

【補助指導員】
小中学校全 19 校に各校１名以上の指導員を配置して、子どもの特性や学力に応じた、個別の学習支援を行っています。令和元年度は、小学校 418 名、中学校 83 名の子どもの支援を行っています。

【学習支援ボランティア】
子どもや学校を支援していただいています。令和元年度の派遣回数は、９月末現在で 1，247 回です。

令和元年度予算
4，076万3千円

7 「学校応援団」による学校支援を進めています

平成 27 年度より、小学校に「学校応援団」を設置し、地域の方々の力により子どもと学校を支援する取組を進めています。

「学校応援団」では、学校の授業や行事の支援、学校環境の整備などを行うとともに、「えびなっ子スクール」や「あそびっ子クラブ」などの運営を行っています。

令和元年度予算
4，348万3千円

8 コミュニティ・スクール、小中一貫教育を推進しています

平成 29 年度から全中学校区で、子どもを９年間で指導・支援する「小中一貫教育」に取り組んでいます。

また、平成 30 年度には全小中学校において、学校運営協議会が設置されました。

【小中一貫教育】
中学校区ごとに共通の目標を定め、その達成にむけて小中学生の交流や教職員の話し合いなどを進めています。

【コミュニティスクール】
海老名市の全小中学校に「学校運営協議会」を設置し、「コミュニティスクール」となりました。「地域・学校の課題」「地域の子どもをどう育てるか」について、地域住民や保護者、学校教職員が共に話し合っています。

令和元年度予算
207万4千円

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査

学校の調査結果

令和元年 12 月

海老名市立海老名小学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

（1）義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
（2）学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
（3）そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年　原則として全児童生徒

調査内容

（1）教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

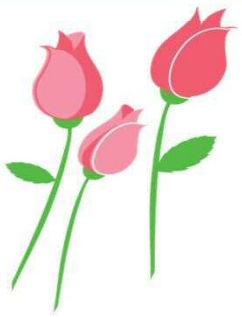
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況　など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日（木）



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・図表やグラフなどを用いた目的を捉える
・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方や工夫を捉える
・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む
・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
・目的に応じて、質問を工夫する
・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる
・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。
〇目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと。
〇話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をすること。

◆課題のある点

〇目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと。
〇情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉えること。
〇文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇書く目的や意図に応じて文章全体の構成や表現を振り返る時間を設ける。また、児童同士が互いに文章を読みあい、具体的に助言しあう場面を学習の展開の中に取り入れる。

〇説明文などの学習の際、接続語を用いるよさを理解させ、児童が積極的に活用できる場面を設定する。

〇様々な言語活動や学習場面を活用して、書く力を高める。さらに、目的や相手を意識して自分の考えを書いたり、決められた条件の中で文章を書いたりする活動を通して書く力の育成を図る。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・台形について理解している
・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる
・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
・示された除法の式の意味を理解している
・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、その結果から判断できる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇四則の混合した整数、小数の計算をすること。
〇複数の情報の中から、必要な情報を選択し、立式をすること。

◆課題のある点

〇図形の性質や構成要素に着目し、図形に関わる数学的活動を通して、生活や学習に活用すること。
〇知識としては、理解しているがその求め方などについて、言葉や数を用いて記述すること。
〇既習事項を生かして、新たな問題を解決すること。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇図形の性質の考察において、観察や構成などの具体的操作を重視し、図形についての感覚を豊かにするとともに、身の回りの事象の特徴を捉える力などを養っていく。

〇図、数、式、表、グラフといった数学的な表現の方法を問題解決に生かしたり、思考の過程や結果を表現して説明したりする機会を増やす。

〇単に問題を解決するのみならず、問題解決の過程や結果を振り返って、得られたことを捉え直したり、新たな問題を見出したりすることで、既習事項と関連づけができるようにする。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

〇「国語の勉強が好き」「国語の勉強は大切だと思う」と答える児童が全国平均より多い。重要な語句を探したり、段落どうしの関係を考えたりしながら、文章を読むなど、意欲的に取り組んでいることが分かる。

◆本校の課題と思われるところ

〇算数の学習は大切だと思っており、意欲も高いが、「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか」の質問項目に「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童が全国平均より高い傾向にある。身につけた学習内容を日常的には活用している。しかし、それが興味・関心を高めることには、つながっていない。

生活について

◆本校のよかったところ

〇読書を好きだと考えている児童が多い。また、1 日あたり30分以上読書をする児童の割合も全国平均と比べて顕著に高い。

〇物事を最後までやり遂げてうれしかったという児童が多い。

◆本校の課題と思われるところ

〇地域行事への参加は全国平均と比べると低い。

〇「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した児童が全国平均より低い傾向にある。

今後の具体的な取組について

〇算数の学習において、身近な生活場面を提示したり、実生活で目にする具体的なものを教材として扱ったりするなど、自分の生活と密接に関係する学習だと実感できるように指導や支援に努めていく。

〇読書に親しんでいることが分かるので、学校図書館運営をより工夫することで、幅広い種類の本に触れて、さらに児童の知識を深め、豊かな感性を育んでいく。

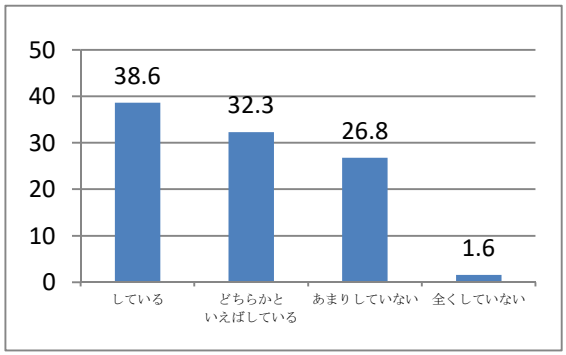
〇児童が前向きに目標に向かっていくことができるよう、日々の成功体験を積み重ねるとともに、将来に向けてのキャリア教育の充実を図る。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 子どもの自発的な学びを見守り、励ましましょう。

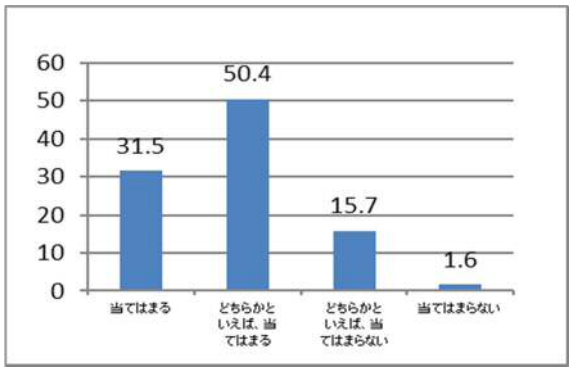
自主的・主体的な活動は子どもの心の充実や自信へつながり「考える力」を育みます。



家で自分で計画をたてて勉強をしていますか。

2 子どものチャレンジする心を大切に育みましょう。

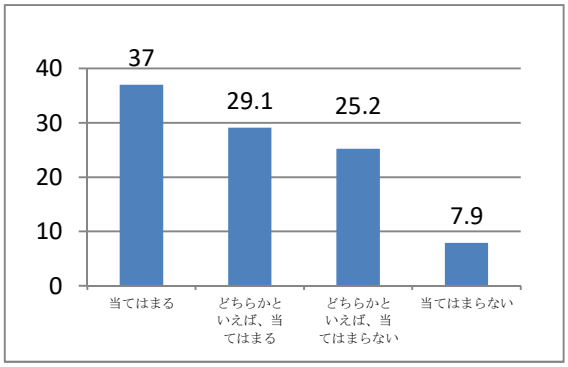
褒められることで自己肯定感は高まり挑戦意欲が培われます。



難しいことでも失敗を恐れないで挑戦していますか。

3 国際感覚を養い、子どもの興味・関心を広げましょう。

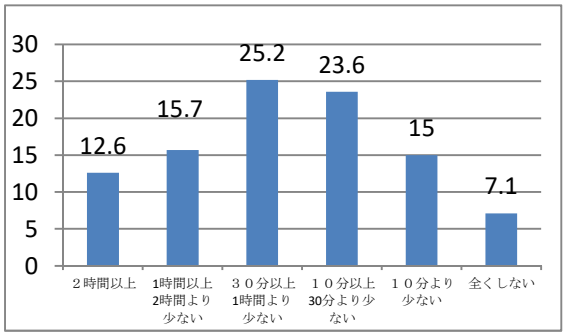
国際感覚を養うことは、これからの国際社会に生きる子どもたちの視野を広げることに繋がります。



外国の人と友達になったり、外国のことをもっと知ったりしてみたいと思いますか。

4 読書の時間をつくり、本を読む習慣を身につけましょう。

本は心の栄養です。
読書は知識や語彙を増やし、心を豊かにします。



学校の授業時間以外に、１日当たりどれくらいの時間読書をしますか。

資料　学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
（教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より）

【教科への関心・意欲・態度】
・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】
・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】
・朝食を毎日食べる
・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】
・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
・新聞を読んでいる
・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】
・学校の授業時間以外での学習時間が長い
・自分で計画を立てて学習をする
・学校の宿題、授業の予習・復習をする
・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】
・家の人と学校での出来事について話をする
・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】
・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
・学校のきまり、規則を守っている
・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】
・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。

海老名市　全国学力　検索

【市の結果についての問い合わせ先】
電話　046－235－4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係

海

平成 31 年度（令和元年度）
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果

あいさつの日時計

令和元年 12 月

海老名市立柏ケ谷小学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

（1）義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
（2）学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
（3）そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年　原則として全児童生徒

調査内容

（1）教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

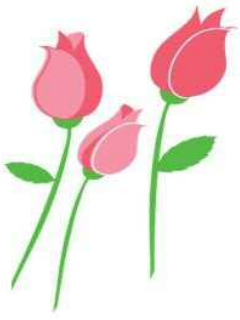
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況　など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日（木）



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・図表やグラフなどを用いた目的を捉える
・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方や工夫を捉える
・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む
・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
・目的に応じて、質問を工夫する
・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる
・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇インタビューの場面で、相手の意図を捉えながら聞き、自分の理解を確認する質問をすることの設問では、相当数の児童が正答することができている。

◆課題のある点

〇漢字(同音異義語)を文の中で正しく使うことの設問では、正答が全国平均を大きく下回っている。

〇文と文とのつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことに課題がある。

〇目的や意図に応じて、自分の考えや理由を明確にし、まとめて書くことに課題がある。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇漢字学習では、新出漢字を繰り返し練習することにとどまらず、漢字辞典を使って意味を調べたり、同音異義語を使い分けた短文作りをしたりする学習を取り入れるなど、漢字や熟語を文章の中で正しく使うことができるように指導していきます。

〇接続語の役割を正しくとらえさせ、分かりやすく伝わるように文を分けて書くことができるように指導していきます。

〇教材文等を用いた学習の中で、事実と感想、意見などとの違いを確かめるようにし、事実を客観的に書く、文末表現に注意して書くなど、事実と自分の考えとを区別して書くよう指導していきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・台形について理解している
・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる
・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
・示された除法の式の意味を理解している
・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、その結果から判断できる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇台形については相当数の児童が理解できている。〔図形〕
〇棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取ることができている。〔数量関係〕

◆課題のある点

〇図形の性質や構成要素に着目し、図形をずらしたり、回したり、裏返したりすることで、ほかの図形を構成することに課題がある。〔図形〕
〇減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方について成り立つ性質を記述することに課題がある。〔数と計算〕

今後の具体的な指導改善のポイント

〇図形の学習では、具体物を操作しながら図形を構成したり分解したりして、図形についての見方や感覚を豊かにする指導を工夫します。〔図形〕

〇計算をする際には、その計算が確実にできるようにするとともに、計算に関して成り立つ性質を見いだしたり、それらを活用して計算を効率的にすることに気付かせたりするよう指導します。〔数と計算〕

〇日常生活の問題の解決のために、多くの情報の中から必要な数量を見いだし、数学的に表現できるように指導をしていきます。〔数量関係〕

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

〇相当数の児童が国語、算数の授業は大切であると感じている。また将来、社会に出たときに役に立つと答えている。（国語：98．7%　算数：98．6%）

〇様々な学習の場面でICTを活用したいと思っている児童が相当数いる。（97．3%）

〇最後までやり遂げて、うれしかったことがあると相当数の児童が答えている。（97．3%）

◆本校の課題と思われるところ

〇家で、自分で計画を立てて勉強をしている児童の割合は約6割であまり多いとはいえない。

〇自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示すなど、話や文章の工夫をすることが苦手だと感じている児童が多い。

生活について

◆本校のよかったところ

〇相当数の児童が朝食を毎日食べている。（97．3%）また、毎日同じくらいの時刻に起きていると答えている。（91．9%）

〇相当数の児童が自分のよいところを先生が認めてくれていると感じており（90．5%）、また、自分にはよいところがあると思う（90．6%）と答えていることから自己有用感をもって生活しているようだ。

〇いじめはどんな理由があってもいけないことだと相当数の児童が認識している。（98．7%）

◆本校の課題と思われるところ

〇地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたり、今住んでいる地域の行事に参加したりしている児童の割合が約半数で、地域・社会との関わりが少ない。

今後の具体的な取組について

〇基本的な生活習慣の更なる定着に向け、「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に学校と家庭が連携しながら指導していきます。

〇地域社会とのつながりや様々な地域の行事に関心をもつことができるよう、家庭・学校・地域が連携した学校体制づくりを進めていきます。

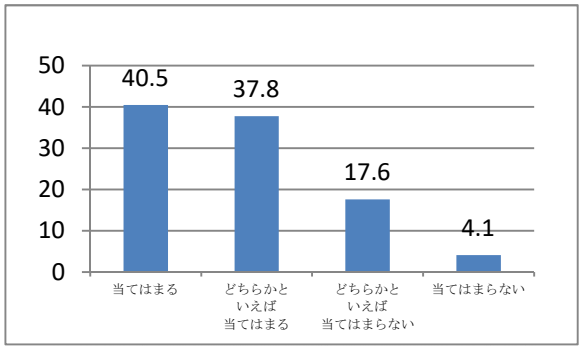
〇更なる達成感につなげるため、主体的な学びになるよう、見通しをもって粘り強く取り組ませたり、思いや考えを基に学習が進められたりできるよう授業のあり方について研究を進めていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 学校の出来事についての話を聞きましょう。

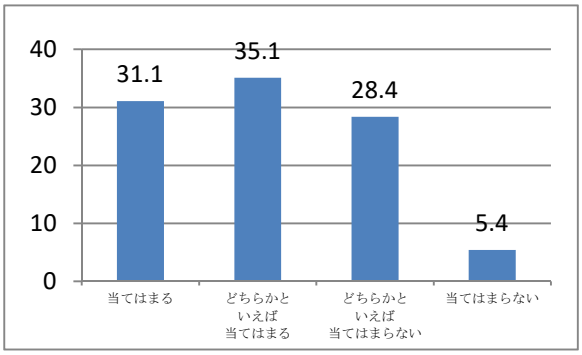
お子さんと日々話をすることで学校での出来事やお子さんの様子が伝わってきます。日常の会話を大切にしてください。



家の人（兄弟姉妹を除く）と学校の出来事について話をしますか。

2 自分で計画を立てて、家庭学習に取り組みましょう。

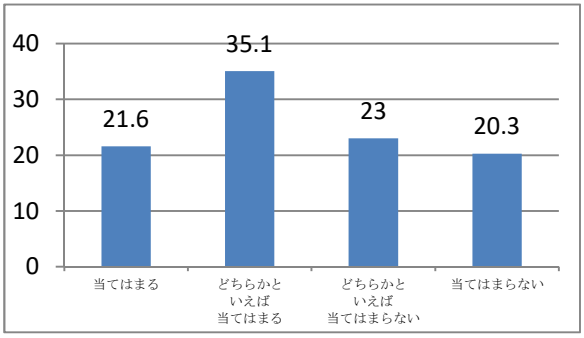
宿題を含め、予習、復習など、お子さん自身が考えて取り組めるよう励ましてください。



家で計画を立てて勉強していますか。

3 地域の行事に参加しましょう。

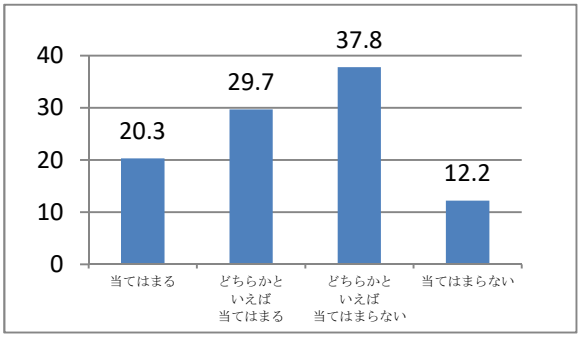
地域の行事に親子で参加するなど、地域の一員としての意識を育てていきましょう。



今住んでいる地域の行事に参加していますか。

4 地域や社会に目を向けてみましょう。

地域や社会について、家庭でも話題にすることで、社会に参画する意識と態度を育てていきましょう。



地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

資料　学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
（教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より）

【教科への関心・意欲・態度】
・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】
・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】
・朝食を毎日食べる
・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】
・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
・新聞を読んでいる
・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】
・学校の授業時間以外での学習時間が長い
・自分で計画を立てて学習をする
・学校の宿題、授業の予習・復習をする
・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】
・家の人と学校での出来事について話をする
・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】
・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
・学校のきまり、規則を守っている
・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】
・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。

海老名市　全国学力　検索

【市の結果についての問い合わせ先】
電話　046－235－4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係

KASHIWANKO KASHIPANDA

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査

学校の調査結果

令和元年 12 月

海老名市立有鹿小学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

（1）義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
（2）学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
（3）そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年　原則として全児童生徒

調査内容

（1）教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

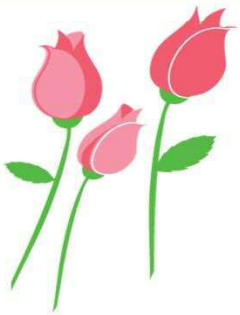
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況　など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日（木）



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・図表やグラフなどを用いた目的を捉える
・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方や工夫を捉える
・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む
・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
・目的に応じて、質問を工夫する
・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる
・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

本校の調査結果

◆比較的できている点

○畳職人へのインタビューの様子を表した問題では、次のような設問によく答えることができていました。

・自分の理解が正しいかどうかを確認するには、どのように質問したらよいか。
・相手が答えにくい様子の時に、質問者はどのように工夫したらよいか。

○漢字を文の中で正しく使うことや文と文との意味のつながりを考えて接続語を使うこと、ことわざの意味を理解して自分の表現に用いることがよくできていました。

・ことわざ「習うより慣れよ」

◆課題のある点

○公衆電話について調べたことを報告する文章を書く問題では、次のような条件に合わせた文章を書くことに課題が見られました。

・2つの調査結果から言葉や文を取り上げて書く。
・報告する文章にふさわしい表現で書く。
・書き出しの言葉に続けて、40字以上、70字以内にまとめて書く。

○次の漢字を書く問題では、正答率が全国に比べ高かった一方で、無解答率も高く、漢字の習熟度に個人差があることが分かりました。

・対象、限（らず）、関心

今後の具体的な指導改善のポイント

「条件に合わせた文章を書く力」を伸ばすために、次のように取り組みます。

低学年	中学年	高学年
文章を書くための基礎的な知識の学習に力を入れていきます。 ○主語・述語の関係を考えて書く。 ○「　」や句読点を正しく使って書く。	説明文を中心に、要点を押さえた文章を書く学習を取り入れていきます。 ○指定された言葉（キーワード）を使って書く。 ○文章を短くまとめる。	要旨をまとめ、簡潔に分かりやすく書く学習を取り入れていきます。 ○文を引用して書く。 ○指定された文字数の範囲で書く。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・台形について理解している
・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる
・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
・示された除法の式の意味を理解している
・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、その結果から判断できる

本校の調査結果

◆比較的できている点

○資料の特徴や傾向を関連づけて、その理由を記述することがよくできていました。

・水の使用量と人口の変化に関する2つのグラフから一人当たりの水の使用量について分かることを選び、選んだわけを書く。

○加法と乗法の混合した整数と小数の計算が正確にできていました。

・6＋0.5×2

◆課題のある点

○台形の、定義・性質の理解や、辺や角の大きさなどに着目して図形を組み合わせることに課題が見られました。

・4つの四角形の中から台形を選ぶ。
・2つの合同な台形を組み合わせてできる形を選ぶ。（右図は正答の1つ）

○示された除法の式が求めているものを選ぶ問題では、計算式への理解に課題が見られました。

・リボン1m分の代金を求める式180÷0.6 をもとに、1800÷6の式がリボン何m分の代金を求めているかを選ぶ。

今後の具体的な指導改善のポイント

「図形の定義や性質を理解し、正しく使う力」を伸ばすために、次のように取り組みます。

低学年	中学年	高学年
日常生活における様々な図形に対する感覚を養う学習に力を入れていきます。 ○具体物に触れながら、図形を理解させる。 ○具体物を並べたり、敷き詰めたりしながら性質を理解する。	図形についての基礎的な知識の学習に力を入れていきます。 ○定義や性質をしっかりと理解し、説明できるようにする。	図形の定義や性質の理解を深める学習を取り入れていきます。 ○定義や性質を使いながら、問題の解き方を説明する。
どの学年においても、タブレット型パソコンを効果的に使い、図形の操作をしたり説明をしたりすることで、具体物と抽象的な概念をつなげていきます。		

児童質問紙

学習・生活について

◆本校のよかったところ

○「読書は好きですか」

【結果】8 割以上の児童が肯定的に回答しました。また、他の質問からは、普段（月曜日から金曜日）から学校の授業時間以外に読書をしていたり、学校図書館や地域の図書館を利用したりしている児童が多いことも分かりました。

【分かること】読書習慣が身に付いてきています。

○「５年生までに受けた授業で、コンピュータなどの ICT をどの程度使用しましたか」

【結果】毎日や週１回以上使用していると回答した児童が多く、全国平均と比べかなり高い結果となりました。

【分かること】タブレット型パソコンなどの ICT 機器に触れる機会が多く、児童の学習に定着してきています。

○「国語の授業の内容はよく分かる」

【結果】約 9 割の児童が当てはまるやどちらかといえば当てはまると回答しました。国語の調査結果でも、全国の平均を上回っている項目が多いことが分かりました。

【分かること】児童の「分かる」という認識と、学力状況が一致しています。

◆本校の課題と思われるところ

○「学級の友達との話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」
「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」

【結果】肯定的に回答した児童の割合が全国平均に比べ低い結果となりました。自発的に学習や生活の目標を立てて活動することや、話し合いを基に自分の考えを深めたり、実行したりすることに苦手意識を感じている児童が多いことが分かりました。

【分かること】課題に対し自分から取り組むことや、話し合い活動によって解決することに自信がもてるようにしていく必要があります。

○「人が困っているときは、進んで助けていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」

【結果】肯定的に回答した児童の割合が全国平均に比べて低い結果となりました。その他の規範意識に関する設問への回答からも、規範に対する意識がやや低いことが分かりました。

【分かること】ルールやモラルに対する認識を改善する必要があります。

今後の具体的な取組について

「話し合いの中で自らの考えをもち、深められる力」を伸ばすために、次のような取り組みをしていきます。

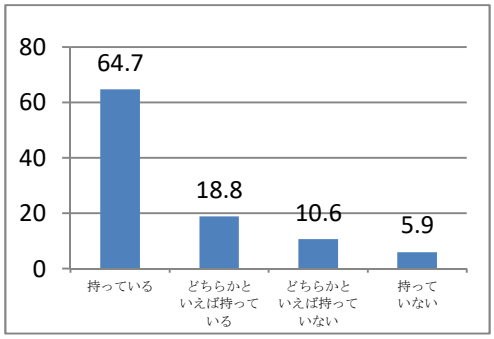
低学年	中学年	高学年
教科の授業の中で話し合う学習に力を入れていきます。 ○少人数（2～3人）の話し合い活動を多く取り、自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりする機会を増やす。	教科の授業の話し合う学習の中で、様々な役割を経験させる学習を取り入れていきます。 ○班の中で司会者や発表者を立てて話し合いをする機会を増やす。	教科の授業の中で、話し合いの内容を深める学習に力を入れていきます。 ○自分の意見を明確にもち、相手の意見と比べながら話し合いをする機会を増やす。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 お子さんの夢や目標を応援しましょう。

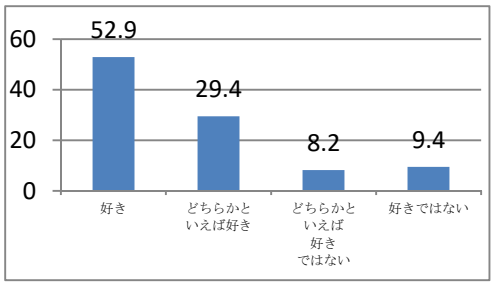
夢や目標をについて語り合い、それに向かう気持ちをもつことで生活が充実し、継続的に努力する力につながります。



将来の夢や目標を持っていますか。

2 多くの本に触れ、読書を楽しみましょう。

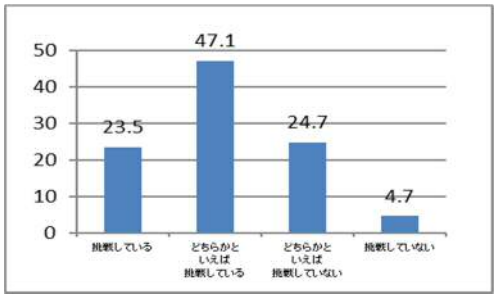
有鹿小学校の子どもたちは読書が大好きです。読書をすることは、国語だけでなくすべての学力につながり、創造力や集中力が高まります。



読書は好きですか。

3 自分で考え、取り組む機会を増やしましょう。

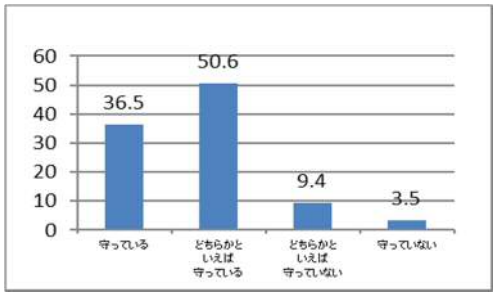
自分で考えて決め、工夫して取り組む機会を増やすことで、粘り強さや挑戦する気持ちが養われます。



難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。

4 きまりを守る大切さを話し合いましょう。

家庭や学校、社会のきまりをしっかり守ることができるよう、意義や現状についてぜひ話し合ってみてください。



学校のきまりを守っていますか。

資料　学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
（教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より）

【教科への関心・意欲・態度】
・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】
・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】
・朝食を毎日食べる
・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】
・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
・新聞を読んでいる
・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】
・学校の授業時間以外での学習時間が長い
・自分で計画を立てて学習をする
・学校の宿題、授業の予習・復習をする
・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】
・家の人と学校での出来事について話をする
・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】
・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
・学校のきまり、規則を守っている
・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】
・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。

海老名市　全国学力　検索

【市の結果についての問い合わせ先】
電話　046－235－4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係

えびな

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査

学校の調査結果

令和元年 12 月

海老名市立有馬小学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

（1）義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
（2）学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
（3）そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年　原則として全児童生徒

調査内容

（1）教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

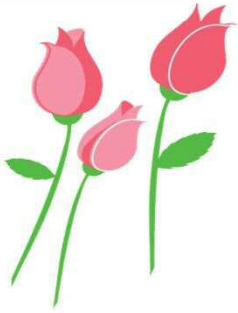
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況　など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日（木）



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・図表やグラフなどを用いた目的を捉える
・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方や工夫を捉える
・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む
・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
・目的に応じて、質問を工夫する
・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる
・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

本校の調査結果

◆比較的できている点
〇選択肢のある問題では、正しい答えを見つけることができる。

◆課題のある点
〇問題を最後までやり終えること（読んだり、解いたりするのに時間がかかる。）
〇画数が多い漢字（同音異義語）
〇記述式の問題で、自分の考えをまとめて書くこと
〇ことわざなどの語彙の蓄えの少なさ

今後の具体的な指導改善のポイント

〇文章の内容を的確にとらえるようにしていく。そのために、今後も本校での研究 “言葉への関心を高め、基礎・基本の定着をめざした指導～「読むこと」の学習を通して～” と関連づけながら、授業の工夫をしていく。
〇自分の考えを文や文章に表す活動を継続的に行う。
〇朝の読書タイムを今後も充実させるとともに、辞書を用いて意味調べをしたり、語彙力カルタを使ったりして、語彙を増やしていく。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・台形について理解している
・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる
・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
・示された除法の式の意味を理解している
・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、その結果から判断できる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができている。
〇示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できている。
〇答えが選択式になっている問題では、無解答率が比較的少ない。

◆課題のある点

〇台形についての理解や、加法と乗法の混合した整数と小数の計算
〇記述式の問題

今後の具体的な指導改善のポイント

〇文章問題の文意を理解したり、問われていることに対して適切に答えたりする力をつけていく。そのために、今後も本校での研究 “言葉への関心を高め、基礎・基本の定着をめざした指導～「読むこと」の学習を通して～” と関連づけながら、授業の工夫をしていく。
〇学年や単元によって、TT（ティームティーチング）や、少人数指導を行い、個々の学力や学び方の特性に合わせて理解が進むようにしていく。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ
〇ICT を取り上げた授業を実践している。
〇課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。
〇問題に対して、粘り強く取り組むことができる。
〇算数の授業で、公式やきまりを学習するとき、そのわけを理解しようとしている。
〇国語・算数の勉強を大切だと思っている。

◆本校の課題と思われるところ
〇問われていることを理解する力
〇読書をする習慣
〇授業で学んだことを、普段の生活で生かすこと

生活について

◆本校のよかったところ
〇自己肯定感が高い。
〇学校が楽しいと思っている。
〇朝食を毎日食べている。
〇物事を最後までやり遂げることのよさを感じている。

◆本校の課題と思われるところ
〇学校のきまりを守って生活すること
〇就寝時刻が遅いこと
〇家庭学習の時間が少ないこと
〇地域の行事への参加率が低いこと

今後の具体的な取組について

〇指導法を工夫・改善して基礎的内容の定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学びに繋がる授業作りに励む。

〇授業で学んだことを生活に生かしていけるような環境づくりに努める。

〇普段の生活指導や家庭との連携などを通して、基本的な生活習慣の改善に繋げていく。

〇道徳の授業や普段の学校生活の中で、きまりを守ることの大切さに気付かせていく。

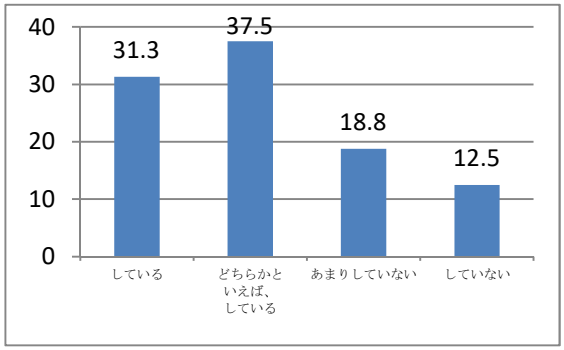
〇家庭や地域との連携・協力を大切に考え、ともに子どもたちを育てていく学校づくりに努める。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 早寝・早起き・朝ごはんを続けていきましょう。

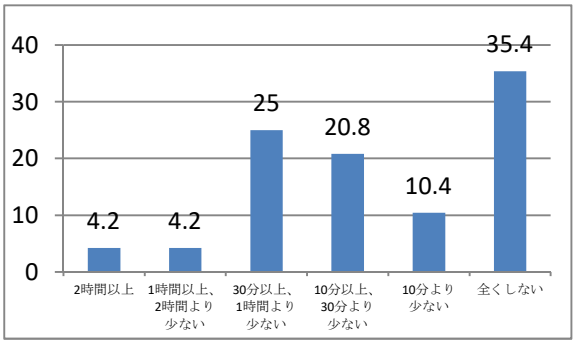
基本的な生活習慣を身につけることは、学習面に良い影響を与えます。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

2 本を読みましょう。

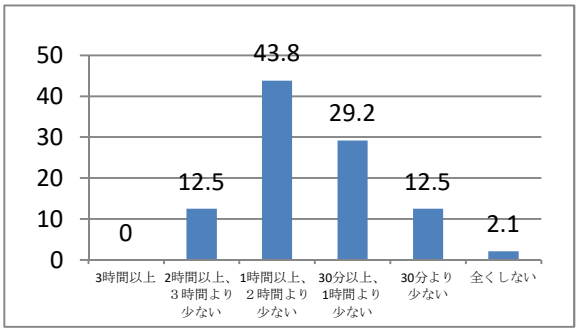
読書は、語彙を増やし、豊かな想像力・表現力を育みます。読書をする時間を増やしましょう。



普段、１日当たりどのくらいの時間、読書をしますか。

3 家庭学習に継続して取り組み、よりよい学習習慣を身につけましょう。

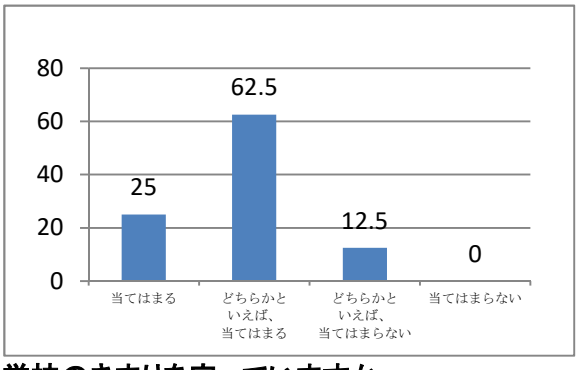
学習内容の定着を図るためには、家庭における学習も必要です。見守りや励ましを続けましょう。



普段、1日当たりどのくらいの時間、学校以外で勉強をしますか。

4 みんなでよりよい生活をするためのきまりを守りましょう。

いじめは絶対にしてはならないことも含め、学校や世の中のきまりを知り、なぜ守らなくてはならないのかを考える場を持ちましょう。



学校のきまりを守っていますか。

資料　学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
（教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より）

【教科への関心・意欲・態度】
・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】
・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】
・朝食を毎日食べる
・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】
・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
・新聞を読んでいる
・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】
・学校の授業時間以外での学習時間が長い
・自分で計画を立てて学習をする
・学校の宿題、授業の予習・復習をする
・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】
・家の人と学校での出来事について話をする
・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】
・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
・学校のきまり、規則を守っている
・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】
・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。

海老名市　全国学力　検索

【市の結果についての問い合わせ先】
電話　046－235－4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係

令和元年 12 月

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査

学校の調査結果

令和元年 12 月

海老名市立大谷小学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

（1）義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
（2）学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
（3）そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年　原則として全児童生徒

調査内容

（1）教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

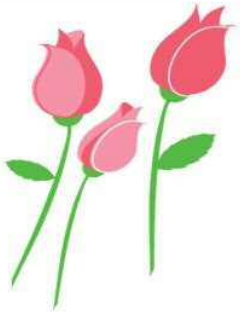
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況　など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日（木）



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・図表やグラフなどを用いた目的を捉える
・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方や工夫を捉える
・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む
・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
・目的に応じて、質問を工夫する
・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる
・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

本校の調査結果

◆比較的できている点

○ 書かれている文章の内容やそこで用いられている図表やグラフなどの意味を、的確に読み取るとともに、自分の考えを明確にすることができている。
○ 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の理解を確認するために質問をしたり考えをまとめたりすることができている。

◆課題のある点

○ 漢字の意味を正確に理解したり習った漢字を文章の中で正しく使ったりすることに課題がある。
○ 文章をまとめる際に、筋道を立てて書くことに課題がある。

今後の具体的な指導改善のポイント

○ 習った漢字を文章の中で正しく使えるようにするために、文などを書く際には、国語辞典を活用しながら、積極的に漢字を使うように指導します。
○ 筋道を立てた文章が書けるように、主語と述語の関係や前後の文のつながりを意識しながら文章を書いたり、書いた文章を読み直して推敲したりする学習を積み重ねていきます。
○ 相手が話している内容や書かれている文章の意味を正確に理解するとともに、自分の考えを的確に表現できるように、対話をもとに考えが深められる学習を積み重ねていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・台形について理解している
・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる
・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
・示された除法の式の意味を理解している
・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、その結果から判断できる

本校の調査結果

◆比較的できている点

○　二つのグラフに示された意味を正確に理解するとともに、それらを関連付けて読み取れることを言葉や数を用いて、説明することができている。
○　遊園地での待ち時間を考える設問では、示された場面の状況から必要な情報を取り上げ、所要時間の求め方と答えを言葉や式を用いて説明することができている。

◆課題のある点

○　わり算の式の意味を理解し、わられる数とわる数に同じ数をかけたりわったりしても商は変わらないという性質を活用して商を求めることに課題がある。

今後の具体的な指導改善のポイント

○　式の意味やきまりを理解できるように、立式した理由や問題を解く過程等について、児童自らが説明する場面を授業の中で取り入れていきます。
○　課題を自立的かつ協働的に解決できるように、一人一人が考える場面と他者とともに考えを深める場面を授業の中で取り入れていきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

○　88%の児童が「授業で学んだことをほかの学習に生かしている」と答えている。
○　86%の児童が「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」と思っている。
○　「解答時間が足りなかった」と答えている児童が 48%いるが、82%の児童は最後まで解答しようと努力していた。

◆本校の課題と思われるところ

○　「算数の授業が将来役に立つ」と思う児童が 97%いるのに対して、「算数の勉強が好き」という児童が 69%にとどまっている。

生活について

◆本校のよかったところ

○　100%の児童が「学校のきまりを守っている」「いじめはどんな理由があってもいけないこと」「人の役に立つ人間になりたい」と答え、規範意識の高さがうかがえる。
○　95%の児童が「朝食を毎日食べている」「毎日同じくらいの時刻に起きている」と答え、基本的生活習慣が身についている。
○　96%の児童が「学校に行くのは楽しい」と思っている。

◆本校の課題と思われるところ

○　「地域の行事に参加している」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」児童が少ない傾向にある。

今後の具体的な取組について

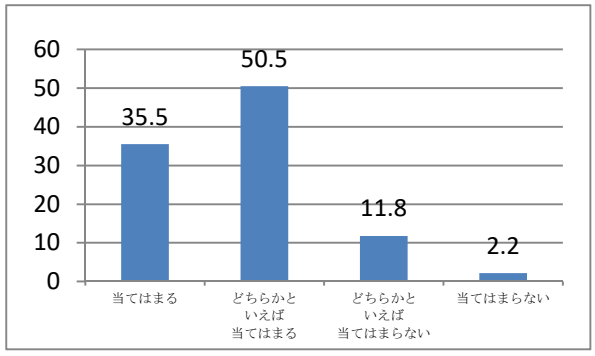
○　学習や生活において、多くの望ましい態度や行動が見られることは本校児童の大きな特長です。各ご家庭の養育が、大きく影響しているものと考えられます。学校においても、児童一人一人を理解し、支援しながら、よりよい体験を積み上げていけるように指導・支援に努めていきます。
○　本校では、「対話をもとに一人一人が考えを深める」ことを重視した道徳の研究に取り組んでいます。今後も深く考え、学び合う活動を通して、自ら学ぶ意欲を持ち、自分の考えを表現する児童の育成に努めます。
○　地域と学校の関わりについては、総合的な学習の時間や生活科等で、多くの方々のご支援をいただきながら学習を進めています。地域の方々に支えられて生活していることを知り、感謝の気持ちが持てる児童を育成していきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 ほめることを大切にしましょう

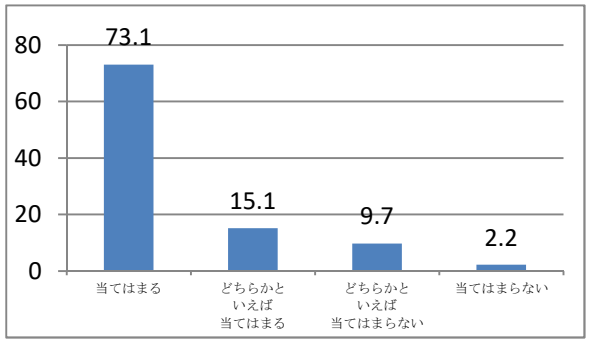
よいところや頑張ったところを積極的に認め、ほめることが、子どもたちの自己肯定感を高めることにつながります。



自分には、よいところがあると思いますか

2 将来の夢や目標を応援しましょう

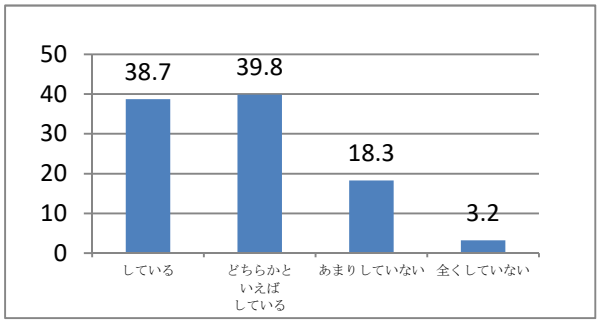
将来の夢や目標を認め、励ましの声をかけることが、意欲をもって学習に取り組むことにつながります。



将来の夢や目標は持っていますか

3 自分で計画を立てて、学習に取り組みましょう。

「１０分×学年」の時間をめやすに、計画を立て、見通しをもって家庭学習に取り組むことが、進んで学ぶ姿勢を身に付けることにつながります。

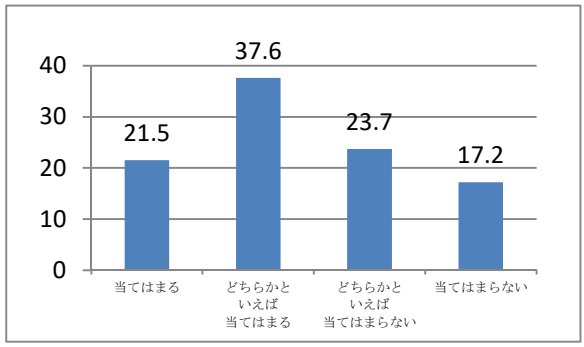


家で自分で計画を立てて勉強していますか

4 地域の行事に積極的に参加しましょう。

地域の行事に参加し、地域の方と交流の輪を広げましょう。

国の調査では、地域の行事に積極的に参加している児童の方が、教科の平均正答率が高いという結果が出ています。



今住んでいる地域の行事に参加していますか

資料　学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
（教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より）

【教科への関心・意欲・態度】
・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】
・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】
・朝食を毎日食べる
・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】
・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
・新聞を読んでいる
・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】
・学校の授業時間以外での学習時間が長い
・自分で計画を立てて学習をする
・学校の宿題、授業の予習・復習をする
・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】
・家の人と学校での出来事について話をする
・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】
・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
・学校のきまり、規則を守っている
・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】
・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。

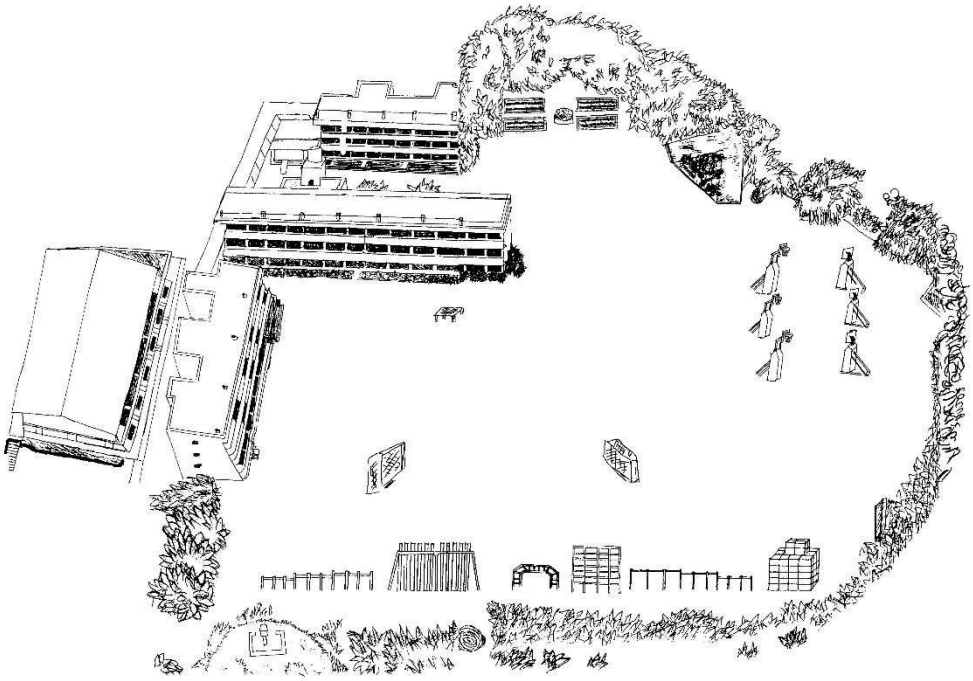
海老名市　全国学力　検索

【市の結果についての問い合わせ先】
電話　046－235－4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査

学校の調査結果



令和元年 12 月

海老名市立上星小学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

（1）義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
（2）学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
（3）そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年　原則として全児童生徒

調査内容

（1）教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

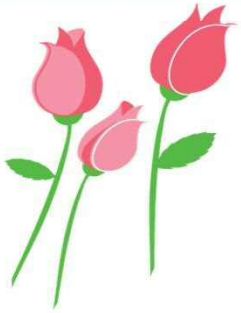
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況　など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日（木）



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・図表やグラフなどを用いた目的を捉える
・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方や工夫を捉える
・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む
・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
・目的に応じて、質問を工夫する
・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる
・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇図や表などの資料が、どのような目的で使用されているのかを捉えること。

〇インタビューの内容を聞き取り、自分の理解を確かなものにするための質問を考えること。

◆課題のある点

〇同じ読みで、異なる漢字を使用する場合に、意味を理解して正しい漢字を書くこと。

〇ことわざの意味を理解して、使用すること。

〇情報を相手に分かりやすく伝えるためには、どのような書き方をするのか、どのような工夫が必要なのかを考えること。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇漢字そのものだけでなく、漢字を使った短文を作るなどの工夫を漢字練習に取り入れていく指導をしていきます。

〇普段の生活の中で、ことわざにふれる機会を増やしていきます。宿題に取り入れたり、かるた遊びなどを通して興味・関心を持たせたりします。

〇自分の考えをわかりやすく書いた文や文章を紹介したり、教室内に掲示したりして、手本となるような文を目にする機会を増やしていきます。

〇国語以外の教科等でも新聞づくりなどで、学習したことを相手に伝える活動をしていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・台形について理解している
・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる
・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
・示された除法の式の意味を理解している
・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、その結果から判断できる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇棒グラフから、2つの数値を読み取り、数量関係（何倍か？）を計算で求めること。

〇2つの棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取ること。さらに、それらを関連付けて、状況を判断し、その理由を記述すること。

◆課題のある点

〇合同な図形を、ずらしたり回したりなどして組み合わせ、ほかの図形を作ること。

〇加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすること。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇図形の学習では、ICT教材と実物を効果的に活用して、一人一人が操作できるように教材の開発や授業展開の工夫をしていきます。

〇授業だけでなく、実際に手にすることができる図形（パズルのような）に触れる機会を増やしていきます。

〇既習事項をもとに自力解決をし、話し合いを通じて協働的に問題解決ができるように学習を進めていきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

〇「自分で計画を立てて勉強をしている」と回答している児童は 77.2%で、全国に比べ 5.7 ポイント上回っています。

〇「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えている」と回答している児童は 84%で、前向きに授業に取り組む姿勢が感じられます。

〇「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたい」と回答している児童は 76%で、外国の人と関わりを持ちたいと考えている児童が多いということがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

〇国語の授業で「自分の考えを話したり書いたりしている」「うまく伝わるように工夫している」「文章や段落同士の関係を考えながら読んでいる」と回答している児童は全国に比べ、すべて 7 ポイント以上下回っています。

生活について

◆本校のよかったところ

〇「毎日、同じくらいの時刻に起きている」「毎日、朝食を食べている」と回答している児童は両方とも 90%以上で、朝の生活リズムを意識している児童が多いことがわかります。

〇「学校に行くのが楽しい」「学校の決まりを守っている」「困っている人がいたら助ける」と回答している児童はすべて 90%以上で、規律を守り、楽しみながら友だちと協力して生活していることがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

〇「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と回答している児童は 84%で、朝の生活リズムへの意識に対し、夜の生活リズムへの意識が低いということがわかります。

〇「新聞を読んでいない」と回答している児童は 81%で、昨年度に比べ 4 ポイントの向上が見られますが、依然と高く、課題が残ります。

今後の具体的な取組について

〇低学年は学習習慣が身に付くように宿題を毎日出していきます。中学年は、学習内容に沿った課題を宿題に出していきます。高学年は自主的に学習に取り組むことができるように声をかけていきます。

〇外国語・外国語活動の学習を通して、言語の習得だけでなく、その国の人や文化への興味・関心が、更に高まるように授業の工夫をしていきます。

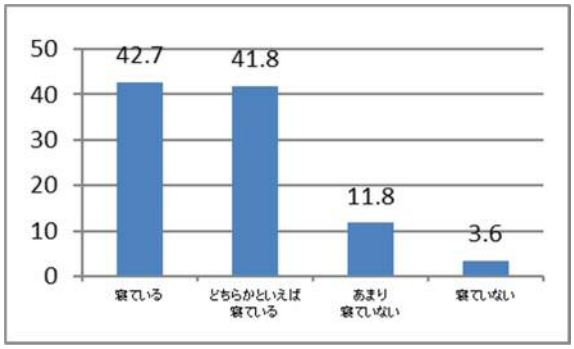
〇国語の授業では、話をするときに、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話の組み立てを工夫することができるような指導を行います。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 早く寝て、しっかり休みましょう。

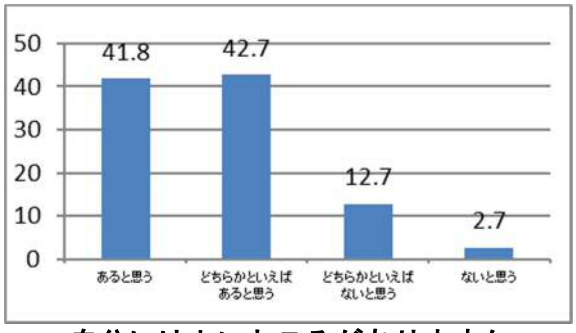
しっかり寝て、その日の疲れをとって、次の日の活動や学習のために、体の準備をしましょう。（「同じ時刻に起きていますか」という質問より 7.3 ポイント下回っています。）



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

2 こどものよさを認め、たくさん褒めましょう。

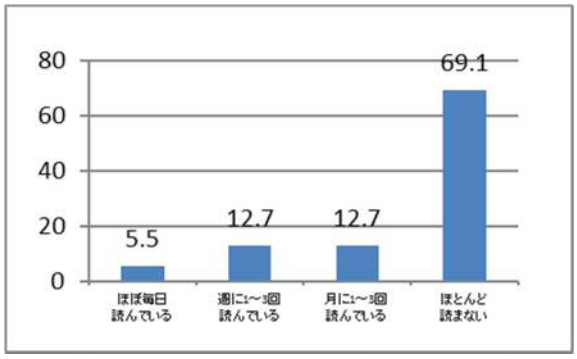
うまくいかなかくても、がんばったことを認め、次への挑戦を後押ししましょう。



自分にはよいところがありますか。

3 新聞を読んで、社会の出来事に関心を持ちましょう。

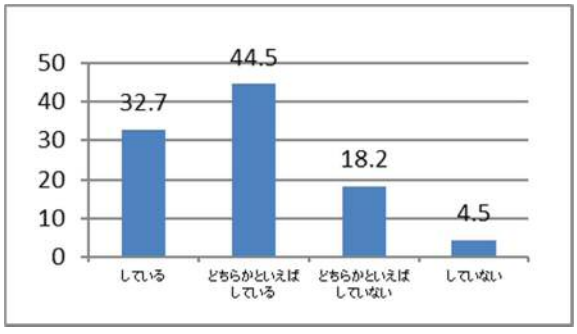
新聞やニュースなどから興味を持った出来事を家族で話し合ってみましょう。



新聞を読んでいますか。

4 学習の計画を立てて、勉強しましょう。

10 分×学年（6 年生は 60 分）を目安として計画し、毎日継続して家庭学習に取り組みましょう。



家で自分で計画を立てて勉強していますか。

資料　学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
（教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より）

【教科への関心・意欲・態度】
・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】
・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】
・朝食を毎日食べる
・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】
・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
・新聞を読んでいる
・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】
・学校の授業時間以外での学習時間が長い
・自分で計画を立てて学習をする
・学校の宿題、授業の予習・復習をする
・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】
・家の人と学校での出来事について話をする
・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】
・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
・学校のきまり、規則を守っている
・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】
・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。

海老名市　全国学力　検索

【市の結果についての問い合わせ先】
電話　046－235－4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係

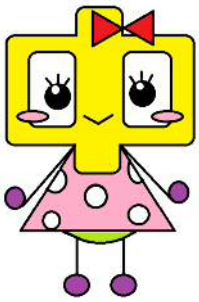
上星小学校イメージキャラクター

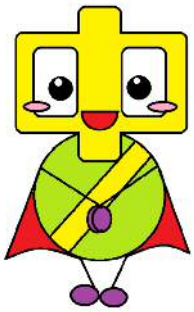
キラこん　　さくポン

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査

学校の調査結果





令和元年 12 月

海老名市立中新田小学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

（1）義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
（2）学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
（3）そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年　原則として全児童生徒

調査内容

（1）教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

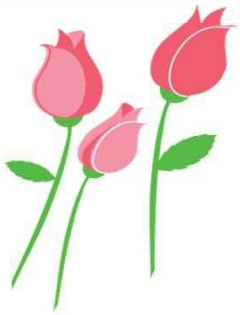
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況　など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日（木）



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・図表やグラフなどを用いた目的を捉える
・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方や工夫を捉える
・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む
・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
・目的に応じて、質問を工夫する
・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる
・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

本校の調査結果

◆比較的できている点

○「言語についての知識・理解・技能」において、全国平均より高い正答率になっています。文章の意味を考えて正しい漢字を書いたり、ことわざを正しく使ったりすることができます。5年生までの漢字の読み書きが、概ね身についています。

◆課題のある点

○「書くこと」では、目的や意図に応じて、自分の考えや理由を明確にし、整理して書くことに課題が見られます。

○「読むこと」では、本や文章全体を大まかに捉えて、求められている情報を取り出すことに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

○現状児童ができているポイントについては、今後も維持、向上できるように継続して指導に取り組みます。

○文章を書く際に、①目的や意図を正しく捉えること、②自分の考えやそれに繋がる理由を明確にすること、③構成を整理することなどを段階的に学ぶことができるよう、指導計画の見直しを図り、プログラムしていきます。

○「効果的に読む」ということを軸に据え、書かれていることの主旨や必要な情報を捉えることを意識付けながら資料を読む習慣をつけさせていきます。その際、教科横断的にアプローチし、他教科における資料活用能力なども並行して高めていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・台形について理解している
・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる
・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
・示された除法の式の意味を理解している
・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、その結果から判断できる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇「数量や図形についての知識・理解」において、全国平均より高い正答率になっています。

◆課題のある点

〇「量と測定」では、示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述することに課題が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇題意を読み取れず、問題で提示されている場面の把握ができなかったり、意味を理解していても記述できなかったりすることが課題と考えられます。問題を図式化したり、自分の考えを文章化して友達に説明したりする活動を授業に取り入れ、場面のイメージを持たせられるように取り組んでいきます。

〇問題を解決するために見通しを持ち、筋道を立てて考え、その考え方や解決方法を説明することに課題が見られます。問題解決型など、単元に応じたやり方で考える力が育つように取り組んでいきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

〇「算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートを書いていますか」という質問に対して 89%の児童が肯定的に回答しています。工夫して考えを深めようとしている児童が多いようです。

〇「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか」という質問に対して 86.5%の児童が肯定的に回答しています。「国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか」という質問に対して 72%の児童が肯定的に回答していることから、発表の機会では、自分の考えを相手に伝えようとする意欲がある児童が多いようです。

◆本校の課題と思われるところ

〇「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか」という質問に対しては、当てはまると回答した児童が全国平均を下回っており、算数で学習したことを普段の生活と関連付けて考えることに課題が見られました。

生活について

◆本校のよかったところ

〇読書は好きと回答した児童の割合が全国平均と比べて高く、読み聞かせやお話会などで本に関心をもたせる活動からも、本を好きに思っている児童が多いと思われます。

〇毎日、同じくらいの時刻に起きている児童が、全国平均と比べて20%程度高く、規則正しい生活を過ごしている児童が多いと思われます。

◆本校の課題と思われるところ

〇地域の行事に参加している、地域や社会をよくするために何をすべきか考えていると回答した児童の割合が20%、13%であり、地域に対して関わろうとする意識は、低いと思われます。

〇「将来の夢や目標をもっています」と回答した児童の割合が県・全国平均よりやや低くなっています。

今後の具体的な取組について

〇各学年にあった内容の「学習の手引き」を配付し、家庭学習の時間や内容の目安を設定していますが児童への一層の指導を行っていきます。算数では、学習内容の定着を図るとともに、算数を「自分で学んでいく力を養う」学習の一環であることの意識付けをしていきます。

〇授業の必要な場面においてタブレットなどの ICT 機器を活用していきます。児童の興味関心を引き出すだけでなく、児童が画面を操作しながら学習内容を理解したり、イメージを持ったりしながら学習していく経験を通して、主体的に学習に取り組む力を育んでいきます。

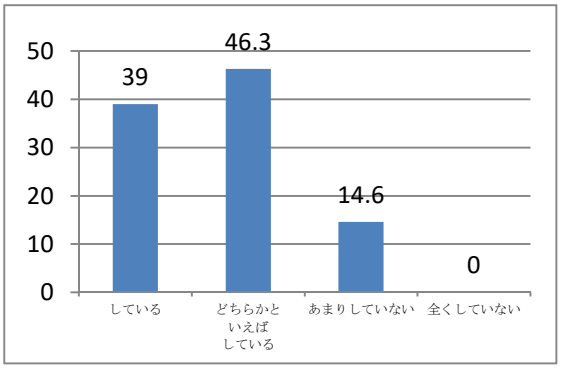
〇本校は「かかしまつり」や「もちっ子ひろ場」などの地域と密着した行事への参加が多くあります。また、校外学習などでも地域の方々に多くの協力をしていただいています。地域を基盤とした豊かな学習活動が日ごろから展開されていることを児童に再認識させるとともに、今後も地域を大切にする心を育んでいきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 規則正しい生活をしましょう。

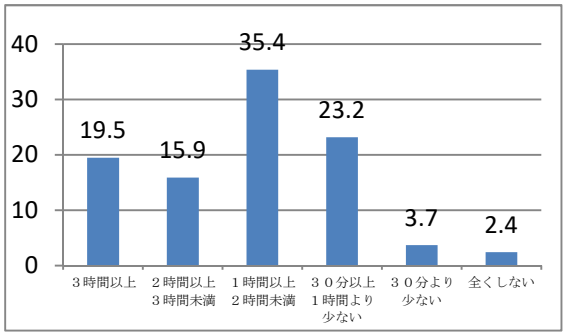
規則正しい生活を送ることで、活動や学習のための体の準備ができます。「早寝・早起き」ができるよう心がけましょう。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

2 家庭学習の習慣を身につけましょう。

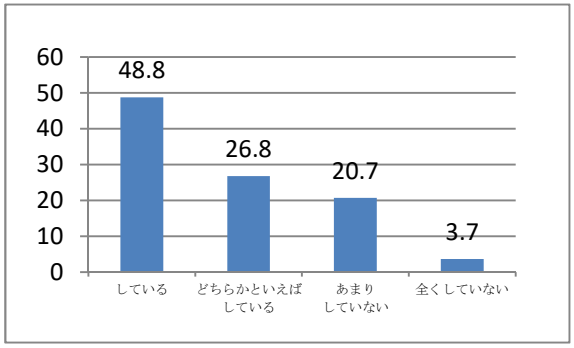
「学年×10分」を目安に、家庭での学習時間を決めましょう。家庭学習は毎日続けることで習慣化されます。



普段、１日当たりどのくらいの時間勉強しますか。

3 子どもとたくさん話しましょう。

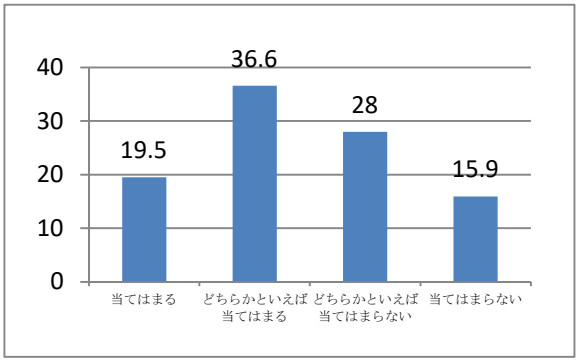
学校での出来事について、話をする時間をできるだけつくりましょう。話を聞いてもらうことが児童の安心感につながります。



家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。

4 地域の行事に進んで参加しましょう

地域の行事に参加することで様々な人と関わることができます。また、社会の一員としての意識の高まりへとつながります。



今住んでいる地域の行事に参加していますか。

資料　学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
（教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より）

【教科への関心・意欲・態度】
・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】
・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】
・朝食を毎日食べる
・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】
・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
・新聞を読んでいる
・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】
・学校の授業時間以外での学習時間が長い
・自分で計画を立てて学習をする
・学校の宿題、授業の予習・復習をする
・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】
・家の人と学校での出来事について話をする
・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】
・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
・学校のきまり、規則を守っている
・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】
・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

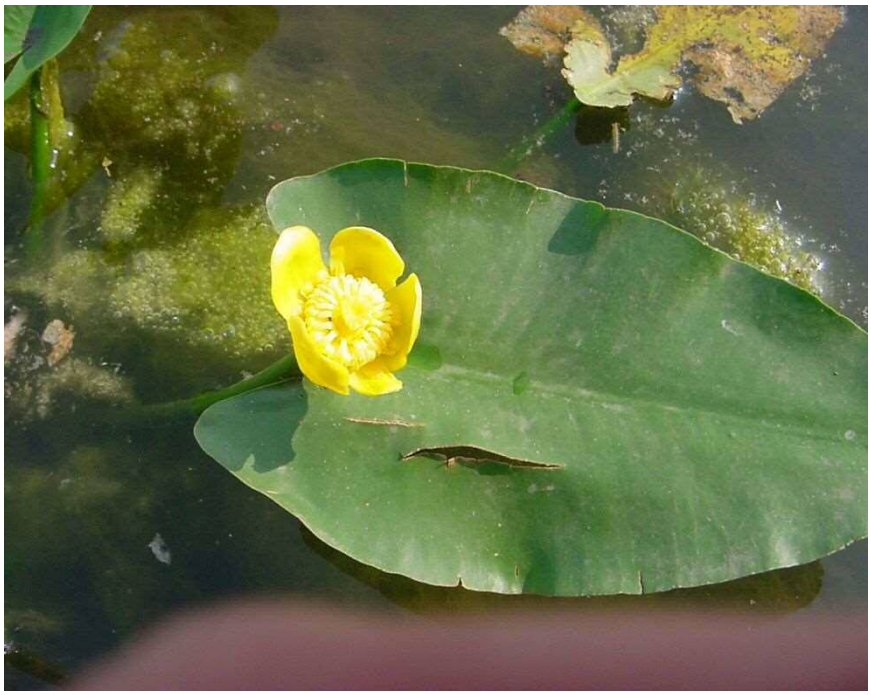
○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。

海老名市　全国学力　検索

【市の結果についての問い合わせ先】
電話　046－235－4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係



校庭の水槽に咲いた「河骨」の花

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査

学校の調査結果

令和元年 12 月

海老名市立門沢橋小学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

（1）義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
（2）学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
（3）そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年　原則として全児童生徒

調査内容

（1）教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況　など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日（木）

小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・図表やグラフなどを用いた目的を捉える
・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方や工夫を捉える
・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む
・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
・目的に応じて、質問を工夫する
・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる
・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができています。
〇報告文で示されている図表やグラフが、どのような目的で用いられているか、捉えることができています。

◆課題のある点

〇初めて取り組む報告文や説明文を読解することに時間がかかり、時間内に全ての問いに解答することに課題があります。
〇文字数の制限や文章から複数の事柄を抽出する等、条件に合わせ、自分の考えをまとめて書くことに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇国語の学習を中心に、引き続き習得した漢字を読んだり、書いたりする機会を増やしていきます。
〇報告文や説明文において、文章の要点を読み取る学習を充実させ、自分の考えを明確に書くことができるようにします。
〇各教科において、意図的に多様な文を読む機会を設け、読解力が向上するよう指導していきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・台形について理解している
・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる
・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
・示された除法の式の意味を理解している
・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、その結果から判断できる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇棒グラフから、資料の特徴や傾向、比較量が基準量の何倍かを読み取ることができています。
〇方眼紙に書かれている複数の図形から、台形を選び出すことができています。
〇示された減法に関して、「計算のきまり」を基にした計算の仕方を解釈し、与えられた式の計算に適用することができています。

◆課題のある点

〇示された場面において、複数の数量から必要なものを選び、立式することに課題があります。
〇示された小数を含む除法の式の意味を理解することに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇家庭学習の習慣化を一層図りながら、基礎的・基本的学習内容の習得を、これからも低学年から積み上げていきます。
〇問題におけるそれぞれの数量が何を意味するのか判断できるように、国語の学習と併せて日常の言葉を大切にした指導を積み重ねていきます。
〇グラフや表等、資料から読み取る課題に取り組む学習を充実させていきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

〇道徳の授業において、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる意識が高いといえます。

〇算数の授業で新しい問題に出合ったとき、解いてみたいという意識の高さがあります。

◆本校の課題と思われるところ

〇算数の授業内容はよく分かると回答した児童の割合は、全国平均より約10%下回っています。

〇平日において、学校の授業以外に１時間以上学習している児童の割合は、全国平均より約10%下回っています。

生活について

◆本校のよかったところ

〇「学校のきまりを守っているか」の質問に「当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均より20%程上回っていて、規範意識の高さがうかがえます。

〇ほぼ全ての児童は、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っています。

◆本校の課題と思われるところ

〇今住んでいる地域の行事に参加している児童の割合が全国平均より10%以上、下回っています。

今後の具体的な取組について

〇今後も道徳の授業を充実させ、よりよく生きていくための基盤となる道徳性を養うようにしていきます。

〇各教科において、「もっと知りたい」「考えてみたい」と思える授業づくりに努めていきます。

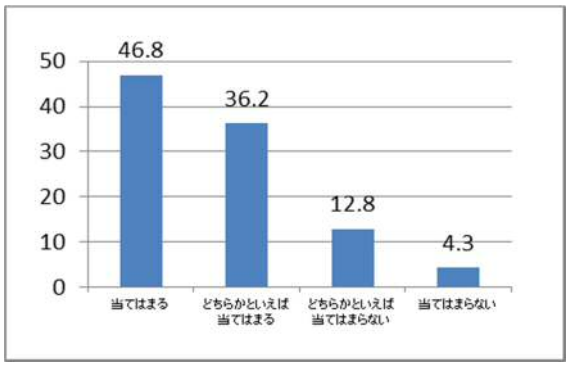
〇継続的に、音読や漢字、計算などの学習を家庭学習と連携させながら、基礎・基本の定着を図っていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 家庭でも読書の時間を設けましょう。

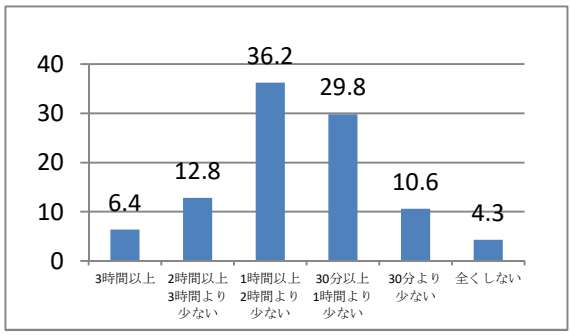
読書を継続的に行うことで、学力の基盤となる国語力を身に付けることができます。



読書は好きですか

2 家庭学習の習慣を身に付けましょう。

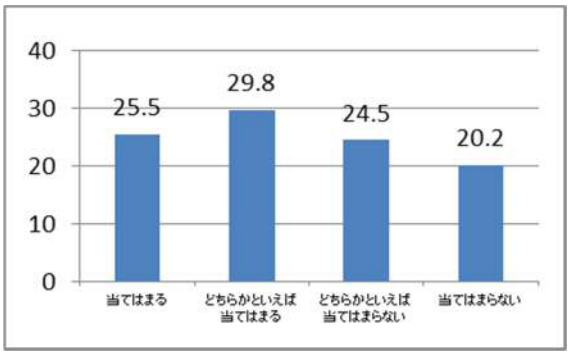
家庭学習は毎日続けることで習慣化されます。お子さんに合った学習時間を設定していきましょう。



学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

3 地域の行事に進んで参加しましょう。

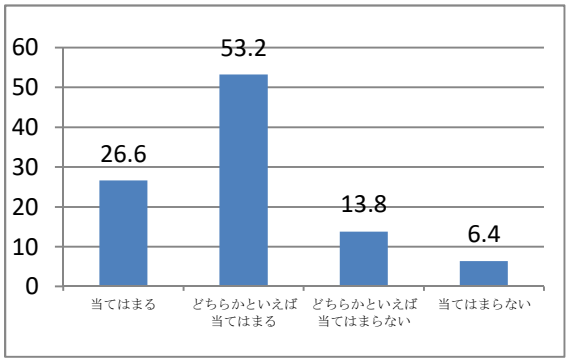
地域の様々な人々との世代を超えた交流を行うことで、学校だけでは経験できない豊かな人間形成を図っていくことができます。



今住んでいる地域の行事に参加していますか

4 子どものよさを認め、褒めましょう。

褒められることで自己肯定感が高まり、自分に自信をもつことができ、積極性が培われます。



自分には、よいところがあると思いますか

資料　学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
（教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より）

【教科への関心・意欲・態度】
・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】
・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】
・朝食を毎日食べる
・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】
・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
・新聞を読んでいる
・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】
・学校の授業時間以外での学習時間が長い
・自分で計画を立てて学習をする
・学校の宿題、授業の予習・復習をする
・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】
・家の人と学校での出来事について話をする
・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】
・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
・学校のきまり、規則を守っている
・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】
・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。

海老名市　全国学力　検索

【市の結果についての問い合わせ先】
電話　046－235－4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係

Kadosawabashi elementary school
門小っ子のすべり台　since 1975
renovated in 2019

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査

学校の調査結果

令和元年 12 月

海老名市立東柏ケ谷小学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

（1）義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
（2）学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
（3）そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年　原則として全児童生徒

調査内容

（1）教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況　など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日（木）

小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・図表やグラフなどを用いた目的を捉える
・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方や工夫を捉える
・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む
・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
・目的に応じて、質問を工夫する
・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる
・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇設問にある文章の文脈や質問の意図を読み取り、適切な答えを選択肢の中から選ぶことができます。

〇記録や報告の文章、図鑑や辞典などを読むときは、目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むことができます。

◆課題のある点

〇これまで学習した漢字を、同音異義語に気をつけて適切に使用することに課題があります。

〇自分の考えを文章で記述したり、接続詞を適切に用いて表現したりすることに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇読書活動のさらなる充実に加え、読んだ本の要旨を発表したり、文章を書いたりする活動を増やしていきます。

〇昨年度に引き続き、学習した漢字を活用する機会を増やしていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・台形について理解している
・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる
・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
・示された除法の式の意味を理解している
・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、その結果から判断できる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇図形の構成要素及びそれらの位置関係に着目し、長方形を直線で切ってできた図形の中から、台形を選ぶことができます。

〇減法の計算では、工夫して簡単に計算する方法を理解し、与えられた式の計算に適用することができます。

◆課題のある点

〇わる数とわられる数に同じ数をかけても、同じ数でわっても、商は変わらないという除法に関して成り立つ性質を、言葉を用いて記述することに課題があります。

〇1あたり量を求める問題場面で、除法の式の意味を読み取ることに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇振り返りの時間を大切にし、学習したことを自分でまとめていくことができるよう取り組んでいきます。

〇立てた式や数値の意味を説明したり、友だちの考えと比較したりする活動を通して、式の意味を読み取ったり、計算の工夫を考えたりすることができるよう取り組んでいきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

〇算数の学習では、問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないかを考えたり内容を理解しようとしたりする意識が、全国平均を上回っています。算数の学習に対して意欲的に取り組んでいることがわかります。

〇総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると答えている児童が全国平均を大幅に上回っています。

◆本校の課題と思われるところ

〇話し合い活動や発表する場面で、自分の考えや意見を伝えることが苦手と感じている児童が多くみられます。

〇「授業で学んだことを他の学習や普段の生活にいかしていますか」の質問では、全国平均を下回っており、学習と生活が結びついていないことが伺えます。

生活について

◆本校のよかったところ

〇「人の役に立つ人間になりたい」 の回答率が高く、多くの児童が社会に貢献したいと思っていることがわかります。

〇「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」と答えた児童が全国平均を上回っており、成功体験を感じている児童が多いことがわかります。

◆本校の課題と思われるところ

〇読書時間が全国平均を下回っています。朝読書の時間だけではなく本に触れる時間を作る必要性を感じます。

〇地域への行事参加率や外国のことについてもっと知ってみたいと思っている児童が、全国平均を大幅に下回っていることがわかります。

今後の具体的な取組について

〇主体的な学びを行っていくために、コンピュータやタブレットなどの ICT を活用した視覚に訴える授業の充実を図ります。

〇語彙力や表現力を身につけるためにも、今後も読書活動の充実を図っていきます。

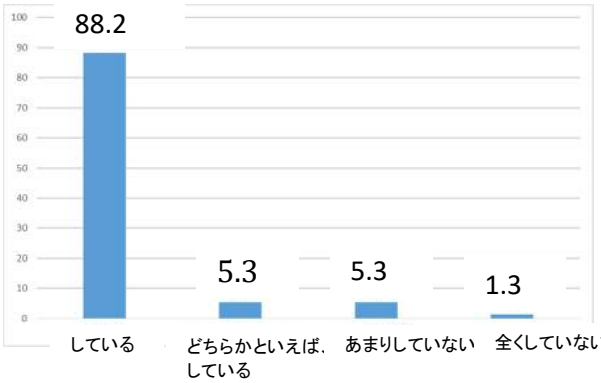
〇本校の特色である地域との連携を大切にし、学校・家庭・地域がひびきあい、ともに子どもの成長を支えていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 決まった時刻に寝ましょう。

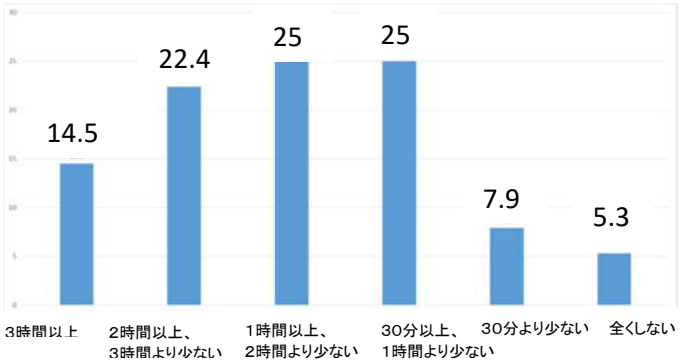
就寝時刻を決め、睡眠時間を十分にとりましょう。朝すっきりと目覚められるようにしてください。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

2 家庭での学習習慣をつけましょう。

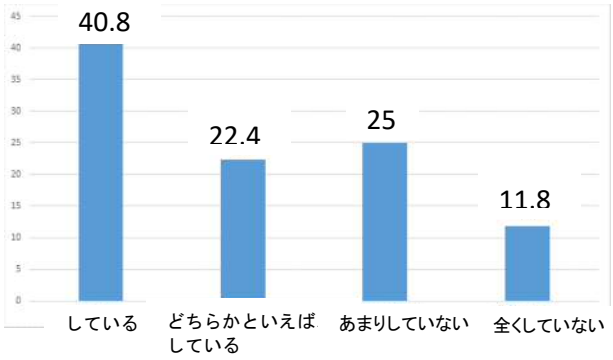
学習時間の目安は、１０分×学年です。子どもたちに学習の習慣が身につくように見守ってください。



学校の授業時間以外に、普段１日あたりどれくらいの時間勉強しますか。（学習塾等含む。）

3 家庭でのコミュニケーションづくりを大切にしましょう。

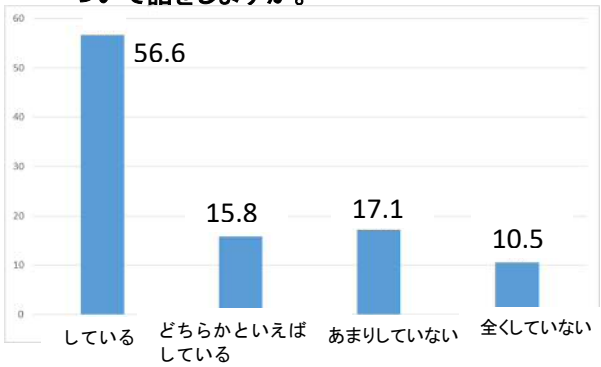
家庭でのコミュニケーションは必要不可欠です。学校の出来事について話す時間をつくりましょう。



家の人（兄弟・姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。

4 できるようになったことや，やさしい心が見えたらほめましょう。

自分のよさがわかったり、自信をもったりすることで、様々なことが飛躍的に伸びていきます。



将来の夢や目標をもっていますか。

資料　学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
（教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より）

【教科への関心・意欲・態度】
・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】
・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】
・朝食を毎日食べる
・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】
・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
・新聞を読んでいる
・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】
・学校の授業時間以外での学習時間が長い
・自分で計画を立てて学習をする
・学校の宿題、授業の予習・復習をする
・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】
・家の人と学校での出来事について話をする
・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】
・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
・学校のきまり、規則を守っている
・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】
・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。

海老名市　全国学力　検索

【市の結果についての問い合わせ先】
電話　046－235－4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査

学校の調査結果

令和元年 12 月

海老名市立社家小学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

（1）義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
（2）学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
（3）そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年　原則として全児童生徒

調査内容

（1）教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況　など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日（木）

小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・図表やグラフなどを用いた目的を捉える
・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方や工夫を捉える
・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む
・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
・目的に応じて、質問を工夫する
・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる
・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇漢字を文中で正しく使う
・正答率も高く，無解答数も少なかった。

〇目的や意図に応じて理由を明確にしながら書く
・全国平均を9ポイント上回っている。

◆課題のある点

〇話す・聞く力
・話し手の意図を捉えながら聞いたり，目的に応じた質問を工夫したりする問題での正答率が低かった。
・話し手の意図を捉えながら聞き，自分の考えをまとめる問題では，正答率が全国平均の半分にも満たなかった。

〇同音異義語
・正答率が全国平均より10ポイント低い。

〇無解答率
・問題が後半になるにつれ，無解答率の高さが目立った。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇読書時間の充実
・読書の時間を充実させることによって，表現する力のもとになる語彙力を伸ばしたり、意味による漢字の違いを理解したりできるように家庭と連携して取り組むようにする。

〇練習問題への取り組み
・問題量と制限時間を併せて考え，自分にとって適切な時間配分ができるよう，繰り返し練習問題に取り組むようにする。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・台形について理解している
・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる
・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
・示された除法の式の意味を理解している
・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、その結果から判断できる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇平均正答率
・平均正答率が 72%で県平均，全国平均より5ポイント上回っていた。

〇無解答率
・記述問題の3問以外では無解答率が0%であった。意欲的に課題に取り組む姿勢がみられる。

〇区分別
・ほとんどの区分で全国の正答率を上回っていたが，特に，円の直径と円周の長さの関係の問題，記述問題の正答率が全国平均より10ポイント上回っていた。

◆課題のある点

〇記述問題
・立式の根拠の説明を記述する問題では全国の正答率より2ポイント下回っていた。

〇目的に合った情報を抽出し立式する問題
・文章題の情報を解釈し，立式に必要な数量だけを選び出し，数式にする問題において全国の正答率より1ポイント下回っていた。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇目的に合った情報を選択する力の育成
・複数の情報から問われている数量や立式に必要な条件を選択し目的に応じて活用する課題に取り組ませることで，課題を発見し，自力で解決しようとする力を育成する。

〇友だちとの学び合い
・友だちとの協働的な学習を通して，順序立てた説明によって思考を表現する力や伝えられた情報から必要な内容を選択し，相手の考えの根拠を解釈する力を育成する。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

〇算数に対する意欲の高さが見られる。
・算数では，新しい問題を解いてみたいと思ったり，もっと簡単に解く方法がないか考えたりすることに興味を示す児童が多い。

〇話し合い活動
・自分の考えを伝わりやすくするように工夫をして発表している児童が多い。

◆本校の課題と思われるところ

〇自ら考えて課題に取り組めている児童が少ない。
・教師から与えられた課題には進んで取り組むことはできているが，家で自ら計画を立てて学習を進めることを，苦手としている。

生活について

◆本校のよかったところ

〇基本的生活習慣が，身についている児童が多い。

〇日頃から読書活動を推進している結果，平日の授業時間以外に読書をしている割合が全国平均を上回っている。

〇最後までなし遂げた成功体験をもっている児童が全国平均より4ポイント多い。

〇自己肯定感が高い。

◆本校の課題と思われるところ

〇地域社会への関わり方が少ない。
・「今すんでいる地域の行事に参加している」と回答した児童が全国平均を下回っている。

〇「いじめは，どんな理由があってもいけない」と感じている児童が全国平均よりも低い。

今後の具体的な取組について

〇全学年で，家庭学習への取り組みを充実させています。
・学校では，毎日家庭学習に取り組ませ，机に向かう習慣付けを図るとともに，基礎基本の定着を図っていきます。また，児童が自主的な学習に取り組めるように，家庭と連携を図っていきます。

〇いじめに関しては，絶対に許さないという心情を養います。
・学校生活全般において，いじめをおきにくくする指導を徹底していきます。

〇学級会活動を充実させていきます。
・児童一人ひとりの意見を認め合い，学級の問題の解決方法をクラスの総意で決定するようにします。

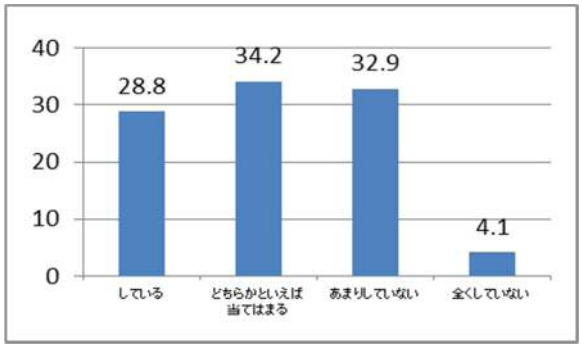
〇読書活動をさらに充実させていきます。
・図書館支援員や図書ボランティアと協力をして，活動の充実を図ります。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 計画的に学習に取り組みましょう

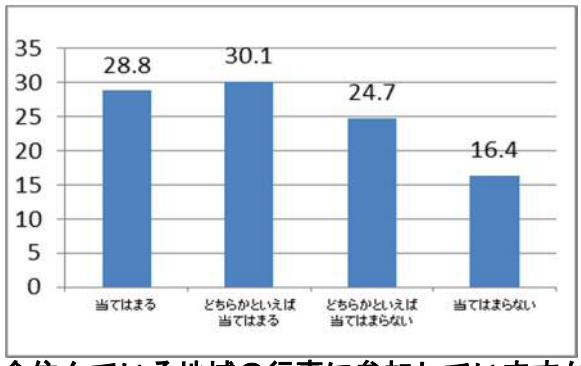
学校から出される課題だけでなく，予習や復習など自分で計画を立てて学習に取り組めるように励ましてください。



家で自分で計画を立てて勉強していますか

2 進んで地域の行事に参加しましょう

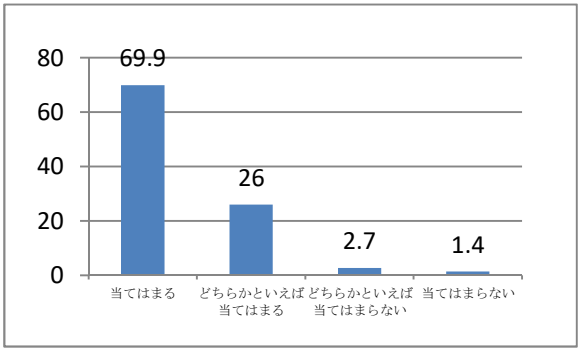
お祭りや清掃活動への参加など，地域社会への関わり方を考えてみましょう。



今住んでいる地域の行事に参加していますか

3 いじめのおきにくい学校生活をめざしましょう

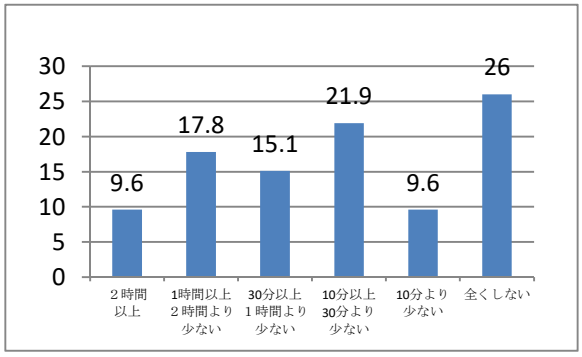
学校でも家庭でもいじめはゆるさないという心情を養うために，話をする機会を作りましょう。



いじめは，どんな理由があってもいけないことだと思いますか

4 読書活動を質と量においてさらに充実させていきます

読書の状況は良好です。これからも読書をする機会を増やしてくださるようお願いします。



学校の授業時間以外に，普段(月曜日から金曜日)，1日当たりどのくらいの時間，読書しますか（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）

資料　学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
（教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より）

【教科への関心・意欲・態度】
・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】
・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】
・朝食を毎日食べる
・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】
・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
・新聞を読んでいる
・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】
・学校の授業時間以外での学習時間が長い
・自分で計画を立てて学習をする
・学校の宿題、授業の予習・復習をする
・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】
・家の人と学校での出来事について話をする
・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】
・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
・学校のきまり、規則を守っている
・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】
・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。

海老名市　全国学力　検索

【市の結果についての問い合わせ先】
電話　046－235－4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係

しゃけっくま

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査

学校の調査結果

令和元年 12 月

海老名市立杉久保小学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

（1）義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
（2）学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
（3）そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年　原則として全児童生徒

調査内容

（1）教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

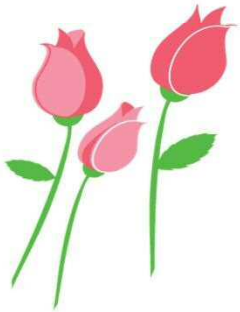
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況　など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日（木）



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・図表やグラフなどを用いた目的を捉える
・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方や工夫を捉える
・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む
・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
・目的に応じて、質問を工夫する
・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる
・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む問題は比較的できています。
〇目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む問題は、比較的できています。

◆課題のある点

〇学年別漢字配当表に示されている漢字を、文の中で正しく使うことに課題が見られます。
〇目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことに課題が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇「漢字の読み書き」では、これまでも日頃の学習の中で積極的に活用する意識を持たせてきました。今後もそのような指導を継続し、授業では作文、新聞・リーフレットづくりなどで積極的に漢字を使わせる指導をし、家庭学習では日記・短文づくり等で経験を多く積ませていきます。
〇「書くこと」では、「読むこと」と関連付けて、国語辞書や漢字辞典の利用を習慣づけたり、読書や新聞の活用をしたりする指導を継続していきます。
〇「書くこと」の指導では、スモールステップで書く内容を整理させたり、シンキングツールを利用して思考を整理させたりして、自分の考えを明確に持たせるようにします。
〇総合的な学習の時間の学習の中で国語科と関連させ、調べ学習や発表する活動を通して、「書くこと」や「読むこと」等の指導を意図的・計画的に行います。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・台形について理解している
・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる
・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
・示された除法の式の意味を理解している
・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、その結果から判断できる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算する問題はできています。
〇向かい合った一組の辺が平行な四角形を台形ということ、また、図形の構成要素およびそれらの位置関係に着目し理解することはできています。
〇棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることはできています。

◆課題のある点

〇加法と乗法が混合した整数と小数の計算について、課題が見られます。
〇場面の状況から、単位量当たりの大きさをもとに、求め方と答えを記述したり、その結果から判断したりする力に課題が見られます。
〇二つの棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取り、それらを関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述する力に課題が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇学習内容の定着を図るための繰り返し学習や、学習形態の工夫等、指導方法を充実させるとともに、「式、図、言葉を関連付けて説明する」ことができるような指導を継続していきます。

〇日常生活の事象を、既習事項を活用して数学的に解釈し、事柄を適切に判断したり、その理由を数学的に表現したりする場面を、今後も学習の中に意図的に取り入れるようにしていきます。

〇目的に応じて、必要な資料を収集し、複数の資料の特徴や傾向を関連付けたり、一つの資料からは判断することができない事柄は何かについて判断したりすることができるような学習課題を意図的に取り入れる等、学習課題を工夫していきます。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

〇「国語の勉強は大切だと思いますか」「算数の勉強は大切だと思いますか」という設問では，当てはまる，どちらかといえば当てはまると答えた児童は，国語 96.9%，算数 97%と県や全国の平均を上回っています。

〇学習に対して前向きに取り組んでいる児童が多いです。

〇国語や算数の学習は大事だと思っている児童は多いです。

◆本校の課題と思われるところ

〇国語や算数の学習を好きだと思っている児童の割合はやや低かったです。（国語 67%，算数 73.2%）

〇「学校の授業時間以外に，普段どれくらい学習していますか。」という設問では，3時間以上と回答した児童の割合は 12.4%，2時間以上3時間より少ないと回答した児童の割合は，14.4%，1時間以上2時間より少ないと回答した児童の割合は，25.8%，30分以上1時間より少ないと回答した児童の割合は，28.9%，30分より少ないと回答した児童の割合は，10.3%，全くしないと回答した児童の割合は 8.2%と家庭学習を積極的にしている児童の割合が低い傾向にあります。

生活について

◆本校のよかったところ

〇「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」という設問では、当てはまる、どちらかといえば当てはまると答えた児童は96．9%と県や全国の平均を上回っています。

〇「自分には、よいところがありますか」という設問では、当てはまる、どちらかといえば当てはまると答えた児童は、82．4%と県や全国の平均を上回っています。

◆本校の課題と思われるところ

〇平日における家庭での学習時間が30分未満の児童が約10%、全くしていない児童が約8%でした。また、家で自分で計画を立てて勉強をする習慣がない児童が約34%でした。過去2年間と比べると、ポイントは少しずつ増えてはいますが、県や全国の平均と比べると、やや低くなっていました。

今後の具体的な取組について

〇家庭学習の充実を目指し、学年の発達段階を踏まえ、系統的な学習のあり方を検討しています。その際、保護者の理解と協力を得るため、連携を十分に図っていきます。

〇携帯電話やスマートフォンに関する子どもへの「ネチケット」を学ぶ機会を設けるとともに、保護者へ様々なネットトラブルの現状や気をつけたいことを継続して伝えていきます。

〇児童が学習に対して前向きな気もちを維持したまま、学習したことを活用できている実感がもてるように支援していきます。

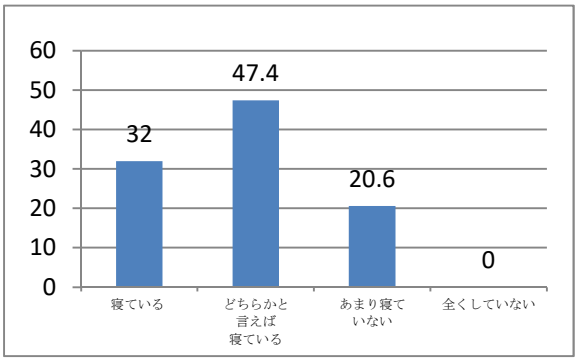
〇家庭での学習習慣をつけさせるために、発達段階に合わせた宿題を出すようにします。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 睡眠時間を確保しましょう。

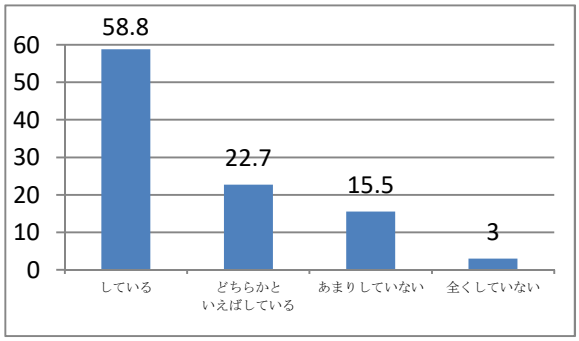
体をつくる成長期の子どもたちにとって、睡眠は大切です。早寝・早起きを心がけさせてください。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

2 家庭でのコミュニケーションを増やしましょう。

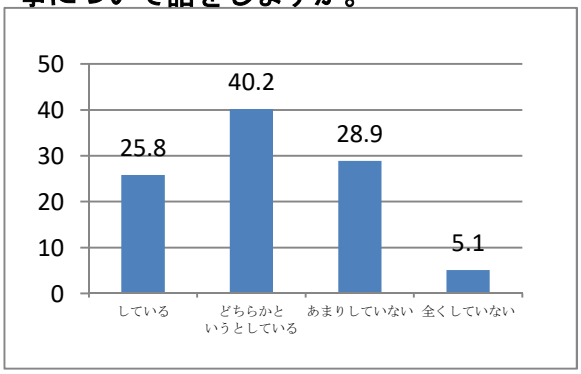
お子さんの話にしっかり耳を傾け、学校での出来事や友達関係といった様子を見取ってください。



家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。

3 自分で計画を立てて勉強しましょう。

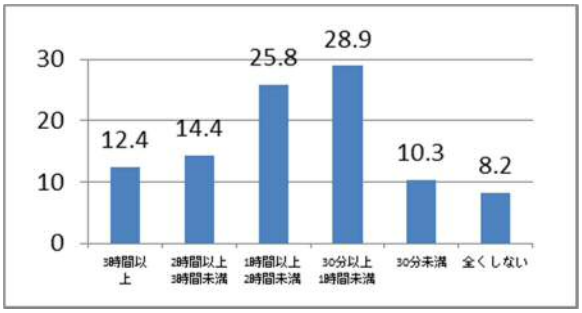
自分で目標を決めて学習することができるように、学習環境を整えたり意欲をもたせたりすることが大切です。



家で計画を立てて勉強をしていますか。

4 毎日、家庭学習の時間を決めて勉強しましょう。

毎日の積み重ねが、学習の定着につながります。時間や場所を決める等の学習習慣が大切です。



普段一日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（塾・家庭教師を含む）

資料　学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
（教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より）

【教科への関心・意欲・態度】
・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】
・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】
・朝食を毎日食べる
・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】
・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
・新聞を読んでいる
・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】
・学校の授業時間以外での学習時間が長い
・自分で計画を立てて学習をする
・学校の宿題、授業の予習・復習をする
・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】
・家の人と学校での出来事について話をする
・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】
・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
・学校のきまり、規則を守っている
・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】
・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。

海老名市　全国学力　検索

【市の結果についての問い合わせ先】
電話　046－235－4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係

すぎまる、がんばります！

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査

学校の調査結果

令和元年 12 月

海老名市立今泉小学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

（1）義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
（2）学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
（3）そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年　原則として全児童生徒

調査内容

（1）教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況　など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日（木）

小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・図表やグラフなどを用いた目的を捉える
・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方や工夫を捉える
・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む
・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
・目的に応じて、質問を工夫する
・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる
・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇全体的に全国平均を上回っており、特に選択肢の問題は正答率が高い傾向にあります。
〇畳職人へインタビューをするような問題では、質問の工夫や、自分の理解を確認する質問など、質問として適切なものを選択することができています。
〇疑問に思ったことに対する答えを文章から読み取る問題など、読むに関する問題の正答率が91．3%と高いです。

◆課題のある点

〇公衆電話について調べた結果を報告する文章を書く設問では、目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができた児童の割合が、県と全国の平均より上回っていたものの、正答率は32%でした。
〇調査の「たいしょう」、「かんしんをもってもらいたい」など、漢字を文の中で正しく使って書き直す問題では、県と全国の平均より正答率が下回っています。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇漢字の読み書きについては、学校だけではなく家庭学習等でも練習を積み重ねて、定着をさせていきたいです。
〇文章全体の内容や構成を考えて、事例や条件を挙げて詳しく書く活動を行っていきます。
〇学級での話し合い活動などを通して、話し手の意図を捉えながら聞いて、考えをまとめて、自分の意見を述べる機会を積極的に取り組んでいきたいです。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・台形について理解している
・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる
・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
・示された除法の式の意味を理解している
・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、その結果から判断できる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇図形の性質や構成要素に着目して、合同な2つの台形を合わせてできる図形を選ぶ問題は、正答率が 70.9%と、県や全国平均よりも10ポイント以上上回っていました。

〇示された図形の面積の求め方を示された数や式から解釈し、それを説明する問題（正答率 56.3%）、棒グラフと関連付けて一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述する問題（正答率 63.1%）は、県や全国の平均よりもかなり上回っていました。

◆課題のある点

〇6＋0.5×2 の答えを 13 とした児童が全体の1/5以上いました。乗法を先に計算するところを、加法を先に計算したとみられます。

〇減法、除法について、示された計算の仕方を解釈し、それを適用する問題の正答率は、減法、除法で、ともに全国平均を下回っていました。また、減法の場合を基に除法の計算の仕方について記述する問題では、無解答率が 17.5%と、県と全国の平均より多かったです。正答率は、県と全国の平均を上回ったものの、37.9%でした。

〇数と計算、図形、数量関係ともに、理由や説明を記述する問題では、求められている記述内容をきちんと記述していない解答が多く、そのために誤答となっているものもありました。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇四則の混合した式や( )を用いた式について、計算の順序を具体的な場面において理解できるようにし、習熟を図ります。

〇各学年で新しい計算の仕方を考える学習が繰り返し行われます。その中で、既習事項と関連付けたり、計算に関して成り立つ性質を生かしたりして考えることを指導していきます。

〇図形や単位量当たりを求めて考える問題では、記述問題にも頑張って取り組もうとする傾向が見られました。考えを表現し、伝え合う活動の中で、更に、大切なことを押さえて順序を考えて分かりやすく説明することや友達の考えを読むことにも目を向けさせていきたいです。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

〇自分で家庭学習の計画を立てて勉強している児童が多いです。(84．1%)
〇読書を好きと思っている児童が多いです。(85%)
〇外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと答えた児童が多いです。(78．5%)
〇総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に多くの児童が取り組んでいます。(80．4%)

◆本校の課題と思われるところ

〇算数の勉強が好きですと答えた児童の割合が、国語の勉強が好きですと答えた児童の割合に比べて低くなっています。(算数64．5%、国語76．6%)

生活について

◆本校のよかったところ

〇毎日の就寝時刻、起床時刻がほぼ決まっている児童が多いです。(就寝時刻が92．6%、起床時刻が96.3%)
〇自分には、よいところがあると思っている児童が多いです。(85．9%)
〇将来の夢や目標がある児童が多いです。(92．5%)
〇学校のきまりを守ったり、人が困っているときに進んで助けたりすることができる児童が多いです。(きまりを守る98．1%、人を助ける95．3%)

◆本校の課題と思われるところ

〇今住んでいる地域の行事に参加していますと答えた児童の割合が高くないです。(参加していない、どちらかといえば参加していないと答えた児童が、39．2%)

今後の具体的な取組について

〇子どもたち自身が、授業中にどのように学び何を感じたのか、その学んだ知識を実生活でどのように役立てていけるのかをふり返る、「ふり返りの時間」を充実させていきます。この「ふり返りの時間」は、学習内容を定着させるとともに、次の学びへの活力や原動力にもなります。国語科や外国語活動、総合的な学習の時間においてその成果が表れているので、算数科をはじめとした他教科でも応用していきます。

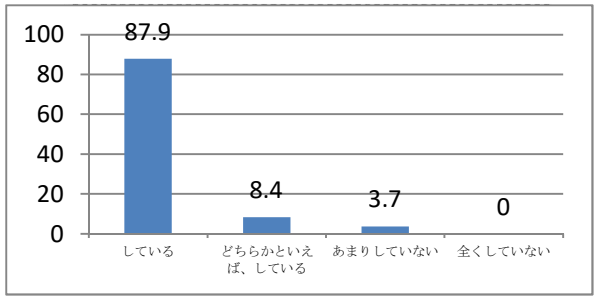
〇自分や友達の良さに気づき、児童の自己肯定感が高まるような授業づくり、学級づくりをしてきました。場面・状況に合わせた言葉遣いなどの基本的な生活習慣に加え、前向きな言葉や肯定的な考え方で児童と接することで、児童の小学校生活を支えてきました。今後は、地域のよさを今まで以上に児童全体に広げていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 規則正しい生活を続けていきましょう。

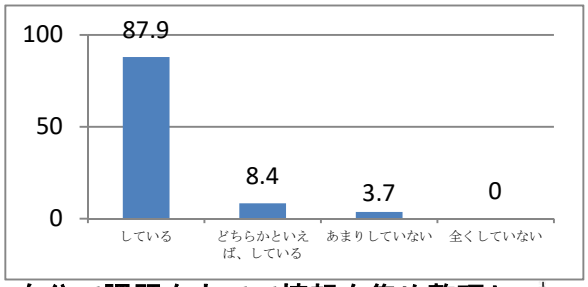
毎日、朝ごはんを食べることで活動や学習のための体の準備ができ、これは生活全体のリズムを保つうえでも大切なことです。これからも、家族みんなで協力しあいましょう。



朝食を毎日食べていますか

2 子どもたち自身で考える習慣をつけさせましょう。

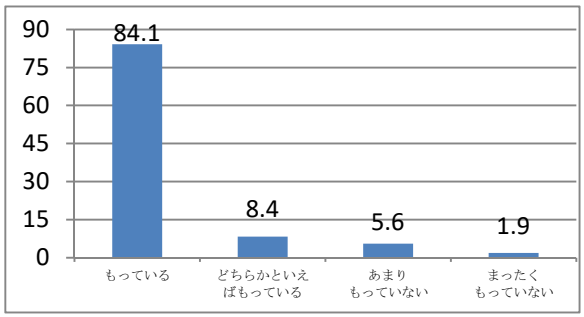
これからの時代は、子どもたち自身が考えたり、学び方を調整したりする力が大切です。子どもたちの決めたことを認め、支えていきましょう。



自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか

3 お子さんと夢や目標について語り合いましょう。

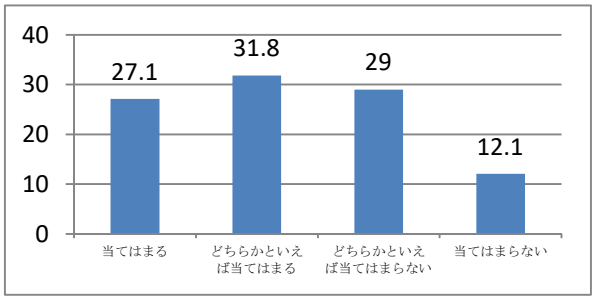
今泉小学校の児童は、夢や目標をもっている子が多く、これは、たいへんすばらしいことです。夢や目標を明確に設定することで、生活を改善する力や学ぶ力が高まります。



将来の夢や目標をもっていますか

4 家族みんなで地域の行事に参加しましょう。

子どもは地域社会の中で様々な経験をして成長していきます。道徳の時間や総合的な学習の時間を核として地域のよさを発信しますので、ご協力よろしくお願いいたします。



今住んでいる地域の行事に参加していますか

資料　学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
（教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より）

【教科への関心・意欲・態度】
・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】
・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】
・朝食を毎日食べる
・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】
・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
・新聞を読んでいる
・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】
・学校の授業時間以外での学習時間が長い
・自分で計画を立てて学習をする
・学校の宿題、授業の予習・復習をする
・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】
・家の人と学校での出来事について話をする
・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】
・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
・学校のきまり、規則を守っている
・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】
・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。

海老名市　全国学力　検索

【市の結果についての問い合わせ先】
電話　046－235－4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係

えびな

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査

学校の調査結果

令和元年 12 月

海老名市立杉本小学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

（1）義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
（2）学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
（3）そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年　原則として全児童生徒

調査内容

（1）教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

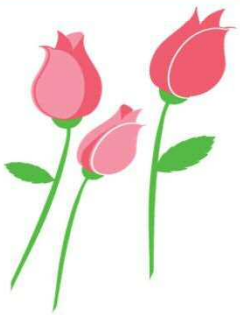
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況　など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日（木）



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・図表やグラフなどを用いた目的を捉える
・情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方や工夫を捉える
・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む
・目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
・目的に応じて、質問を工夫する
・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる
・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと。
〇話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をすること。
〇目的に応じて、質問を工夫すること。

◆課題のある点

〇目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にして、まとめて書くこと。
〇学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと
〇文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇自分の考えが伝わるように書くために、事実と考えを区別して書いたり、理由を明確にして自分の考えをまとめたりすることができるように指導していきます。

〇文章を書く様々な機会を捉えて、文脈に沿って接続語の役割を理解させるとともに、接続語を使って文を分けて書くことができるように指導していきます。

〇新出漢字を繰り返し練習するだけではなく、漢字のもつ意味を考えながら正しく使ったり、同音異義語に注意して使ったりする習慣をつけられるよう指導していきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・台形について理解している
・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる
・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
・示された除法の式の意味を理解している
・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、その結果から判断できる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇資料（グラフ）の特徴や傾向を基に考察したり、複数の資料の特徴や傾向を関連付けて判断したりすること。
〇示された場面から、伴って変わる二つの数量を見出し、数学的に処理して判断すること。

◆課題のある点

〇図形の性質や構成要素に着目して、図形を観察・構成したり、図形について筋道を立てて考察し表現したりすること。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇図形の学習では、図形の性質や構成要素に着目させ、観察や操作などの活動を通して、図形の実感的な理解を深めていきます。また、面積の計算の仕方については、図形を分割したり、等積変換したりするなど、筋道を立てて考察する機会を増やしていきます。
〇校内研究のめざしている「かかわり合いながら、主体的に学ぶ子どもたちの育成」に沿って、児童相互の意見交換を通して、数学的な見方や考え方が深まるよう、交流の機会を増やしていきます。
〇「数量や図形についての基本的な知識・技能」は、ドリル学習等を活用し、今後も繰り返すことにより、定着を図ります。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

〇国語と算数ともに「国語（算数）が大切だと思う」とほぼ全員が答えています。また、どちらの教科においても、「学習したことが将来、社会に出たときに役に立つと思う」と答えている割合が高くなっています。

〇読書が好きと答えた児童の割合は、全国の平均より15ポイント以上高く、読書への関心の高さがうかがえます。

◆本校の課題と思われるところ

〇国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていると答えている児童の割合が低くなっています。

生活について

◆本校のよかったところ

〇約 9 割の児童が同じくらいの時間に起床することができています。また、ほぼ全員の児童が毎日朝食を食べています。

〇「いじめはどんな理由があってもいけないこと」だと思っている児童が多数を占めています。

◆本校の課題と思われるところ

〇今住んでいる地域行事に参加したり、地域や社会をよくするために何をすべきか考えたりする児童の割合がやや低くなっています。

〇「学校のきまりを守っています」と答えている児童の割合が低くなっています。

今後の具体的な取組について

〇「生活科・総合的な学習の時間」の校内研究をとおして、年間カリキュラムを再構築していきます。その際に、他教科とのつながりを考えたり、地域等の外部人材の活用を考えたりしながら、効果的な学習の場をつくっていきます。また、地域社会とのつながりをより実感できるように支援していきます。

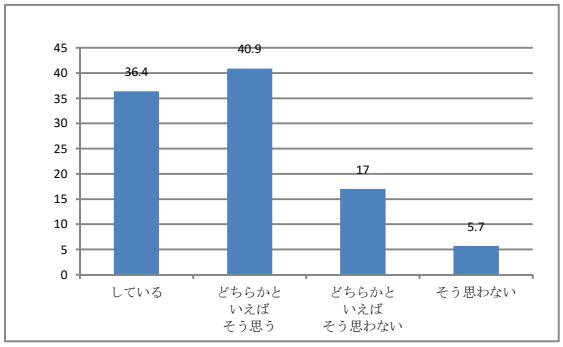
〇学習の中で、「かかわりあい」を効果的に活用しながら授業の組み立てを考えていきます。その中で、目的に応じて、自分の考えを話せるよう系統的に指導をしていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 規則正しい生活を送りましょう。

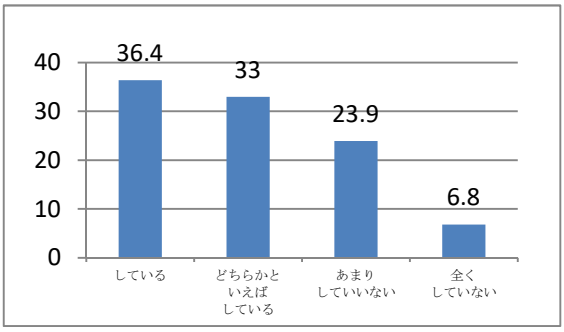
規則正しい生活は、成長期の子どもたちの成長を促進すると共に、一日を元気に過ごすために大変重要です。テレビやゲームなどの画面から強い刺激を受けると睡眠の質が低下すると言われています。就寝前の生活を見直すなど、規則正しい生活をおくるための環境づくりをしましょう。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

2 計画的に家庭学習に取り組みましょう。

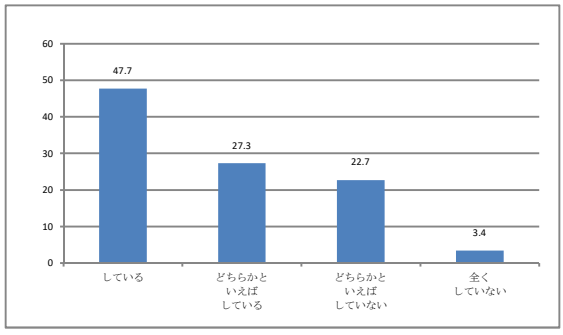
普段の月曜日から金曜日には、１時間以上家庭学習をしている児童が６０％をこえています。一方、自分で計画を立てて勉強することができる児童の割合はやや低くなっています。自学自習の習慣が身につくようご家庭でもご支援をお願いします。



家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

3 学校での出来事について話す機会をつくりましょう。

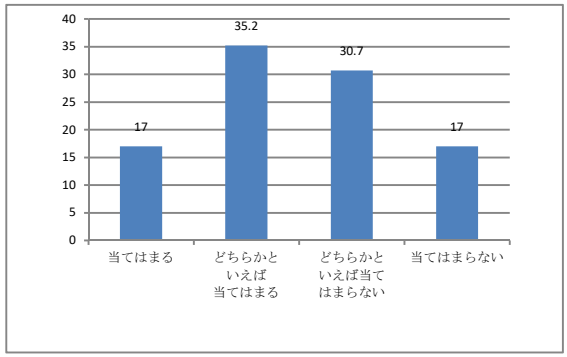
自分にはよいところがあると感じられている児童の割合がやや低くなっております。学校でも、児童の頑張りを認め、褒める機会をつくっていきます。ご家庭でも、その日の出来事を話し、頑張りに対して是非褒めてあげてください。



家の人と学校での出来事について話をしますか

4 地域の行事に進んで参加しましょう。

地域や社会について考える機会が少ないようです。家族の支えとともに地域や社会との結びつきが生活を支えてくれています。家族で地域について話す機会をもったり、地域行事に積極的に参加したりするなど地域とつながる機会をつくりましょう。



今住んでいる地域の行事に参加していますか

資料　学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
（教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より）

【教科への関心・意欲・態度】
・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】
・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】
・朝食を毎日食べる
・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】
・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
・新聞を読んでいる
・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】
・学校の授業時間以外での学習時間が長い
・自分で計画を立てて学習をする
・学校の宿題、授業の予習・復習をする
・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】
・家の人と学校での出来事について話をする
・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】
・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
・学校のきまり、規則を守っている
・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】
・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。

海老名市　全国学力　検索

【市の結果についての問い合わせ先】
電話　046－235－4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査

学校の調査結果

令和元年 12 月

海老名市立海老名中学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

（1）義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
（2）学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
（3）そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年　原則として全児童生徒

調査内容

（1）教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

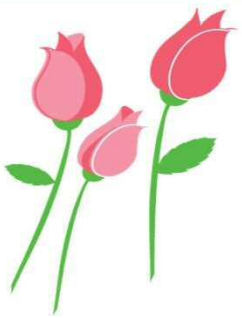
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況　など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日（木）



中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ
・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える
・文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考え方をもつ
・封筒の書き方を理解して書く
・話合いの話題や方向を捉える
・相手に分かりやすく伝わる表現について理解する
・話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ
・書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する
・伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く
・語の一部を省いた表現について、語や文章の中での適切な活用の仕方を理解する

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇文章の構成や展開、表現の仕方について、自分の考えを明確にしながら根拠を示すことができます。
〇文章の展開について、構成に着目しながら内容を捉えることができます。
〇封筒の書き方を理解し、適切に書くことができます。

◆課題のある点

〇相手に分かりやすく伝わる表現についての理解に課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇スピーチやプレゼンテーション、ディスカッションやディベートなどの活動を通して、話の構成から言葉を選び、表現する力を伸ばします。

〇気になる表現や言葉に着目し、発表し合うなど、語彙を増やす活動を取り入れ、多様な言葉に触れる機会をより多く設けます。

〇自分の考えに理由づけすることがよくできることがわかりました。さらに、自分の考えを、交流を通して他者に共感してもらえたり納得してもらえたりする活動を通して、語彙を増やすだけではなく、説得力のある伝え方を身につけさせます。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・数の集合と四則計算の可能性について理解している
・簡単な連立二元一次方程式を解くことができる
・平行移動の意味を理解している
・反比例の表から、ｘとｙの関係を式で表すことができる
・簡単な場合について、確率を求めることができる
・グラフ上の点Ｐのｙ座標と点Ｑのｙ座標の差を、事象に即して解釈することができる
・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる
・証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している
・反例の意味を理解している
・結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見いだし、説明することができる
・資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる
・資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる
・問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる
・与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる
・事柄が成り立つ理由を説明することができる
・統合的、発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる

本校の調査結果

◆比較的できている点
〇図形に対する基本的な知識がきちんと身についています。
〇与えられた数量から事柄が成り立つ理由を説明する力があります。
〇数学的な結果を事象に即して解釈することができます。
◆課題のある点
〇資料の傾向を的確に捉えて数学的な表現を用いて説明することに、課題があります。
〇与えられた課題に対して、解決する方法を数学的に説明することに、課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇無解答率が少なかったことから課題に前向きに取り組むことがわかりました。授業の中から興味関心を持ち苦手や分からない問題に対しても前向きに取り組む姿勢がさらに育つよう指導を工夫します。

〇基本的な計算力はあります。その力をさらにつけるために、既習内容の復習をすることで確実な計算力を身につけさせます。

〇与えられた課題に対しての解決方法を身につけるために、グループ学習を積極的に取り入れて、グループの中での意見交換を活発に行えるように工夫します。

中学校 英語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる
・教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる
・日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる
・まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる
・まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる
・聞いて把握した内容について、適切に応じることができる
・日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる
・まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる
・まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる
・書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる
・文の中で適切に接続詞を用いることができる
・一般動詞の２人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる
・一般動詞の１人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる
・与えられた情報に基づいて、３人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる
・与えられた情報に基づいて、一般動詞の３人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる
・与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる
・月日に関する基本的な表現を理解して、応答することができる
・基本的な文法（現在進行形）を理解して、応答することができる
・適切に強勢を置き、交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答することができる
・聞いて把握した内容について、やり取りすることができる
・与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇言語や文化についての知識・理解の観点において、接続詞、主語に対応する動詞および動詞の時制を問う問題、肯定文、否定文等についてはよく理解しています。

〇まとまりのある英文の資料を理解し自分の考えを示す問題において、無解答率が低いことから、内容を理解し、自分の意見を英語で述べようとする意識が高いと言えます。

◆課題のある点

〇自分の考えや意見を記述する問題については、まとまりのある文章を書くことに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇まとまりのある英文を読んだり聞いたりして内容を理解する力をつけていくために、適切な分量の様々な英文に触れる機会を増やしていくよう工夫します。

〇理解した英文の内容に対して、自分の考えを記述するという力を伸ばすために、一問一答のような英作文だけではなく、まとまりのある英文を書く機会を増やしていきます。教科書の本文の内容を、言い換えたりする活動や、図や絵を見て説明をしていくような活動を取り入れながら、既習英文を自在に組み合わせて自分の考えを表現する力を伸ばしていきます。

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

〇「数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、どのように解答しましたか。」の質問では、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。」と答えた生徒は全国平均より、7.3 ポイント上回りました。

〇「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」の質問では 92.7%の生徒が肯定的な回答をしています。全国平均より 7.3 ポイント上回りました。

◆本校の課題と思われるところ

〇「読書は好きですか」の質問では「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒は全国平均より 9.7 ポイント下回りました。

〇「国語の勉強は好きですか。」の質問では、全国平均を大きく上回りましたが、「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか。」という質問に対しては、「学んだことをあまり活用できていない」という回答の数値が全国平均より 4.8 ポイント上回りました。

生活について

◆本校のよかったところ

〇「学校に行くのは楽しいと思いますか。」の質問では「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた生徒が、全国平均より 5.9 ポイント上回りました。学校生活が充実していることがうかがえます。

〇「人が困っているときは進んで助けていますか。」の質問では、「当てはまる」「どちらかというと当てはまる」と答えた生徒は 88.9%という結果でした。全国平均より 3 ポイント上回りました。

◆本校の課題と思われるところ

〇「将来の夢や目標を持っていますか。」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒は全国平均より 9 ポイント下回りました。また「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。」では肯定的な回答をした生徒は全国平均より 4.6 ポイント下回りました。

今後の具体的な取組について

〇学習の始めに本時の目標を明確に伝え、目的意識をもった授業の展開ができるようにしていきます。また、グループ学習の中で、自ら発言する機会を増やしたり、他の人の意見を聞いて考えを深めたりするようにしていきます。

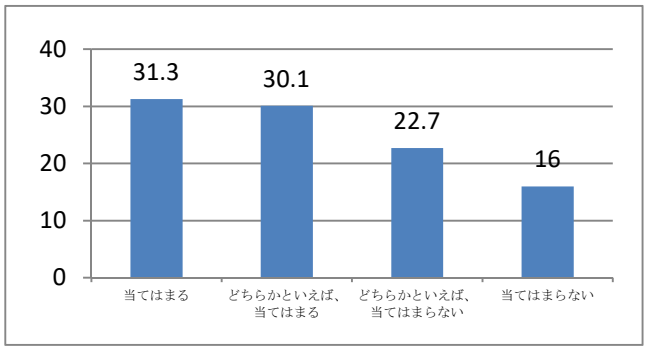
〇学校生活全体を通して、互いを認め合える人間関係を構築して、自己有用感が高まるよう一人ひとりの生徒を大切にする指導を心がけていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1 将来のことや目標について語り合いましょう。

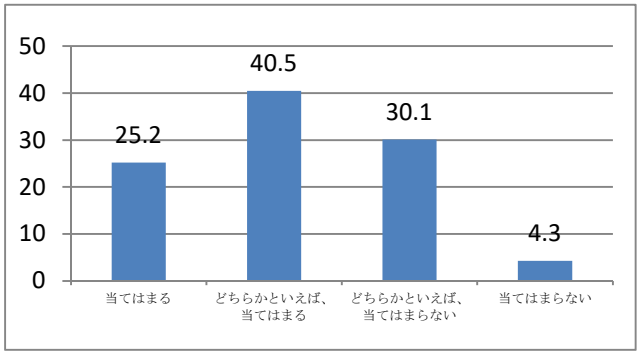
夢や目標を持つことは、今するべきことが明確になり自分を前向きにさせます。目標を達成すると自分に自信が持てます。また、目標達成を積み重ねると夢への実現につながります。



将来の夢や目標を持っていますか。

2 様々なことに積極的に挑戦しましょう。

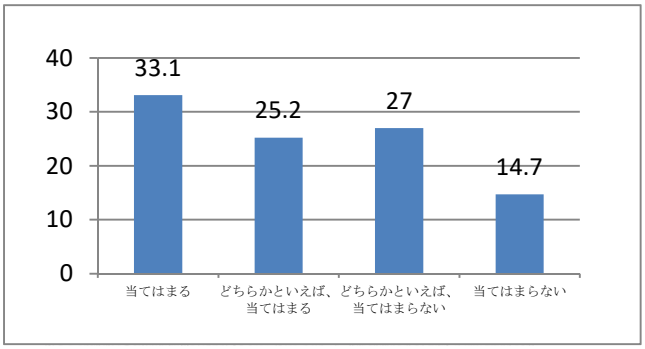
「失敗は成功のもと」という言葉があります。もし、失敗してしまったとしても、学ぶことは多くあります。その学びが成功への道だと思います。また、挑戦しなければ、成功も失敗も経験はできません。様々なことに積極的に取り組みましょう。



難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。

3 本を読みましょう。

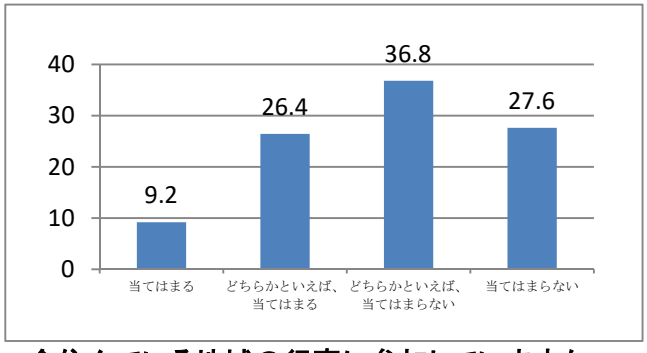
「本は知識の宝庫」と言われています。本からさまざまな情報を手にしたり、自分の考えを深めたりすることができます。本を読むことで心が豊かになり成長につながることが多くあります。生活の中で、本を読む時間を多くつくってみてはいかがでしょうか。



読書は好きですか。

4 地域に関わるようにしましょう。

地域主催の行事などに参加しましょう。私たちは地域の一員です。行事などに参加し、地域の方とコミュニケーションを図り、地域の絆を深めましょう。



今住んでいる地域の行事に参加していますか。

資料　学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
（教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より）

【教科への関心・意欲・態度】
・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】
・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】
・朝食を毎日食べる
・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】
・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
・新聞を読んでいる
・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】
・学校の授業時間以外での学習時間が長い
・自分で計画を立てて学習をする
・学校の宿題、授業の予習・復習をする
・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】
・家の人と学校での出来事について話をする
・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】
・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
・学校のきまり、規則を守っている
・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】
・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。

海老名市　全国学力　検索

【市の結果についての問い合わせ先】
電話　046－235－4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査

学校の調査結果

令和元年 12 月

海老名市立有馬中学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

（1）義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
（2）学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
（3）そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年　原則として全児童生徒

調査内容

（1）教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況　など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日（木）

中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ
・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える
・文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考え方をもつ
・封筒の書き方を理解して書く
・話合いの話題や方向を捉える
・相手に分かりやすく伝わる表現について理解する
・話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ
・書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する
・伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く
・語の一部を省いた表現について、語や文章の中での適切な活用の仕方を理解する

本校の調査結果

◆比較的できている点
〇問題中から短歌の中の言葉を取り上げて、想像できる情景や心情を書き、それについて感じたことや考えたことを具体的に書くこと
〇意見文の下書きに書き加える言葉として、適切なものを選択すること
◆課題のある点
〇文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること
〇例えば「インターネット」のことを「ネット」いうなど、語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解すること
〇封筒の書き方を理解して書くこと

今後の具体的な指導改善のポイント

〇文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明らかにして自分の考えをまとめる指導；
読書経験を増やすと共に、文章の構成や展開、表現の仕方について分析するとともに、そのような表現をした書き手の目的や意図を考えたり、その効果を考えたりするように指導すること
〇手紙の基本的な形式を理解し、文字の大きさ、配列などに注意して書く指導；
相手を具体的に定め、実際に手紙のやり取りを行わせる。その際、表書きの宛て名や住所などを正しく書くことや、後付けにおける署名と宛て名の位置関係といった基本的な形式を押さえることなど、小学校での学習を想起するように指導すること
〇具体的な場面や状況に基づいて考える語句の指導の工夫；
実際に話したり書いたりする学習で、言葉の受け手の状況を予測したり反応を確かめたりしながら、どのような表現を用いると、自分の伝えたいことがより的確に伝わるのかを考えながら表現するように指導すること

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・数の集合と四則計算の可能性について理解している
・簡単な連立二元一次方程式を解くことができる
・平行移動の意味を理解している
・反比例の表から、x とyの関係を式で表すことができる
・簡単な場合について、確率を求めることができる
・グラフ上の点 P のy座標と点 Q の y 座標の差を、事象に即して解釈することができる
・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる
・証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している
・反例の意味を理解している
・結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見いだし、説明することができる
・資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる
・資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる
・問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる
・与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる
・事柄が成り立つ理由を説明することができる
・統合的、発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇図形問題で、図が示していることが予想とは違っていることを説明する問題で、正しいものを選ぶこと
〇連続した 5 つの奇数の和が、中央の奇数の 5 倍になることの説明を完成すること

◆課題のある点

〇ヒストグラム等の資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること
〇分かったことの根拠となる値として適切なものを選ぶことや、問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断すること

今後の具体的な指導改善のポイント

〇資料の傾向を捉えて、批判的に考察し判断した理由を、数学的な表現を用いて説明できるようにする；
日常生活や社会の事象における問題に対して、目的に応じてデータを収集し、ヒストグラムなどに整理し、そのデータの分布の傾向を読み取り、それに基づいて統計的に問題解決する活動を充実させること

〇代表値の必要性と意味を理解し、代表値をもとめることができるようにする；
目的に応じてデータを収集して整理し、データの傾向を読み取る活動を取り入れ、データの代表値を求めることができるように指導すること

中学校 英語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる
・教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる
・日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる
・まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる
・まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる
・聞いて把握した内容について、適切に応じることができる
・日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる
・まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる
・まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる
・書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる
・文の中で適切に接続詞を用いることができる
・一般動詞の２人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる
・一般動詞の１人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる
・与えられた情報に基づいて、３人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる
・与えられた情報に基づいて、一般動詞の３人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる
・与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる
・月日に関する基本的な表現を理解して、応答することができる
・基本的な文法（現在進行形）を理解して、応答することができる
・適切に強勢を置き、交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答することができる
・聞いて把握した内容について、やり取りすることができる
・与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇ある状況を描写する英語を聞いて、その内容に最も適している絵を選択すること
〇状況を説明する英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択すること
〇家庭での会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択すること

◆課題のある点

〇英文の中で適切に接続詞「if」を用いること
〇ある女性に関する与えられた情報から、３人称単数現在時制の肯定文を正確に書くこと

今後の具体的な指導改善のポイント

〇文の中で適切に接続詞を用いることができるようにする；

・文脈で適切な接続詞が用いられている文を見て、その使い方ができる指導すること
・2つの文の意味を考えた上で、適切な接続詞を用いて1つの文を作る活動を充実すること
・適切な接続詞を用いて主節に続く従属節を作文する活動を充実すること
・日本語と英語を比較しながら、主節と従属節の関係を考えるなど、英語の文構造を理解できる指導をすること

〇語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くことができるようにする；

・憧れの人物や友達紹介など、３人称を扱った言語材料を聞いたり、読んだり、話したり、書いたりして様々な場面で繰り返し使用する活動を充実させること
・生徒同士で書いたものを互いに読み合い、誤りに気付き、修正を加える活動をすること
・「〇〇出身です。」のように、省略される主語が何であるかを理解できる指導をすること

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ
〇国語、英語の勉強が好きだという回答が多いこと
〇数学、英語の勉強は大切だと考えているという回答が多いこと
〇数学、英語の授業で学習したことは将来、社会に出た時に役に立つと考えているという回答が多いこと
〇英語の授業はよく分かると感じているという回答が多いこと

◆本校の課題と思われるところ
〇家で自分で計画を立てて勉強をしているという回答が少ないこと
〇新聞を読んでいないという回答が多いこと
〇授業で学んだことを、他の学習に活かしているという回答が少ないこと

生活について

◆本校のよかったところ
〇学校に行くのは楽しいと思っているという回答が多いこと
〇ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがあるという回答が多いこと
〇学校の規則を守っているという回答が多いこと

◆本校の課題と思われるところ
〇自分には、良いところがあると思うという回答が少ないこと
〇難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦しているという回答が少ないこと
〇人が困っているときは、進んで助けているという回答が少ないこと

今後の具体的な取組について

〇誰もが分かりやすく、意欲的に取り組める授業を行います。
有馬中学校職員全員でユニバーサル・デザインを取り入れ、生徒一人ひとりが主体的な深い学びができる授業法を研究し、実践します。

〇体育祭・合唱祭で生徒自らが計画・運営をすることで、主体性や乗り越える力を育てます。
また、3学年が協力して活動することから、社会性を育成します。

〇総合的な学習の時間では、人間関係プログラムを実施することで、良好な人間関係の育成に努めます。また、広島修学旅行では平和やいのちの尊さについて学びます。

〇支援体制を組織的に行い、人間関係や個人の悩みに対して相談活動を充実させ、丁寧に対応します。

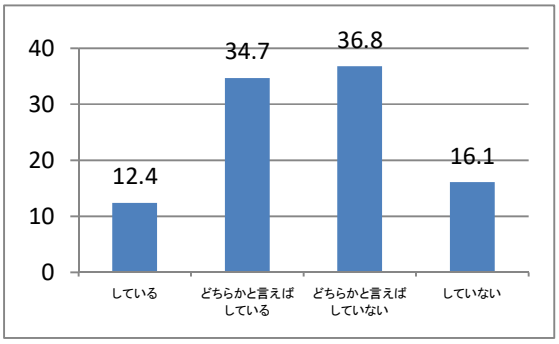
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1 計画的な家庭学習を！

「早寝早起き」「朝ごはん」を踏まえた上で、充分な家庭学習の時間を確保できる生活リズムを確立させるようサポートをお願い致します。

学習の確実な定着には家庭学習が必要です。初めは少ない時間でも家庭学習をする姿を誉め、地道に努力する姿勢を育てましょう。

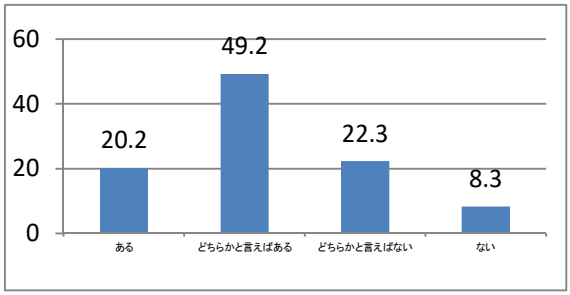


家で自分で計画を立てて勉強している

2 自尊感情を高める対話を！

自分らしく、生き生きと生活していくためには自尊感情は不可欠です。

仲間と比べたり、兄弟と比べたりして自分に自信を失いがちなこともあるこの時期です。是非、家庭の中でも本人の長所を認めたり、自信が高まる対話・会話が持たれると良いと思います。どんなに小さなことでも結構です。「今更」「照れくさい」「わざとらしい」とおっしゃらずに、是非実践してください。

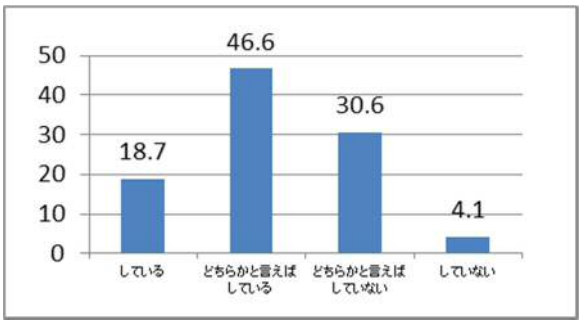


自分には良いところがある

3 チャレンジの後押しを！

「失敗すると叱られる」「失敗すると格好悪い」といった不安があるのかもしれません。「失敗は成功の母」とも言われます。仮に失敗しても、特に若いうちは何度でもやり直しがききます。又、失敗の原因を分析し、課題を突き止め、地道に取り組み、再チャレンジすることで道が開けていくことは多々あります。

「迷った時には敢えて厳しい挑戦をすることを選ぶ」ことを信条にさせるくらい、背中を押してあげてください。

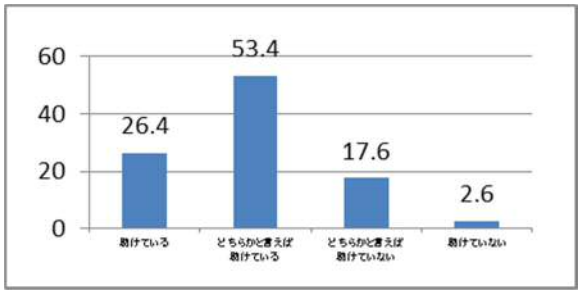


難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している

4 意図的な仕事・役割の分担を！

学校行事を終えると目に見えて、生徒は成長しています。それぞれが責任を持って自分の分担を果たして大きな目標を達成した後には、他の役割を担った仲間への感謝の気持ちが溢れます。それと同時に、取り組み期間中の苦しい時に助けてもらい、協力してもらったことへの感謝の気持ちを自分の口からも、文章でも表しています。

ご家庭においても、是非責任を持って取り組まなければできない役割分担をしていただき、助け合い・思いやり・気遣いの大切さを実感させていただきたいと思います。



人が困っている時に、進んで助けている

資料　学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
（教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より）

【教科への関心・意欲・態度】
・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】
・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】
・朝食を毎日食べる
・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】
・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
・新聞を読んでいる
・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】
・学校の授業時間以外での学習時間が長い
・自分で計画を立てて学習をする
・学校の宿題、授業の予習・復習をする
・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】
・家の人と学校での出来事について話をする
・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】
・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
・学校のきまり、規則を守っている
・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】
・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。

海老名市　全国学力　検索

【市の結果についての問い合わせ先】
電話　046－235－4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査

学校の調査結果

令和元年 12 月

海老名市立海西中学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

（1）義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
（2）学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
（3）そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年　原則として全児童生徒

調査内容

（1）教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

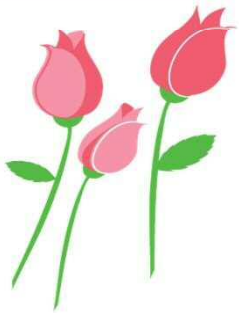
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況　など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日（木）



中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ
・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える
・文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考え方をもつ
・封筒の書き方を理解して書く
・話合いの話題や方向を捉える
・相手に分かりやすく伝わる表現について理解する
・話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ
・書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する
・伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く
・語の一部を省いた表現について、語や文章の中での適切な活用の仕方を理解する

本校の調査結果

◆比較的できている点
「読むこと」の領域における、内容理解の能力に優れています。
設問2一や2二で問われた、話し合いの流れを捉え内容を読み取る力が特に優れています。
◆課題のある点
「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域における、語彙の知識、活用に努力を要します。
伝統的な言語文化と国語の特質とは、古文などの伝統的な言語文化、言葉の特徴やきまり、漢字に関する事項のことを指します。この項目に関する「語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する」設問と「封筒の書き方を理解して書く」設問の正答率にばらつきがありました。

今後の具体的な指導改善のポイント

○「語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する」項目については、慣用句やことわざなど、語彙に関する知識を増やす取り組みが必要だと考えます。これまで取り組んできた、教科書に使われている単語の意味調べに加え、身近な文章から慣用句やことわざ、単語を集めるような課題を設定します。そして得た知識を活用し、自分で文章を書く際に正しい使い方ができるようになることを目指します。

○ 「封筒の書き方を理解して書く」項目については、正しい知識を身につけることができるよう適切な課題と指導を考えていきます。封筒の書き方に合わせて、ハガキの書き方やお礼状の書き方など、生活していく上で必要な知識を定着するための課題を設定します。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・数の集合と四則計算の可能性について理解している
・簡単な連立二元一次方程式を解くことができる
・平行移動の意味を理解している
・反比例の表から、ｘとｙの関係を式で表すことができる
・簡単な場合について、確率を求めることができる
・グラフ上の点Ｐのｙ座標と点Ｑのｙ座標の差を、事象に即して解釈することができる
・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる
・証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している
・反例の意味を理解している
・結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見いだし、説明することができる
・資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる
・資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる
・問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる
・与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる
・事柄が成り立つ理由を説明することができる
・統合的、発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇簡単な連立二元一次方程式を解くことに優れています。

〇資料を整理した表から最頻値を読み取ることに優れています。

◆課題のある点

〇数の集合と四則計算の可能性についての理解に課題があります。

〇事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇少人数授業を、３年前から習熟度別で行っています。習熟度別授業のあり方をさらに研究し、より効果的な授業が展開できるよう進めていきます。

〇計算技能を習得させることだけに力点をおかず、それぞれの計算の意味や原理を確実に理解させ、具体的な問題場面で式を活用できるよう指導していきます。

〇関数関係への理解を一層深めるとともに、具体的な事象の中から関数関係を見いだし考察する能力が高められるよう指導していきます。

中学校 英語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる
・教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる
・日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる
・まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる
・まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる
・聞いて把握した内容について、適切に応じることができる
・日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる
・まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる
・まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる
・書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる
・文の中で適切に接続詞を用いることができる
・一般動詞の２人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる
・一般動詞の１人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる
・与えられた情報に基づいて、３人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる
・与えられた情報に基づいて、一般動詞の３人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる
・与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる
・月日に関する基本的な表現を理解して、応答することができる
・基本的な文法（現在進行形）を理解して、応答することができる
・適切に強勢を置き、交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答することができる
・聞いて把握した内容について、やり取りすることができる
・与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇日常的な話題について、情報を正確に聞き取る力や、簡単な文で書かれたものの内容を、正しく読み取る力が身についています。また、ある程度まとまりのある身近な話題についても、概要をとらえることや必要な情報を理解することができます。

〇話すことについては、ミスはあるものの、コミュニケーションに前向きで積極的な姿勢が身についています。ある程度まとまりのある内容も、意欲的に表現しようとすることができました。

◆課題のある点

〇代名詞や過去形、三人称単数現在などの、内容に応じて適切な動詞の活用形を正しく使うことにやや課題があります。

〇長い説明文を読み取ることや、根拠や理由を示して具体的に説明する、まとまりのある自己表現を行うことに課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇会話の意図や流れにふさわしい文の形式や時制を考えながら、状況に応じた表現を使ったり、相手に説明したりできるよう、体験的な練習をしていきます。

〇教科書以外の様々な題材も扱い、より多くの英語に触れて語彙力をつけるとともに、自分なりの考えをまとめる力や、相手に伝える力を身につけることを目指します。

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

○対話的で深い学びをしています。

「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思いますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合は、86.3%で、全国比＋14 ポイントと、大きく上回っています。長年、本校が取り組んできた「グループワーク」「言語活動」等を取り入れた授業の成果が確実に現れていると考えます。

◆本校の課題と思われるところ

○自分で計画を立てて学習できる力を身につけましょう。

「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問では、「している」「どちらかといえばしている」と答えた生徒の割合は、46.3%で、全国比 4.1 ポイント下回っています。
自分で計画を立てるためには、自分のことを客観的に見つめる必要があります。それは主体的な学びにもつながるものと考えます。

生活について

◆本校のよかったところ

○楽しい学校生活を送っています。

「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合は、85.6%で、全国比 3.7 ポイント上回っています。
「安全、安心で楽しい学校生活」は、すべての教育活動の根幹であるという認識を持ち、さらに楽しく充実した学校生活を送ることができるよう努力していきます。

◆本校の課題と思われるところ

○将来の夢や目標が、まだはっきりとしていないようです。

「将来の夢や目標を持っていますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合は、56.9%で、全国比－13.6 ポイントと大きく下回っています。
2学年で実施している「職場体験学習」、3学年での「進路学習」を通じ、自分の将来の夢や目標について、より具体的に考えていけるような取組を続けていきます。

今後の具体的な取組について

○『海西中の心』(「挨拶」「時間」「約束」「思いやり」)を今後も、あらゆる教育活動において、意識し、大切にしながら取り組んでいきます。

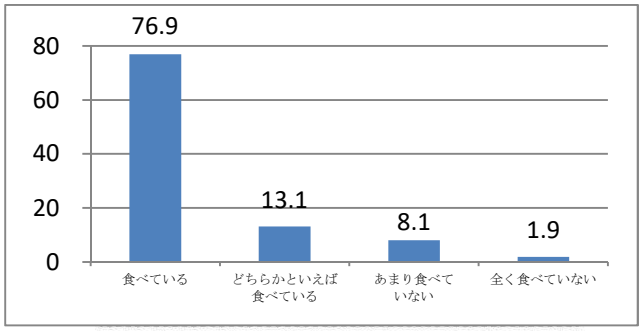
○新学習指導要領に定められた、「主体的・対話的で深い学び」の具現化に向け、本校が長年にわたり取り組んできた、各教科等における「グループワーク」や「言語活動」をさらに充実・深化させていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1 朝ごはんは毎日食べましょう。

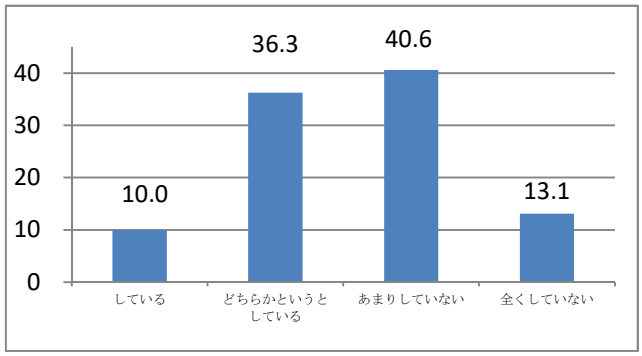
朝食を抜くことにより体温が上がらず、物事に集中できない、イライラするなど、心身の不調につながることが、科学的にも証明されています。



朝食を毎日食べていますか

2 計画を立てて学習しましょう。

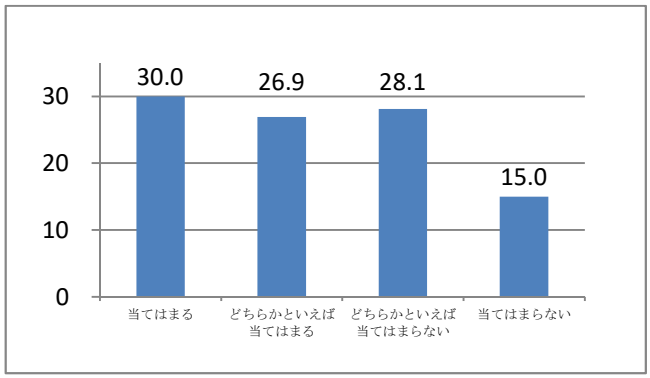
自分で学習計画を立てることは、自分自身を見つめることにもつながります。自分だけの「学習 PDCA サイクル」を確立できるようにしましょう。



家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

3 将来の夢や目標について語る機会をつくりましょう。

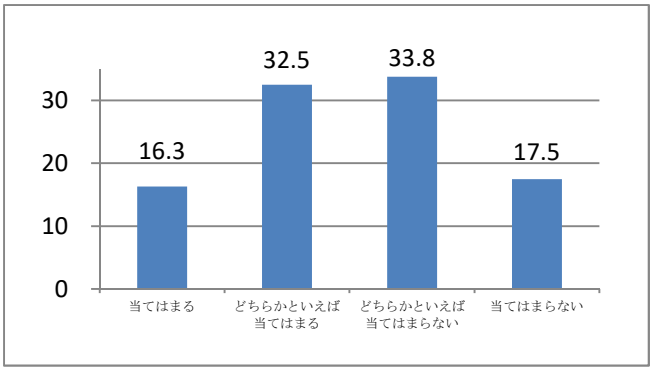
学校で実施する、職場体験学習などのキャリア教育などに合わせ、家族や友だちと将来の夢や目標等について、語り合う機会を持ちましょう。



将来の夢や目標を持っていますか

4 地域の行事等に参加しましょう。

本校生徒は、県内平均に比べ、積極的に参加している現状がうかがえます。（全県比＋5.9 ポイント）
学校・家庭・地域が連携し、地域の行事等の周知や参加をさらに積極的にすすめていきましょう。



今住んでいる地域の行事に参加していますか

資料　学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
（教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より）

【教科への関心・意欲・態度】
・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】
・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】
・朝食を毎日食べる
・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】
・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
・新聞を読んでいる
・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】
・学校の授業時間以外での学習時間が長い
・自分で計画を立てて学習をする
・学校の宿題、授業の予習・復習をする
・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】
・家の人と学校での出来事について話をする
・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】
・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
・学校のきまり、規則を守っている
・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】
・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。

海老名市　全国学力　検索

【市の結果についての問い合わせ先】
電話　046－235－4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査

学校の調査結果

令和元年 12 月

海老名市立柏ケ谷中学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

（1）義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
（2）学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
（3）そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年　原則として全児童生徒

調査内容

（1）教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

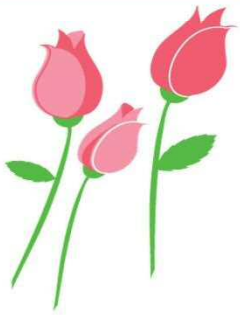
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況　など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日（木）



中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ
・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える
・文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考え方をもつ
・封筒の書き方を理解して書く
・話合いの話題や方向を捉える
・相手に分かりやすく伝わる表現について理解する
・話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ
・書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する
・伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く
・語の一部を省いた表現について、語や文章の中での適切な活用の仕方を理解する

本校の調査結果

◆比較的できている点
〇文章の構成や展開、表現の仕方について根拠を明確にして自分の考えをもつことができます。
〇文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることができます。
〇文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考え方をもつことができます。
〇書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討することができます。
〇伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くことができます。
◆課題のある点
〇話合いの話題や方向を捉え、自分の考えをもつことに課題が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇「話合いの話題や方向を捉え、自分の考えをもつこと」に課題が見られたので、今後は話し合いの活動を工夫して授業に取り入れます。

〇伝統的な言語活動や、生活に即した言語技能において、達成率が今ひとつ低いように思われます。日常生活で生かすことの出来る、「実践的な学習課題」の推進に努めたいと考えます。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・数の集合と四則計算の可能性について理解している
・簡単な連立二元一次方程式を解くことができる
・平行移動の意味を理解している
・反比例の表から、ｘとｙの関係を式で表すことができる
・簡単な場合について、確率を求めることができる
・グラフ上の点Ｐのｙ座標と点Ｑのｙ座標の差を、事象に即して解釈することができる
・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる
・証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している
・反例の意味を理解している
・結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見いだし、説明することができる
・資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる
・資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる
・問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる
・与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる
・事柄が成り立つ理由を説明することができる
・統合的、発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇グラフ上の点Ｐの座標と点Ｑの座標の差を、事象に即して解釈することができています。
〇証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解できています。
〇与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができています。
〇事柄が成り立つ理由を説明することができています。

◆課題のある点

〇資料の傾向を的確に捉え、問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することに課題が見られます。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇資料から傾向を捉えることに関して課題が見られたため、図や表などの資料から数理的な情報を読み取る活動を授業に取り入れます。

〇数と式や関数においては良い結果が見られたため、グループワークやペアワーク、教え合いなどの工夫を取り入れた授業を継続していきます。

中学校 英語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる
・教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる
・日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる
・まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる
・まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる
・聞いて把握した内容について、適切に応じることができる
・日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる
・まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる
・まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる
・書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる
・文の中で適切に接続詞を用いることができる
・一般動詞の２人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる
・一般動詞の１人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる
・与えられた情報に基づいて、３人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる
・与えられた情報に基づいて、一般動詞の３人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる
・与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる
・月日に関する基本的な表現を理解して、応答することができる
・基本的な文法（現在進行形）を理解して、応答することができる
・適切に強勢を置き、交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答することができる
・聞いて把握した内容について、やり取りすることができる
・与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができています。
〇日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができています。
〇まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができています。
〇まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができています。

◆課題のある点

〇聞いて把握した内容について、適切に応じることの誤答が多く目立ちました。
〇日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることに努力を要します。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇今回の調査を受け、「日常的な話題やまとまりのある文章を正確に聞き取る力」が優れていたので、今後も英語での発表やグループワークやペアワーク等を継続的に行っていきます。

〇「聞いて把握した内容」について、適切に応じることに課題が見られたので、英語でのグループワークやペアワークの仕方を工夫します。

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

〇学校図書室や地域の図書館に行く生徒は少ない一方、読書が好きな生徒の割合は 42%で県や全国平均を上回っています。本校では、落ち着いて1時間目から授業へ取り組めるよう、朝読書を行っている成果だと考えています。

◆本校の課題と思われるところ

〇「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」に「当てはまる」と回答した生徒の割合は、全国平均より約 10%下回っています。各教科で話し合い活動が充実することで、問題解決能力が向上し、学力向上につながると考えています。

生活について

◆本校のよかったところ

〇学校の授業時間以外に、1日当たりに勉強する時間が「1時間以上」の生徒の割合は 75.6%と、県や全国平均を上回っています。日頃から、学校と家庭が連携して取り組んでいる成果と考えています。

◆本校の課題と思われるところ

〇「将来の夢や目標を持っていますか」「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか」に「当てはまる」と回答をした生徒の割合は、全国平均より約 10%下回っています。

〇「人が困っているときは、進んで助けていますか」に「当てはまる」と回答した生徒の割合は 21.9%と県や全国平均より約 10%下回っています。

今後の具体的な取組について

〇引き続き、「朝読書の時間」を設定し、読書をする習慣をさらに身につけていきます。

〇定期試験前の「学習計画表」や夏休み・冬休みの計画表の作成を今後も継続し、生徒自らが目標を設定し、計画的に学習する習慣が身につく取り組みを充実させていきます。

〇思考力、判断力、表現力などの育成を図るためにも、各教科・特別の教科 道徳・特別活動・総合的な学習の時間において、話し合い活動を充実させていきます。

〇将来の進路と日常生活を結びつけながら、本校の教育目標である「未来を生き抜く生徒の育成」を図るためにも、「キャリア教育」を中学校3年間において、系統的に学習していきます。

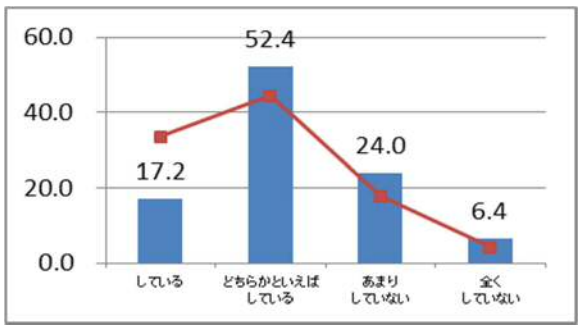
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

棒グラフ・・・柏ケ谷中学校　　折れ線グラフ・・・全国

1 睡眠時間は十分にとりましょう。

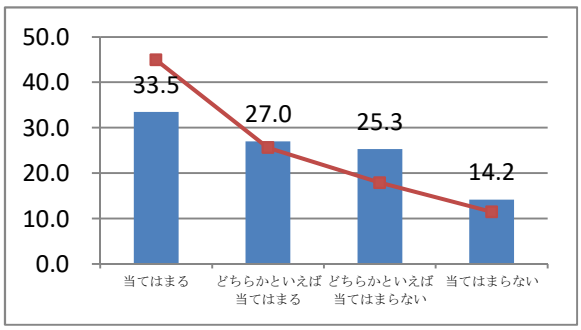
メール、ＬＩＮＥ、ゲームで
睡眠時間が短くなっていませんか。
規則正しい生活が大切です。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

2 将来の夢や希望を大切にしましょう。

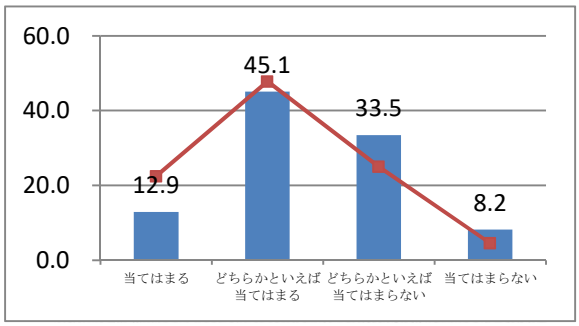
将来の夢を持つことにより、日々の
生活に活力が沸いてきます。
目標を持つことも大切です。



将来の夢や目標を持っていますか

3 積極的にいろいろなことにチャレンジしましょう。

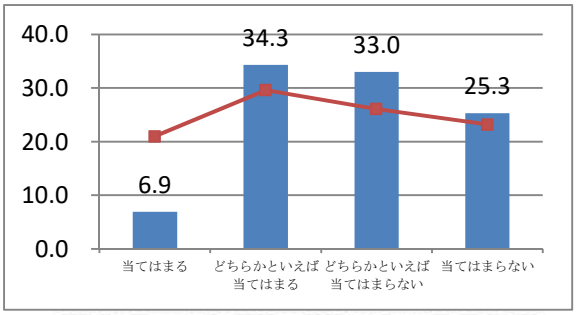
失敗と反省を繰り返して成長して
いきます。
失敗を恐れて何もしないと成長
しません。



難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか

4 地域に関わりましょう。

地域の行事やボランティアに積極的に
参加しましょう。
地域での「助け合いの精神」を持ちま
しょう。



今住んでいる地域の行事に参加していますか

資料　学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
（教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より）

【教科への関心・意欲・態度】
・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】
・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】
・朝食を毎日食べる
・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】
・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
・新聞を読んでいる
・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】
・学校の授業時間以外での学習時間が長い
・自分で計画を立てて学習をする
・学校の宿題、授業の予習・復習をする
・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】
・家の人と学校での出来事について話をする
・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】
・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
・学校のきまり、規則を守っている
・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】
・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。

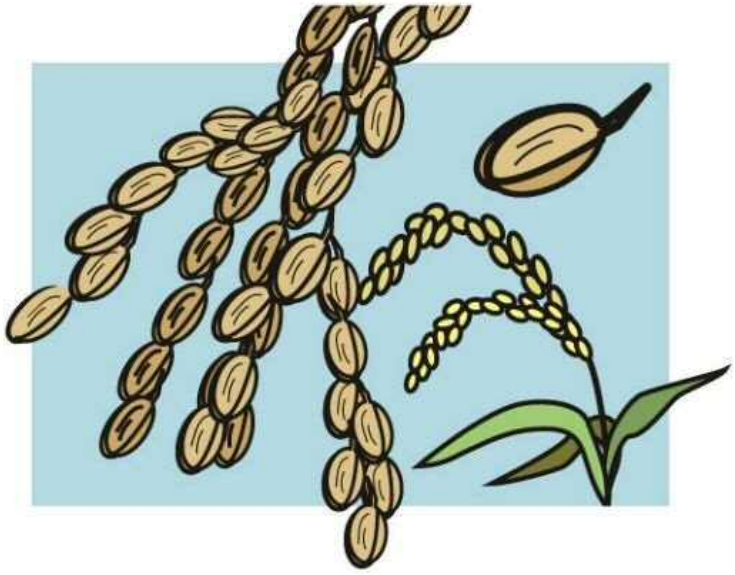
海老名市　全国学力　検索

【市の結果についての問い合わせ先】
電話　046－235－4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査

学校の調査結果



令和元年 12 月

海老名市立大谷中学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

（1）義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
（2）学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
（3）そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年　原則として全児童生徒

調査内容

（1）教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

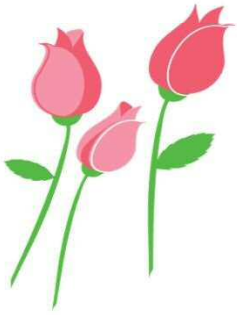
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況　など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日（木）



中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ
・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える
・文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考え方をもつ
・封筒の書き方を理解して書く
・話合いの話題や方向を捉える
・相手に分かりやすく伝わる表現について理解する
・話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ
・書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する
・伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く
・語の一部を省いた表現について、語や文章の中での適切な活用の仕方を理解する

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇話すこと・聞くことの領域に優れています。特に問題2の設問二で問われた、話合いでの発言について、その立場や意味合いを理解する力に高い成果が見られました。

〇言語の知識・理解・技能にも優れています。特に問題4で問われた、語の一部を省略した表現について、日常の適切な活用の仕方をよく理解しています。

◆課題のある点

〇書く力に課題が見られます。特に問題3で問われた、より分かりやすい文章にするために論の展開にふさわしい言葉に書き加えたり、説得力のある意見文とするために、集めた資料を基に根拠を補ったりする力に課題が見られました。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇目的に応じて文章を書く機会をさらに増やすとともに、読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方を自ら確かめる学習活動を強化します。また、書いた文章を互いに読み合い、題材の捉え方や材料の用い方、根拠の明確さなどについて意見を交換するなど、観点を明確にした交流の機会を増やします。それにより、読み手にとって分かりやすい表現になっているかという視点から、自分の文章を検討する姿勢と力を高めていきます。

〇説得力のある文章を書くために、根拠を明確にして書く学習活動を強化します。課題に沿って、文章や図表などから必要な情報を根拠として取り出し、自分の考えを書く機会を増やします。その際、取り出した情報が、自分の伝えたい事柄の根拠としてふさわしいかを検討するとともに、自分なりの考えも加えるなど、読み手に分かりやすく伝わるよう工夫する姿勢を高めていきます。また、段落構成にも意識を高め、問題や課題を提示する段落、集めた材料を分析する段落、それをもとに自分の考えを述べる段落など、段落の役割を考えながら文章を構成する指導にも力を入れていきます。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・数の集合と四則計算の可能性について理解している
・簡単な連立二元一次方程式を解くことができる
・平行移動の意味を理解している
・反比例の表から、ｘとｙの関係を式で表すことができる
・簡単な場合について、確率を求めることができる
・グラフ上の点Ｐのｙ座標と点Ｑのｙ座標の差を、事象に即して解釈することができる
・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる
・証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している
・反例の意味を理解している
・結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見いだし、説明することができる
・資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる
・資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる
・問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる
・与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる
・事柄が成り立つ理由を説明することができる
・統合的、発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇すべての領域において概ね良好な成果が上げられています。特にこの３年間、本校の課題としてきた「資料の活用」は、全国の正答率と比べても顕著に優位な成果をあげており、転じて強みとすることができています。

◆課題のある点

〇関数領域における数学的な見方・考え方については課題が見られます。特に問題6で問われた、数学的に表現したことを事象に即して解釈すること、課題解決の方法を数学的に説明することに課題が見られます。特に説明については、記述が十分でないための誤答が少なからず見受けられました。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇日常生活における課題の解決に数学を活用できるよう指導を工夫します。
〇数式やグラフで表されたことを、生活上の出来事に置き換えて問い、意味合いを具体的に理解できるよう指導を工夫します。
〇課題解決の方法や手順を説明する場面をより多く設定し、数式やグラフ、表などの「用いるもの」とその「用い方」を明らかにすることができるよう指導を工夫します。その際、「用いるもの」と「用い方」のいずれか一方の説明にとどまらず、両方を指摘し、的確に説明できるよう留意します。

中学校 英語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる
・教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる
・日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる
・まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる
・まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる
・聞いて把握した内容について、適切に応じることができる
・日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる
・まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる
・まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる
・書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる
・文の中で適切に接続詞を用いることができる
・一般動詞の２人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる
・一般動詞の１人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる
・与えられた情報に基づいて、３人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる
・与えられた情報に基づいて、一般動詞の３人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる
・与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる
・月日に関する基本的な表現を理解して、応答することができる
・基本的な文法（現在進行形）を理解して、応答することができる
・適切に強勢を置き、交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答することができる
・聞いて把握した内容について、やり取りすることができる
・与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇読むことに優れています。特に問題５（２）で問われた英文を読んで情報を正確に理解する力、問題７で問われたまとまりのある文章を読んであらすじや大切な部分を理解する力に優れています。

◆課題のある点

〇話すことに課題が見られます。特に問題１(1)のカレンダーを見て登場人物の誕生日を答える問いでは、月日の表現そのものの誤りが半数近く見られました。また、問題３の与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話す課題では、与えられた条件を満たすことが不十分な解答が半数近く見られました。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇月日や序数、数字などは基本的な語彙、表現です。例えば日付であれば、授業の冒頭に全員で今日の日付を言わせて終わるのではなく、実際に個別のやり取りをするなかで日付を発話させるなど、多様な場面に応じた活動を工夫します。

〇コミュニケーションの目的や場面、状況を意識した具体的な課題を設定し、まとまりのある内容を話す言語活動を増やします。短い準備時間の中で自分の考えを整理し、目的・場面・状況に応じて必要な情報を加えつつ話し続けられることを目指します。

生徒質問紙

学習について

※「肯定的な回答」とは、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」との合計の意
※（　）内は該当する全国の数値

◆本校のよかったところ

〇総合的な学習の時間における探究学習への取組状況について、肯定的な回答が 79.4%（61.5）ありました。自ら課題を立て、情報を収集し、分析・整理して発表する力を着実に伸ばしています。

◆本校の課題と思われるところ

〇特別活動における学級活動、特に話合い活動に課題が見られます。学級生活をよりよくするための話合い活動への取組状況に肯定的な回答は 60.3%（71.6）、話合いを生かした努力目標への取組状況に肯定的な回答は 57.1%（65.6）となっています。

生活について

◆本校のよかったところ

〇規範意識が高いです。「学校の規則を守っていますか」の問いに肯定的な回答が 99%（96.2）、「いじめはどんな理由があってもいけない」にも 95.6%(95.1)の回答がありました。

〇「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか」の問いに肯定的な回答が 96.7%(93.9)ありました。学校生活への意欲とともに「非認知スキル」が高いと評価できます。これは学力を押し上げる基盤にもなります。

◆本校の課題と思われるところ

〇社会への関心に課題が見られます。「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」の問いに肯定的な回答は 38.0%(39.4)でした。近年、よりよい社会の創り手となる資質・能力の育成が求められています。社会に関心をもち課題意識をもつことはその基礎となります。

今後の具体的な取組について

〇学級における話合い活動の充実を図ります。よりよい生活を築くために集団としての意見をまとめたり、生徒たち自らが適切な決まりをつくったりする話合い活動、個人としての問題解決に向けた目標や方法・内容などを生徒自身で決定するための話合い活動の機会を増やしていきます。

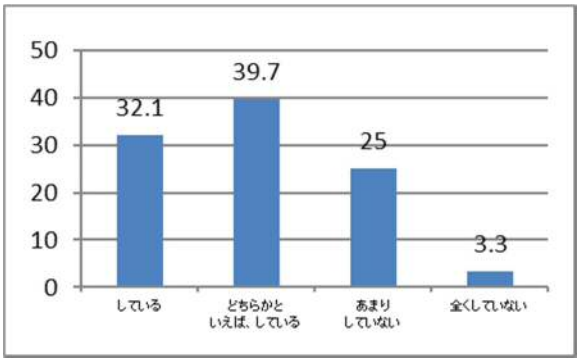
〇社会への関心を高めるために、SDGs(Sustainable Development Goals)を軸とした学習や活動を進めます。SDGsは国連加盟国が全会一致で採択した、2030 年までの「持続可能な開発目標」です。17 個の目標(ゴール)が設定されています。各教科の単元や題材と 17 個の目標との関連を分析し、それぞれの目標について教科横断的に学習を深めます。また、総合的な学習の時間における探究学習の課題設定にSDGsを有効に活用します。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1 生活習慣を整えましょう。

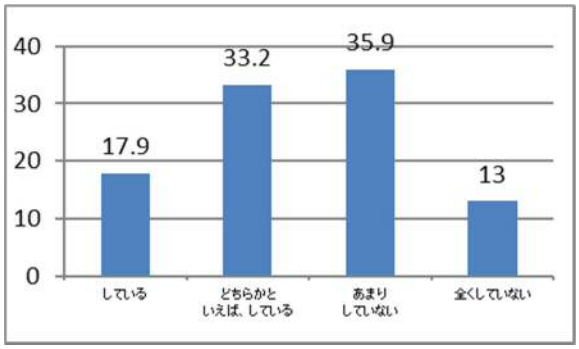
十分な睡眠は翌日の活力や成果のもととなります。寝る時間の目安を決め、それが習慣として定着するよう心がけましょう。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

2 学習に向かう主体的な姿勢を高めましょう。

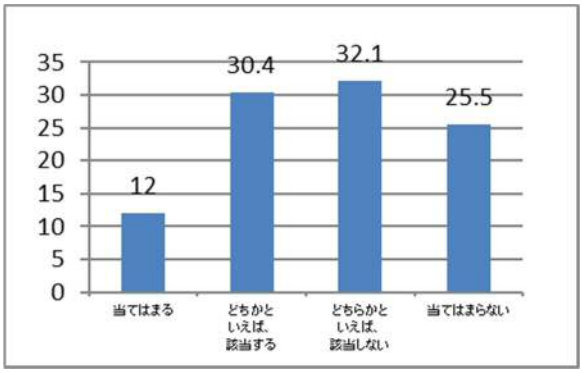
与えられた課題、定められた事柄に取り組む受け身の姿勢から、自ら見通しを立て、主体的に学ぶ姿勢を高めましょう。



家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

3 地域の行事に参加しましょう。

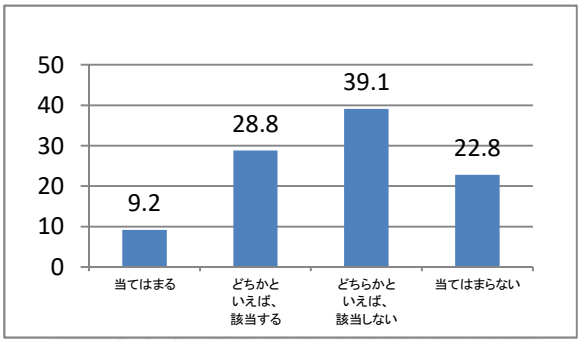
地域の一員という自覚は社会生活を営む基盤となります。また、災害等、非常時の助け合いにも、日頃の人間関係が生きるはずです。



今住んでいる地域の行事に参加していますか

4 社会や世界の課題について家族で話しましょう。

生涯をかけて果たしたい「夢」は「問い」をもつことから生まれ、そうした「問い」は、社会や世界に関心を高めることから生まれると思います。



地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか

資料　学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
（教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より）

【教科への関心・意欲・態度】
・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】
・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】
・朝食を毎日食べる
・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】
・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
・新聞を読んでいる
・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】
・学校の授業時間以外での学習時間が長い
・自分で計画を立てて学習をする
・学校の宿題、授業の予習・復習をする
・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】
・家の人と学校での出来事について話をする
・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】
・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
・学校のきまり、規則を守っている
・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】
・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。

海老名市　全国学力　検索

【市の結果についての問い合わせ先】
電話　046－235－4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査

学校の調査結果

令和元年 12 月

海老名市立今泉中学校

平成 31 年度（令和元年度）

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

（1）義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
（2）学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
（3）そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年　原則として全児童生徒

調査内容

（1）教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

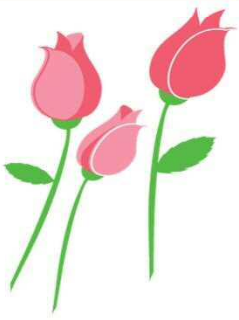
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

（2）生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 （例）国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況　など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 （例）授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況　など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日（木）



中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ
・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える
・文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考え方をもつ
・封筒の書き方を理解して書く
・話合いの話題や方向を捉える
・相手に分かりやすく伝わる表現について理解する
・話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ
・書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する
・伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く
・語の一部を省いた表現について、語や文章の中での適切な活用の仕方を理解する

本校の調査結果

◆比較的できている点
〇どの領域もバランスよく知識を習得することができている。
〇短歌について自分の考えを記述する問題の正答率が高い。

◆課題のある点
〇「封筒の書き方」の問題での正答率が6割で、ほかの問題と比べ、正答率が低い。
〇「書く能力」に対する問題での正答率が、全国の平均を下回るものがある。
〇記述式の問題に対する解答方法の仕方で、不適切なものがあり、課題が残る。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇手紙の書き方など日常生活に関わる事柄について積極的に指導をしていく。

〇課題作文などに多く取り組み、積極的に文章を書く課題に取り組む。

〇記述式問題の答え方についての理解が低いので、文章を書かせながら取り組む。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・数の集合と四則計算の可能性について理解している
・簡単な連立二元一次方程式を解くことができる
・平行移動の意味を理解している
・反比例の表から、x とyの関係を式で表すことができる
・簡単な場合について、確率を求めることができる
・グラフ上の点 P のy座標と点 Q の y 座標の差を、事象に即して解釈することができる
・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる
・証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している
・反例の意味を理解している
・結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見いだし、説明することができる
・資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる
・資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる
・問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる
・与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる
・事柄が成り立つ理由を説明することができる
・統合的、発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇数の集合と四則演算の可能性について、他の問題に比べて正答率が高く、理解しているといえる。また、証明で用いられている三角形の合同条件を書く問題は全国正答率に比べても高い正答率となっている。

◆課題のある点

〇資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題に関して、課題がある。また、a と b が正の整数のとき，四則計算の結果が正の整数になるとは限らないものを選ぶ問題は全国正答率に比べて、低い正答率となっている。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇計算問題の正答率が高かったので、引き続き計算力を高められるように数多くの演習問題に取り組む。文章を読み取って問題を解く問題の正答率が低かったので、類似問題に取り組む。また、説明する問題の正答率が低いので、授業の中で自分の考えを発表する場面を多くしていく必要がある。

中学校 英語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

・語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる
・教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる
・日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる
・まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる
・まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる
・聞いて把握した内容について、適切に応じることができる
・日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる
・まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる
・まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる
・書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる
・文の中で適切に接続詞を用いることができる
・一般動詞の２人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる
・一般動詞の１人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる
・与えられた情報に基づいて、３人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる
・与えられた情報に基づいて、一般動詞の３人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる
・与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる
・月日に関する基本的な表現を理解して、応答することができる
・基本的な文法（現在進行形）を理解して、応答することができる
・適切に強勢を置き、交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答することができる
・聞いて把握した内容について、やり取りすることができる
・与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇県平均・全国平均よりも、どの領域においても正答率が高く、バランスよく知識を習得することができている。

〇英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する問題や指示を聞き取る問題の正答率が他の問題と比較して特に高い。

◆課題のある点

〇与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書く問題の正答率が低い。

今後の具体的な指導改善のポイント

〇与えられた情報に基づいて、自分の考えを整理し、文章にする活動を行う。

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

○「読書が好き」と答えた生徒が全体の８割強を示し、県・全国平均を大きく上回っている。

○「学校の授業以外で、月～金曜日に１日あたり１時間以上勉強している」と答えた生徒が全体の７割以上を示し、県・全国平均を上回っている。

◆本校の課題と思われるところ

○「家で、自分で計画を立てて学習している」と答えた生徒が全体の４割強であり、学習塾や家庭教師に教わっている以外の時間を、自ら計画し、学習に取り組むことができていない生徒が多い。

○「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている」と答えた生徒が県・全国平均を下回っている。

生活について

◆本校のよかったところ

○「先生は、自分のよいところを認めてくれている」と答えた生徒が全体の９割弱を示し、県・全国平均を大きく上回っている。

○「自分には、よいところがある」と答えた生徒が全体の７割強を示し、県・全国平均を上回っている。

◆本校の課題と思われるところ

○「家の人と学校での出来事について話をする」と答えた生徒が全体の７割であるものの、県・全国平均を下回っている。
○「将来の夢や目標を持っている」と答えた生徒が全体の６割強であり、県・全国平均を下回っている。

今後の具体的な取組について

◇学校教育目標「地域とともに生き、たくましく、しなやかに未来を拓く生徒の育成」を目指し、地域や家庭との連携をさらに深めていきます。

◇校内研究の柱として取り組んできた「自分を大切にし、他の人を大切にする心の育成」を目指した教育活動を継続し、さらに充実した活動にしていきます。

◇情報リテラシー教育をさらに進め、情報に流されず適切にそれを活用する能力を伸ばしていきます。また、保護者会や学校便り等で、家庭への協力を繰り返し呼びかけていきます。

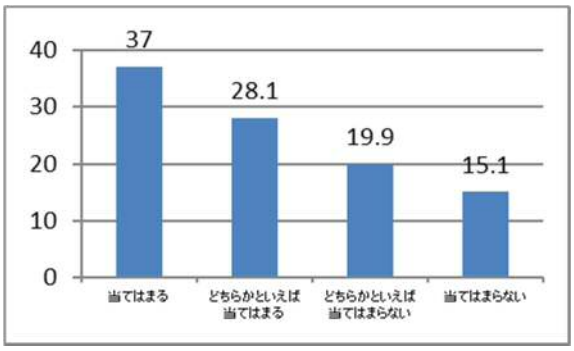
◇系統的なキャリア教育の推進を目指し、生徒が将来の夢を持ち、その具現化に向けて主体的に取り組もうとする姿勢の育成に努めていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1 お子さんと夢や目標について語り合いましょう。

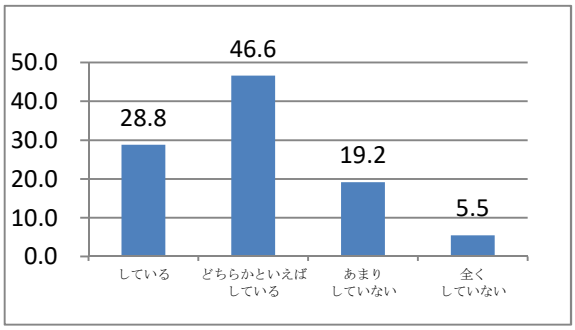
夢や目標を明確に設定することで、生活を改善する力や学ぶ力が高まります。



将来の夢や目標を持っていますか

2 規則正しい生活習慣を大切にしましょう。

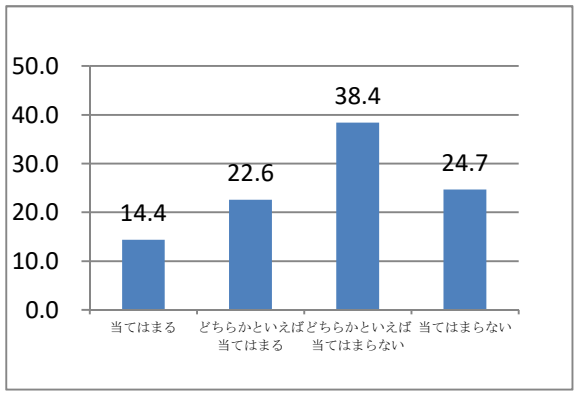
「元気なえびなっ子プラン」として、市をあげて実現に向けて取り組んでいる内容です。今後も、ご家庭での協力をお願いします。



毎日，同じくらいの時刻に寝ていますか

3 地域や社会について、家族で話し合いましょう。

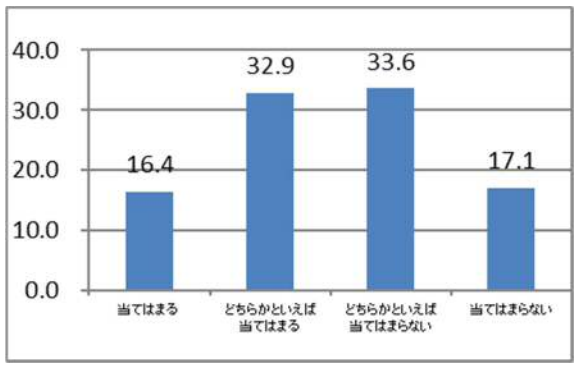
少子高齢化、核家族化、地域の教育力の低下への対応として、地域が果たす役割への期待が大きくなっており、地域のつながりの重要性がますます高まっています。



地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

4 地域の活動に積極的に参加しましょう。

経済・社会環境や人々の意識の変化に伴い、地域のつながりが希薄化したと言われています。地域におけるボランティアや市民活動が、新たなつながりとしてとても大切です。



今住んでいる地域の行事に参加していますか

資料　学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
（教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より）

【教科への関心・意欲・態度】
・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学 校 生 活】
・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】
・朝食を毎日食べる
・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】
・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
・新聞を読んでいる
・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】
・学校の授業時間以外での学習時間が長い
・自分で計画を立てて学習をする
・学校の宿題、授業の予習・復習をする
・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】
・家の人と学校での出来事について話をする
・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】
・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
・学校のきまり、規則を守っている
・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】
・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。

海老名市　全国学力　検索

【市の結果についての問い合わせ先】
電話　046－235－4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係